

2020年12月分新聞書評



<戦後文学>の現在形

紅野 謙介／内藤 千珠子／成田 龍一 編

平凡社

「戦後」をめぐる歴史的想像力を媒介に、現在を起点として<戦後文学>の系譜を創造する。新たな視点で選んだ<戦後文学>60 作品を解説。時代の潮流を俯瞰してとらえるコラムも掲載する。

2020:10./ 469p

978-4-582-83850-3

本体 ¥5,280〔税込〕



産経新聞 2020/12/05



学校制服とは何か～その歴史と思想～(朝日新書 788)

小林哲夫 著

朝日新聞出版

学校の制服とはなんだろうか。制服史を振り返るとともに、制服モデルチェンジの歴史と現在などを詳しくレポート。制服を自由化した学校、自由化から制服を復活させた学校を検証し、制服のあり方について問題提起する。

2020:10./ 287p

978-4-02-295090-1

本体 ¥935〔税込〕



産経新聞 2020/12/06



脱人間論

執行 草舟 著

講談社

ヒューマンイズムの文明の下で人間は腐ってしまった。いま我々は人間から脱しなければならぬ。現代人の誤謬、神の模倣、魂と器…。人間の出発から、本源、歴史、終焉までを語る。人間の未来について、悩み懊悩する魂の軌跡。

2020:10./ 524p

978-4-06-520970-7

本体 ¥2,530〔税込〕



産経新聞 2020/12/06



水と礫

藤原 無雨 著

河出書房新社

仕事中の事故をきっかけに故郷へ戻ったクザーノは、弟分の後を追ひ、砂漠のむこうにある幻の町へ旅立った。父、祖父、息子、孫。何度でも帰郷する灼熱の旅が一族の目にしたすべての風景を映し出す。『文藝』掲載を単行本化。

2020:11./ 193p

978-4-309-02930-6

本体 ¥1,540〔税込〕



産経新聞 2020/12/06

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBNも併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は2021年1月時点での税込み価格です。



13歳のきみと、戦国時代の「戦」の話しよう。

房野 史典 著
幻冬舎

終わりの見えない戦乱の世、戦国時代の「戦」と「流れ」を芸人・房野が?み砕いて解説。桶狭間、長篠、本能寺の変、関ヶ原など、現代人が知っておきたい10の戦を取り上げる。『幻冬舎 plus』連載に加筆・修正し書籍化。

2020:10./ 345p
978-4-344-03689-5
本体 ¥1,540〔税込〕



産経新聞 2020/12/06



冬の狩人

大沢 在昌 著
幻冬舎

3年前の未解決殺人事件の重要参考人から、警視庁新宿警察署の佐江が護衛するなら出頭するという連絡が。だが彼は、暴力団員との撃ち合いが原因で休職中。なぜ彼に指名を...? 『茨城新聞』『東京スポーツ』ほか掲載を書籍化。

2020:11./ 566p
978-4-344-03695-6
本体 ¥1,980〔税込〕



産経新聞 2020/12/06



新・日英同盟～100年後の武士道と騎士道～

岡部伸 著
星雲社

日英同盟の終焉から100年。中国に対抗するため、イギリスは再び日本をアングロサクソン諜報同盟「ファイブ・アイズ」に招聘している。激変する東アジアと世界の情勢を、産経新聞記者が徹底取材する。

2020:10./ 319p
978-4-434-28082-5
本体 ¥1,870〔税込〕



産経新聞 2020/12/06



もしも一年後、この世にいないとしたら。

清水研 著
文響社

大切な人との時間を何よりも優先する、自分にとって心地よいことをする、先送りしていた人生の課題を解決する...。3500人以上のがん患者と対話してきた精神科医が伝える、死ぬときに後悔しない生き方。

2019:10./ 199p
978-4-86651-146-7
本体 ¥1,078〔税込〕



産経新聞 2020/12/06



不安を煽りたい人たち(WAC BUNKO B-330)

上念 司／篠田 英朗 著
ワック

コロナの死者は42万人になる。学術会議問題で学問の自由が無くなる。憲法改正が戦争を呼ぶ...。なぜ「煽り系」にサヨクが多いのか? 二人の論客が対談形式で、フェイク言論を縦横無尽に論破する。

2020:11./ 238p
978-4-89831-830-0
本体 ¥990〔税込〕



産経新聞 2020/12/06



そして、海の泡になる

葉真中頭 著
朝日新聞出版

バブル期に個人史上最高額の負債を抱え、自己破産した「北浜の魔女」朝比奈ハル。彼女の生涯を小説にするため、取材を始めるが...。実際に起きた事件をヒントにした社会派ミステリー。『小説トリッパー』連載を加筆し書籍化。

2020:11./ 279p
978-4-02-251732-6
本体 ¥1,760〔税込〕



産経新聞 2020/12/12



影に対して～母をめぐる物語～

遠藤 周作 著
新潮社

両親が別れた時、少年の取った選択は生涯ついてまわった。完成しながらも発表されず、手許に残された「影に対して」を中心に、「雑種の犬」「影法師」「還りなん」など、母をめぐる書かれた著者の作品全7篇を収録。

2020:10./ 249p
978-4-10-303524-4
本体 ¥1,760〔税込〕



産経新聞 2020/12/13



闇の脳科学～「完全な人間」をつくる～

ローレン・フランク 著
文藝春秋

脳深部刺激療法を考案し、さまざまな疾患や症状の治療を試みたアメリカの精神科医ヒース。人類のタブーに挑戦して葬り去られた天才科学者の記録とともに、国防高等研究計画局も参戦する米医学界の最前線を伝える。

2020:10./ 326p
978-4-16-391275-2
本体 ¥2,200〔税込〕



産経新聞 2020/12/13



100歳までボケずに生き抜く朝田式「脳トレ」～認知症予防の権威が明かす～

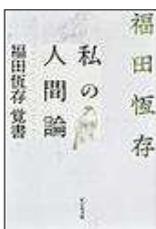
朝田隆 著
大和出版(文京区)

忘れっぽくなった、道に迷うことがある、人の顔を間違えやすい、探し物が増えた…。加齢とともに、とくに衰えがちな6つの“脳力”に焦点をあてた、効果的なトレーニングを紹介する。

2020:10./ 125p
978-4-8047-6358-3
本体 ¥1,430〔税込〕



産経新聞 2020/12/13



私の人間論～福田恆存覚書～

福田恆存 著
ビジネス社

負けなしの論争家で知られる福田恆存が、晩年に平易な文章で語った昭和の時代。1987?88年刊「福田恆存全集」の著者自身の覚書をまとめたもの。「福田恆存評論集」の後書も併録。

2020:11./ 287p
978-4-8284-2222-0
本体 ¥1,980〔税込〕



産経新聞 2020/12/13



それでも僕たちは「濃厚接触」を続ける!～世界の感触を取り戻すために～

広瀬 浩二郎 著
小さ子社

「さわる展示」「ユニバーサル・ミュージアム」の伝道師として全国・海外を訪ね歩いてきた全盲の触文化研究者が、コロナ時代の「濃厚接触」の意義を問い直す。小さ子社のweb連載に加筆し書籍化。テキストデータ引換券付き。

2020:10./ 161p
978-4-909782-06-9
本体 ¥1,650〔税込〕



産経新聞 2020/12/13



弾道弾(兵器の科学 1)

多田 将 著
明幸堂

人類史上最強の兵器「弾道弾」の全貌を科学的・定量的に解説。弾道弾の基本的な事柄をはじめ、軌道、推進方法、弾道弾防御などを説明する。2015?2019年に行われた講演をもとに書籍化。

2020:11./ 317p,42p
978-4-9910348-3-1
本体 ¥2,970〔税込〕



産経新聞 2020/12/13



アフターコロナの生存戦略～不安定な情勢でも自由に遊び存分に稼ぐための新概念～

成毛 眞 著
KADOKAWA

元マイクロソフト社長・成毛眞の未来予測。アフターコロナの社会情勢からビジネス潮流、お金の流れ、価値観・生き方のシフトチェンジまでを見通し、自由に遊び存分に稼いでサバイバルするために必要な視点を公開する。

2020:11./ 223p
978-4-04-605026-7
本体 ¥1,540[税込]

産経新聞 2020/12/19



空芯手帳

八木 詠美 著
筑摩書房

理不尽な雑用、セクハラ…。職場で「女」だからという理由でろくでもない役回りをこなす人生に嫌気がさした柴田は、偽の妊婦を演じることで、空虚な日々にはさやかな変化を起こしてゆき…。

2020:12./ 179p
978-4-480-80499-0
本体 ¥1,540[税込]

産経新聞 2020/12/19



38億年の生命史に学ぶ生存戦略

稲垣 栄洋 著
PHPエディターズ・グループ

植物や生き物たちは、勝ち抜き、生き抜くための「戦略」を発達させてきた。「GAFAの雑草戦略」「コウモリのずらす戦略」「タンポポたちのドミナント戦略」など、38億年の生命史から企業の生存戦略のヒントを読み解く。

2020:8./ 239p
978-4-569-84575-3
本体 ¥1,650[税込]

産経新聞 2020/12/19



<敵>と呼ばれても

ジョージ・タケイ 著
作品社

合法化された人種差別のもとで成長する絶望と、それでも決して失われなかった希望…。日系俳優ジョージ・タケイが第2次世界大戦中に3年間を過ごした日系人強制収容所での日々を描いたノンフィクション・グラフィックノベル。

2020:10./ 207p
978-4-86182-826-3
本体 ¥2,200[税込]

産経新聞 2020/12/19



日本の歴史 366～ぜんぶこの日にあったこと!～(頭のいい子を育てるジュニア)

主婦の友社

小学生から知っておきたい「きょうは何が起きた日?」を、1日1ページ、イラストやクイズといっしょに楽しく学べる本。日本の歴史のできごとを1月から12月までの日付順に、1日ひとつ、366日分紹介する。

2020:10./ 399p
978-4-07-444725-1
本体 ¥1,980[税込]

産経新聞 2020/12/20



ベートーヴェンと日本人(新潮新書 884)

浦久 俊彦 著
新潮社

なぜ、日本でベートーヴェンが「楽聖」となり、「第九」が年末の風物詩になったのか? 明治・大正のクラシック音楽受容の進展を描きながら、西欧文明と出会った日本の「文化的変容」を描き出す。

2020:11./ 271p
978-4-10-610884-6
本体 ¥902[税込]

産経新聞 2020/12/20



青春とは、

姫野 カオルコ 著
文藝春秋

コロナ禍のさなか、家でひきこもっていた女性が見つけた名簿と一冊の本。地方の高校に通っていた記憶が鮮明に甦る。彼女の胸に、35年の時を経てこみ上げる思いとは? 『オール讀物』掲載に加筆して単行本化。

2020:11./ 251p
978-4-16-391296-7
本体 ¥1,650〔税込〕



産経新聞 2020/12/20



蓑虫放浪～蓑虫山人放浪伝～

望月昭秀 著
国書刊行会

東に名所あると聞けば行って絵にし、西に遺跡あると聞けば行って掘り起こし。幕末から明治にかけて、北は青森、南は鹿児島まで全国津々浦々を自由に旅した風狂の人、蓑虫山人の足跡を明らかにする。図版や写真も多数収録。

2020:10./ 286p 図版
16p
978-4-336-06681-7
本体 ¥2,860〔税込〕



産経新聞 2020/12/20



国際文化交流を实践する

国際交流基金 編
白水社

国際協調をいかに守るか? 国際文化交流を専門的に担う国際交流基金の若手・中堅職員たちによるルポルタージュ。それぞれが世界各国で行ってきた実践を、喜び、葛藤、発見といった生の声とともに伝える。

2020:12./ 262p
978-4-560-09797-7
本体 ¥2,310〔税込〕



産経新聞 2020/12/20



熟睡法ベスト 101～ぐっすり眠れる×最高の目覚め×最強のパフォーマンスが 1冊で手に入る～

白濱 龍太郎 著
アスコム

しっかり熟睡し、健康、仕事、そして人生のパフォーマンスを高めよう。睡眠専門医が自身の治療・研究経験、また世界の一流機関の研究論文などを基に、熟睡にとってベストな 101 のことを紹介する。

2020:12./ 198p
978-4-7762-1105-1
本体 ¥1,540〔税込〕



産経新聞 2020/12/20



日本学術会議の研究(WAC BUNKO B-331)

白川 司 著
ワック

反政府活動をしながら学問の自由を叫び、国の軍事研究を邪魔する一方で、中国の機関との共同研究をいとわない日本学術会議。なぜこのような組織に日本国民の血税が使われ続けているかを中心に、日本学術会議について考察する。

2020:12./ 229p
978-4-89831-831-7
本体 ¥990〔税込〕



産経新聞 2020/12/20



結局、ウナギは食べていいのか問題(岩波科学ライブラリー 286)

海部 健三 著
岩波書店

ウナギは絶滅危惧種なのか? なぜ土用の丑の日にウナギを食べるのか? どうすればウナギの住む環境を守れるのか? 気鋭のウナギ研究者が、気になるウナギ事情をQ&Aで整理。ウナギと美味しく共存する道を探る。

2019:7./ 9p,119p,5p
978-4-00-029686-1
本体 ¥1,320〔税込〕



朝日新聞 2020/12/05



実践 自分で調べる技術(岩波新書 新赤版 1853)

宮内 泰介／上田 昌文 著
岩波書店

複雑で、情報過多な今を整理する! 調査の設計から、文献・資料の扱い方、聞き取りの方法、データの整理、発表や執筆まで、練習問題を交えながら、調査を意義あるものにする手順とコツを詳しく解説。リスク調査も取り上げる。

2020:10./ 8p,272p,3p

978-4-00-431853-8

本体 ¥968[税込]



朝日新聞 2020/12/05



教員という仕事~なぜ「ブラック化」したのか~(朝日新書 791)

朝比奈なを 著
朝日新聞出版

世界一長い、日本の教員の労働時間。教員間のいじめ、コロナ禍での対応など、労働環境も年々過酷になっている。気鋭の教育ジャーナリストが現職の教員にインタビューし、学校現場の現状と課題を浮き彫りにする。

2020:11./ 228p

978-4-02-295102-1

本体 ¥869[税込]



朝日新聞 2020/12/05



自炊。何にしようか

高山なおみ 著
朝日新聞出版

ひとりで暮らしはじめたら、料理をもっと単純に考えるようになった。ゆで大豆のトマト煮、黄身の?油漬け、ピーマンのワタ入りきんぴら…。台所から生まれた、高山なおみのレシピ集。ひとり分のごはんの自炊アイデアも満載。

2020:10./ 375p

978-4-02-333346-8

本体 ¥2,200[税込]



朝日新聞 2020/12/05



緑の髪のパオリーノ(講談社文庫 ろ 13-2)

ジャンニ・ロダーリ 著
講談社

畑で働くピエトロの家に緑色の髪の子が生まれてびっくり。見に来た女の人たちはその子を「サラダのパオリーノ」と言い出して…。イタリアを代表する児童文学作家ロダーリによる不思議で温かい短編集。

2020:11./ 200p

978-4-06-519063-0

本体 ¥880[税込]



朝日新聞 2020/12/05



雪国 改版(新潮文庫)

川端 康成 著
新潮社

親譲りの財産で、きままな生活を送る島村は、雪深い温泉町で芸者駒子と出会う。許婚者の療養費を作るため芸者になったという、駒子の一途な生き方に惹かれながらも、島村はゆきずりの愛以上のつながりを持とうとしない。冷たいほどにすんだ島村の心の鏡に映される駒子の烈しい情熱を、哀しくも美しく描く。ノーベル賞作家の美質が、完全な開花を見せた不朽の名作。

2006:5./ 208p

978-4-10-100101-2

本体 ¥396[税込]



朝日新聞 2020/12/05



千の扉(中公文庫 し 54-1)

柴崎 友香 著
中央公論新社

一俊から結婚を申し込まれ、広大な都営団地の一室に移り住んだ千歳は、彼の祖父から奇妙な人さがしを頼まれるが…。戦後から 70 年間の、場所の記憶と人の記憶。時間を旅する長篇小説。

朝日新聞 2020/12/05

2020:10./ 317p
978-4-12-206975-6
本体 ¥858[税込]



地下鉄道(ハヤカワ epi 文庫 100)

コルソン・ホワイトヘッド 著
早川書房

コーラは農園の奴隷だ。身よりはなく、仲間からは孤立し、主人は残虐きわまりない。ある日、新入りの奴隷に誘われ、彼女は逃亡しようと決意する。農園を抜け出し、沼地を渡り、地下を疾走する列車に乗って、自由な北部へ…。

朝日新聞 2020/12/05

2020:10./ 492p
978-4-15-120100-4
本体 ¥1,232[税込]



ニッケル・ボーイズ

コルソン・ホワイトヘッド 著
早川書房

1960年代アメリカ。アフリカ系アメリカ人の真面目な少年エルウッドは、無実の罪により少年院ニッケル校に送られる。しかし校内には信じがたい暴力や虐待が蔓延する地獄で…。実在した少年院をモデルに描かれた長篇小説。

朝日新聞 2020/12/05

2020:11./ 269p
978-4-15-209978-5
本体 ¥2,200[税込]



笑顔あふれるテーマパークの秘密～だれもがキラボシ～

山本 雅史 著
幻冬舎メディアコンサルティング

多数の動物が訪れたゲストを魅了する、和歌山県の「アドベンチャーワールド」。40年余り変化と成長を続けてきた「アドベンチャーワールド」の魅力を、運営企業で働く社員にフォーカスし、リアルなエピソードと共に紹介する。

朝日新聞 2020/12/05

2020:10./ 217p
978-4-344-92696-7
本体 ¥1,650[税込]



サンゴの白化～失われるサンゴ礁の海とそのメカニズム～

中村 崇 著
成山堂書店

サンゴ礁保全にかかる課題とは。サンゴの生物学的基礎から、世界的に頻発化しつつある大規模なサンゴ白化現象についての報告、その生理学的メカニズムまでを、各分野の専門家がわかりやすく解説する。

朝日新聞 2020/12/05

2020:1./ 10p,167p
978-4-425-83111-1
本体 ¥2,530[税込]



秋吉久美子調書

秋吉 久美子／樋口 尚文 著
筑摩書房

45年の女優人生。私は見た。私は挑んだ。そして私は語った。ウソはない。調書だから。1970年代に彗星のように登場し、現在に至るまで第一線で活躍を続ける秋吉久美子のロングインタビューを秘蔵スナップとともに収録。

朝日新聞 2020/12/05

2020:9./ 220p
978-4-480-81854-6
本体 ¥2,200[税込]





東映アニメーション史論～経営と創造の底流～

木村智哉 著
日本評論社

日本初のカラー長編アニメーションを生み、現在も躍進を続ける東映アニメーション。その足跡を社内文書や裁判記録などの一次史料を駆使して追ひ、映像文化の創造に関わる組織と人が醸してきた「文化」に迫る。

朝日新聞 2020/12/05

2020:9./ 365p
978-4-535-55963-9
本体 ¥3,520〔税込〕



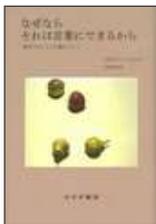
みんなの民俗学～ヴァナキュラーってなんだ?～(平凡社新書 960)

島村 恭則 著
平凡社

キャンパスの七不思議やわが家のルール、喫茶店モーニングやB級グルメなども民俗学の視点で探ることができる。これらの身近なものをヴァナキュラーと読んで、発祥の経緯やその後の広がりをフィールドワークで明らかにする。

朝日新聞 2020/12/05

2020:11./ 271p
978-4-582-85960-7
本体 ¥968〔税込〕



なぜならそれは言葉にできるから～証言することと正義について～

カロリン・エムケ、浅井 晶子 著
みすず書房

暴力を受けた人はなぜ、「それ」を言葉にできなくなるのか。ナチスの強制収容所、ユーゴ戦争における集団強姦など、極度の非人間的状況から生還した人たちの証言を紹介し、極限体験が人から言葉を奪う過程を丁寧に考察する。

朝日新聞 2020/12/05

2019:10./ 245p
978-4-622-08853-0
本体 ¥3,960〔税込〕



ポルトガルの建築家アルヴァロ・シザ

伊藤 廉 著
学芸出版社

ポルトガルを代表する建築家アルヴァロ・シザの建築は、その歴史と文化に大きな影響を受けている。シザの建築とその文脈を語り、建築が生み出された背景に光を当てる。巨匠の素顔と土地に根差した作品の魅力を伝える一冊。

朝日新聞 2020/12/05

2020:9./ 411p
978-4-7615-3260-4
本体 ¥3,960〔税込〕



ジェンダーで読む映画評/書評

杉本 貴代栄 著
学文社

ジェンダーを学ぶ人に向けた入門書。ここ10年ほどのジェンダーをめぐる日本と外国の動向と知見を、上野千鶴子、ミシェル・オバマらの書籍や、「フラガール」「スタンドアップ」などの映画を手がかりにして読み解く。

朝日新聞 2020/12/05

2020:10./ 228p
978-4-7620-3036-9
本体 ¥2,200〔税込〕



アニメ大国建国紀 1963-1973～テレビアニメを築いた先駆者たち～

中川 右介 著
イースト・プレス

宮崎駿・高畑勲らが台頭した東映アニメの躍進から、手塚治虫による虫プロの倒産まで。過酷な制作環境の中で、「動くマンガ」に執念を燃やし、テレビアニメ産業を創出した情熱家たちと、アニメの黎明史を描く。

朝日新聞 2020/12/05

2020:8./ 486p
978-4-7816-1912-5
本体 ¥2,145〔税込〕





サケ学への誘い

帰山 雅秀 著
北海道大学出版会

サケ類について生態学を中心に述べた本。多様な生活史や、小型化高齢化で知られる個体群密度依存効果、日本の河川生態系とサケ類との関係、シロザケとその遼上河川との関係、産業としてのサケ類の利用のあり方などをまとめる。

朝日新聞 2020/12/05

2018:10./ 9p,194p
978-4-8329-8231-4
本体 ¥2,640[税込]



ヨーロッパの看板図鑑〜美しい街角 路地裏のアート〜

上野 美千代 著
光村推古書院

ヨーロッパの街角美術館へようこそ! 街にあふれる、名もないけれどときめきを感じさせてくれるアートたち。心躍るヨーロッパの看板を、業種・形状・モチーフ別に美しい写真で紹介します。

朝日新聞 2020/12/05

2020:11./ 191p
978-4-8381-0607-3
本体 ¥3,080[税込]



千の夏と夢〜鯨庭作品集〜(torch comics)

リイド社

【収録作品 Twitter 累計いいね数 35 万!】鮮麗な新世代・鯨庭初作品集。「君は、いとしくておいしい。」龍・鬼・ケンタウロス・グリフィン― 伝説の生物と人との関わりを軸に描かれる切実な物語。平穩に爪を立てる5つの短編。

朝日新聞 2020/12/05

2020:11./ 229p
978-4-8458-6072-2
本体 ¥880[税込]



ベニシアと正、人生の秋に〜正ありがとう。すべて、ありがとう〜

梶山 正、ベニシア・スタンリー・スミス 著
風土社

NHK「猫のしっぽカエルの手」のベニシア・スタンリー・スミスと、夫で写真家の梶山正が、2 人の出会いと結婚からベニシアの目が見えなくなるまでの半生を綴る。『チルチンびと』連載を書籍化。

朝日新聞 2020/12/05

2019:10./ 143p
978-4-86390-054-7
本体 ¥1,980[税込]



過去と向き合う〜現代の記憶についての試論〜

アンリ ルソー／剣持 久木／末次 圭介 著
吉田書店

記憶をめぐる紛争は、いかに解決されるのか。集合的記憶、過去の存在感とその利用、歴史叙述、とりわけ 1980 年代以来発展してきたフランス現代史というコンセプトについて論じる。

朝日新聞 2020/12/05

2020:10./ 317p
978-4-905497-87-5
本体 ¥3,850[税込]



彼らは世界にはなればなれに立っている

太田 愛 著
KADOKAWA

<始まりの町>の初等科に通う少年トゥーレ。ドレスの仕立てを仕事にする母は、<羽虫>と呼ばれる存在。誇り高い町の住民は、他所から来た人を羽虫と蔑み、差別していた…。『カドブンノベル』連載を加筆・修正。

朝日新聞 2020/12/05、産経新聞 2020/12/06

2020:10./ 365p
978-4-04-109565-2
本体 ¥1,870[税込]





イエスの意味はイエス、それから...

カロリン・エムケ 著
みすず書房

#MeToo 運動は社会が変化する可能性を開いてくれた。ハラスメントや虐待の例をあげて、暴力を支える理論を問い直し、新たな言葉、イメージ、その共有の仕方を考察する。小さな声で世界を変えていく一冊。

2020:10./ 139p
978-4-622-08946-9
本体 ¥3,080[税込]



朝日新聞 2020/12/05、東京・中日新聞 2020/12/13



美術の森の番人たち

酒井忠康 著
求龍堂

著者・酒井忠康(現世田谷美術館館長)が、56 年にも及ぶ美術館での仕事を通じて出逢った、多くの忘れがたき人々。美術界を「美術の森」と呼び、そこで活躍した今は亡き美術の森の番人 35 人との交流を描いたエッセイ集。

2020:10./ 237p
978-4-7630-2024-6
本体 ¥3,080[税込]



朝日新聞 2020/12/05、読売新聞 2020/12/20、朝日新聞 2020/12/26



ミネのかけら〜ムーンミン谷へとつづく道〜

富原 眞弓 著
岩波書店

ヴェイユの言葉に向き合った学生時代、東京を訪ねてきた陽気な旅人たちとのにぎやかなひと夏、そしてムーンと出逢い、ヤンソンの翻訳を始めてからの日々。忘れがたい人々との出会いと別れを綴った、みずみずしいエッセイ集。

2020:9./ 14p,255p
978-4-00-024892-1
本体 ¥2,530[税込]



朝日新聞 2020/12/05、読売新聞 2020/12/27



ルポ入管〜絶望の外国人収容施設〜(ちくま新書 1521)

平野 雄吾 著
筑摩書房

医療放置、自殺、餓死...いったい、入管施設で何が起きているのか。2019 年に入国在留管理庁へと格上げされ、ますます大きな権力を振るう「入管」の知られざる実態に迫る。共同通信配信記事をもとに書籍化。

2020:10./ 314p
978-4-480-07346-4
本体 ¥1,034[税込]



朝日新聞 2020/12/05、日本経済新聞 2020/12/05



ダーク・ロマンス(光文社文庫 異形コレクション い 31-39 49)

光文社

ようこそ、美と怪奇の世界へ。<ダーク・ロマンス>をテーマにしたオリジナル・アンソロジー。榎木理宇「夕鶴の郷」、黒木あるじ「ルポワットの匣」、篠田真由美「黒い面纱の」など、短篇小说 15 編を収録。

2020:11./ 522p
978-4-334-79099-8
本体 ¥1,100[税込]



朝日新聞 2020/12/05、日本経済新聞 2020/12/26



花冠日乗

野村 喜和夫／朝岡 英輔／小島 ケイタニーラブ 著
白水社

コロナ禍のなか、生存を脅かされる恐怖にさいなまれながら、生きた証を刻んだ詩集。言葉と写真とピアノ曲との斬新なコラボ。ピアノ譜、曲が聴ける QR コード付き。『web ふらんす』連載を書籍化。

2020:11./ 187p
978-4-560-09812-7
本体 ¥3,630[税込]



朝日新聞 2020/12/05、日本経済新聞 2020/12/26



元号戦記～近代日本、改元の深層～(角川新書 K-335)

野口 武則 著
KADOKAWA

密室政治の極致、元号選定。現在の元号は明治以降に創られた「新しい伝統」に過ぎない。大日本帝国時代の遺制は、いかにして、民主主義国家・日本に埋め込まれたのか? 7年半の取材をもとに、制度を支える真の黒衣に迫る。

朝日新聞 2020/12/05、毎日新聞 2020/12/19

2020:10./ 268p
978-4-04-082378-2
本体 ¥990〔税込〕



我と汝・対話(岩波文庫)

マルティン・ブーバー、植田重雄 著
岩波書店

孤高の宗教哲学者ブーバーによれば、世界は人間のとる態度によって〈われ-なんじ〉〈われ-それ〉の二つとなる。現代文明の危機は後者の途方もない支配の結果であって、〈われ〉と〈なんじ〉の全人格的な呼びかけと出会いを通じて人間の全き回復が可能となる。対話的思惟の重要性を通じて人間の在り方を根元的に問うた主著二篇。

朝日新聞 2020/12/12

1979:1./ 274p
978-4-00-336551-9
本体 ¥924〔税込〕



化け者心中

蟬谷 めぐ実 著
KADOKAWA

時は文政、所は江戸。烏屋を営む藤九郎と稀代の女形として人気を誇った元役者・魚之助。ふたりの鬼暴きの道行きは、傾奇者たちが命と鎬を削る、苛烈な芸の世界の地獄めぐりで…。『小説野性時代』掲載を加筆し書籍化。

朝日新聞 2020/12/12

2020:10./ 285p
978-4-04-109985-8
本体 ¥1,815〔税込〕



近代日本宗教史<第3巻> 教養と生命

島菌 進、末木 文美士、大谷 栄一 著
春秋社

幕末・明治維新期から平成期までカバーした近代日本の宗教史。最新の研究成果を生かし、宗教界全体の動きがわかるように記述。宗教をめぐる様々な問題を複合的な視点から読み解く。3は、大正期を取り上げる。

朝日新聞 2020/12/12

2020:11./ 8p,274p
978-4-393-29963-0
本体 ¥3,520〔税込〕



遊覧日記(ちくま文庫)

武田百合子、武田花 著
筑摩書房

「声を出して笑った」の声、続出!!! 漫画賞総ナメ『夢中さ、きみに。』の和山やま初連載! ある女子校、2年4組担任・星先生。生徒たちが学級日誌で繰り広げる絵しりとりを翻弄され、教室で犬のお世話をし、漫画家志望の生徒にアドバイス。時には同僚と飲みに行く…。 な～んてことない日常が、なぜこんなにも笑えて愛おしいんでしょう!?! どんな時もあなたを笑わせる未体験マンガ、お確かめあれ!

朝日新聞 2020/12/12

1993:1./ 185p
978-4-480-02684-2
本体 ¥770〔税込〕





たかが殺人じゃないか～昭和24年の推理小説～

辻 真先 著
東京創元社

昭和24年、ミステリ作家を目指している風早勝利は、名古屋市内の新制高校3年生になった。そして暑い夏休みの最中、2つの不可解な事件に遭遇し…。17歳の少年と那珂一兵が解き明かす、哀しき真実とは。

2020:5./ 350p
978-4-488-02810-7
本体 ¥2,420〔税込〕



朝日新聞 2020/12/12



正義と差異の政治(サピエンティア 60)

アイリス・マリオン・ヤング 著
法政大学出版局

多様性の時代の解放と連帯のために。ロールズ以降の分析哲学的でリベラルな正義論に根本的な反省を迫り、フェミニズム理論や多文化主義論に多大な影響を与え続ける政治哲学の古典的名著を邦訳。

2020:10./
7p,372p,30p
978-4-588-60360-0
本体 ¥4,400〔税込〕



朝日新聞 2020/12/12



ノゾミくん、こっちにおいて(ポプラ文庫 み 6-1)

水生 大海 著
ポプラ社

海のそばで合わせ鏡を作り、「ノゾミくん、こっちにおいて」と唱えたとノゾミくんが願いをかなえてくれるという都市伝説。ノゾミくんに願いを掛け、願いがかなったはずの由夢が屋上から落下して…。ホラーミステリー。

2020:12./ 315p
978-4-591-16845-5
本体 ¥748〔税込〕



朝日新聞 2020/12/12



量子力学の奥深くに隠されているもの～コペンハーゲン解釈から多世界理論へ～

ショーン・キャロル／塩原 通緒 著
青土社

量子力学には明らかにおかしな点があるが、無視され続けてきた。世界でも有名な理論物理学者の著者が、それを解決するため、「宇宙には複数の「私」が存在する」ということを受け入れる多世界理論を提唱する。

2020:9./ 411p,12p
978-4-7917-7316-9
本体 ¥3,080〔税込〕



朝日新聞 2020/12/12



頭の中の昏い唄(竹書房文庫 い 5-1)

日下 三蔵 編
生島 治郎 著
竹書房

仕事仕事の単調な日々には倦んだ男は、ある夜団地の屋上で耳ざわりな童謡を歌う少女と出逢い…。表題作ほか、「香肉」「世代革命」など全26篇を収録した、悪夢から悪夢へと跳躍する奇妙な味の短篇集。星新一による解説も掲載。

2020:11./ 526p
978-4-8019-2454-3
本体 ¥1,430〔税込〕



朝日新聞 2020/12/12



学術書を読む

鈴木 哲也 著
京都大学学術出版会

「書く」現場に携わる大学出版の編集者が、専門外の本を読むことの意味について考え、その選書法を4つのカテゴリーに分けて紹介。さらに、「学びたいことが学べない」状況からどう脱出するかを、読書という視点から提案する。

2020:10./ 138p
978-4-8140-0301-3
本体 ¥1,650〔税込〕



朝日新聞 2020/12/12



共和国と豚

ピエール・ビルンボーム 著
吉田書店

啓蒙の世紀から現代までのフランスにおける豚食の政治史・文化史を通して、近代以降のフランス・ユダヤ人の歴史を読み解くと共に、それを鏡としてフランス共和国の特質を浮き彫りにする。

2020:9./ 279p
978-4-905497-89-9
本体 ¥3,190〔税込〕



朝日新聞 2020/12/12



活動写真弁士〜映画に魂を吹き込む人びと〜

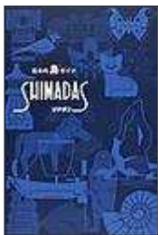
片岡 一郎 著
共和国/editorial republica

国際的に活躍する現役の活動弁士が記す、初期の日本映画に不可欠な「活動写真弁士」の歴史。新発見の事実や資料を駆使して従来の映画史の欠落を埋め、時代に翻弄される群像を描く。詳細な弁士名鑑、人名索引も収録。

2020:10./ 573p
978-4-907986-64-3
本体 ¥7,260〔税込〕



朝日新聞 2020/12/12



シマダス〜日本の島ガイド〜 新版

日本離島センター 編
日本離島センター

北海道から沖縄県まで全国 1750 の島々を収めたガイド。人口・面積、島への交通といった基本データや、みどころ、特産物、やど等の観光情報、生活、学校、医療などの情報を島ごとに紹介する。巻末に索引図も収録。

2019:10./ 1711p 図
版 40 枚
978-4-931230-38-5
本体 ¥4,400〔税込〕



朝日新聞 2020/12/12



あいたくてききたくて旅にでる

清水 チナツ 編
PIMPQUAKES

50 年にわたり東北の村々を訪ね、民話を乞うてきた民話探訪者・小野和子が、探訪の旅日記を軸に、聞かせてもらった民話、手紙、文献などさまざまな性質のテキストを、旅で得た実感とともに編んだ全 18 話を収録。

2019:12./ 357p
978-4-9911310-0-4
本体 ¥2,970〔税込〕



朝日新聞 2020/12/12



医療倫理超入門(岩波科学ライブラリー 297)

マイケル・ダン、トニー・ホープ 著
岩波書店

科学技術の革新や社会構造の変化などにより、医療やケアに関する難しい決定を迫られる場面が増えている。医療資源の配分、安楽死の問題…。事例を交え医療倫理の考え方の要点を説明する。

2020:10./
8p,179p,29p
978-4-00-029697-7
本体 ¥1,870〔税込〕



朝日新聞 2020/12/12、産経新聞 2020/12/13、読売新聞 2020/12/13



「ユーザーフレンドリー」全史〜世界と人間を変えてきた「使いやすいモノ」の法則〜

クリフ・クアン／ロバート・ファブリカント 著
双葉社

人の生活と思考を一変させてきた優れた製品や仕組みに共通する概念「ユーザーフレンドリー」。認知をかたちづくり、ときに大きく左右するその光と影、そして未来への展望を、豊富な事例と綿密な取材で紐解く。

2020:9./ 493p
978-4-575-31577-6
本体 ¥2,640〔税込〕



朝日新聞 2020/12/12、産経新聞 2020/12/20



明治維新の意旨(新潮選書)

北岡 伸一 著
新潮社

明治の国家運営は、なにが優れていたのか? 新政府成立から遷都、廃藩置県、徴兵制、地租改正、義務教育、鉄道・通信の敷設、憲法制定、議会政治樹立まで。スピード感あふれる政治の実態を描き、新たな明治維新論を提示する。

2020:9./ 367p
978-4-10-603853-2
本体 ¥1,925〔税込〕

朝日新聞 2020/12/12、日本経済新聞 2020/12/26、毎日新聞 2020/12/26、読売新聞 2020/12/27



やばいデジタル～“現実”が飲み込まれる日～(講談社現代新書 2594)

NHKスペシャル取材班 著
講談社

「フェイク」は私たち一人ひとりに対して、どのような影響をもたらしているのか。NHKスペシャル「デジタル VS リアル」シリーズでは伝えきれなかった取材内容をふんだんに盛り込み、現代のデジタル世界を紐解く。

2020:11./ 215p
978-4-06-521954-6
本体 ¥946〔税込〕

朝日新聞 2020/12/19



家族じまい

桜木 紫乃 著
集英社

認知症の母と、齢を重ねても横暴な父。両親の老いに姉妹は戸惑い、それぞれ夫との仲も揺れて…。大人の諦観と慈愛に満ちた長編小説。『小説すばる』掲載を加筆し単行本化。

2020:6./ 271p
978-4-08-771714-3
本体 ¥1,760〔税込〕

朝日新聞 2020/12/19



バグダードのフランケンシュタイン

アフマド・サアダーウィー／柳谷 あゆみ 著
集英社

連日自爆テロの続く 2005 年のバグダード。吹き飛んだ遺体の残骸から生み出された怪物は、自分に死をもたらした者どもに復讐を誓い、混沌の夜を駆け巡る。国家と社会を痛烈に皮肉るエンタテインメント群像劇。

2020:10./ 396p
978-4-08-773504-8
本体 ¥2,640〔税込〕

朝日新聞 2020/12/19



チ。〜地球の運動について〜<第 1 集>(ビッグコミックス)

魚豊 著
小学館

朝日新聞 2020/12/19

2020:12./ 160p
978-4-09-860778-5
本体 ¥650〔税込〕



私的読食録(新潮文庫 ほ-16-31)

堀江 敏幸／角田 光代 著
新潮社

物語の中で少女が食べた「甘パン」、殺し屋が飲む一杯の「珈琲」…。小説、エッセイ、日記などの作品に登場する様々な「食」を、2 人の作家があらゆる角度から味わい、読み尽くす。本好きに贈る散文集。文庫化記念対談付き。

2020:12./ 342p
978-4-10-129478-0
本体 ¥693〔税込〕

朝日新聞 2020/12/19



ゲンロン戦記～「知の観客」をつくる～(中公新書ラクレ 709)

東 浩紀 著
中央公論新社

「数」の論理と資本主義が支配するこの残酷な世界で、人間が自由であることは可能なのか？ 仲間の離反、資金のショート、組織の腐敗…。「ゲンロン」を立ち上げた著者が、会社の華々しい戦績の裏にあった苦闘の 10 年を語る。

2020:12./ 277p
978-4-12-150709-9
本体 ¥946〔税込〕



朝日新聞 2020/12/19



文章読本(中公文庫 よ17-15)

日本ペンクラブ 編
吉行淳之介 著
中央公論新社

大家が悩みつつ体得した、文章術の極意とは？「文章読本」の元祖・谷崎潤一郎から安岡章太郎、金井美恵子まで、20名の錚々たる作家による文章論を精選。新たに丸谷オー・吉行淳之介「文章読本」についての閑談」を収録。

2020:11./ 275p
978-4-12-206994-7
本体 ¥990〔税込〕



朝日新聞 2020/12/19



近代日本の統治と空間～私邸・別荘・庁舎～

佐藤 信 著
東京大学出版会

統治の中心はいかに形成されたのか。東京という新たな統治の中心が創成されていく中で、統治エリートらが実際に活動した空間に着目。近代におけるその全体像と変容を壮大に描く。

2020:8./
12p,546p,25p
978-4-13-036279-5
本体 ¥10,120〔税込〕



朝日新聞 2020/12/19



独裁の世界史(NHK 出版新書 638)

本村 凌二 著
NHK出版

なぜプラトンは「独裁」を理想の政治形態と考えたのか？ 独裁者の台頭を防いだ古代ローマの知恵とは？ 2500年規模の世界史を大胆に整理し、「独裁」を切り口に語りなおす。「テンミニッツ TV」配信講義を編集し書籍化。

2020:11./ 234p
978-4-14-088638-0
本体 ¥935〔税込〕



朝日新聞 2020/12/19



蠅の王 新訳版(ハヤカワ epi 文庫 90)

ウィリアム・ゴールドディング、黒原 敏行 著
早川書房

飛行機が墜落し、無人島にたどりついた少年たち。協力して生き抜こうとするが、次第に緊張が高まり、暗闇に潜むという<獣>に対する恐怖が募り…。ノーベル賞作家の代表作を新訳で紹介する。

2017:4./ 367p
978-4-15-120090-8
本体 ¥1,100〔税込〕



朝日新聞 2020/12/19



Z世代～若者はなぜインスタ・TikTok にハマるのか？～(光文社新書 1101)

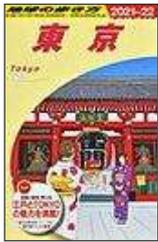
原田 曜平 著
光文社

概ね 1990 年代中盤以降に生まれた「Z 世代」。人口が少ないにも関わらず、発信力・拡散力が巨大で、コロナ禍でも消費金額が大きく、「ダイヤモンドの卵」人材と呼ばれるのはなぜか。若者研究の第一人者が徹底分析する。

2020:11./ 283p
978-4-334-04507-4
本体 ¥1,012〔税込〕



朝日新聞 2020/12/19



地球の歩き方<J01> 2021?22 東京

地球の歩き方編集室 編
ダイヤモンド・ビッグ社

日帰り旅行から滞在型の旅まで、東京をじっくり楽しみたい人のためのガイドブック。エリアガイドをはじめ、歴史と文化、グルメ、ショッピングなどを掲載。取り外せる MAP 付き。データ:2019年10?11月現在。

2020:9./ 464p
978-4-478-82491-7
本体 ¥2,019[税込]



朝日新聞 2020/12/19



第三帝国を旅した人々~外国人旅行者が見たファシズムの勃興~

ジュリア・ボイド 著
白水社

有名無名の人々が「呟いた」ナチスの台頭-。二大戦間のドイツで何が起きていたか。1919年から45年まで、日記や書簡、記事や回想録を引用し、歴史的事件の瞬間を生きた人々の肉声を再現する。地図・口絵写真等も掲載。

2020:9./ 424p,50p
978-4-560-09785-4
本体 ¥4,840[税込]



朝日新聞 2020/12/19



和室学~世界で日本にしかない空間~(住総研住まい読本)

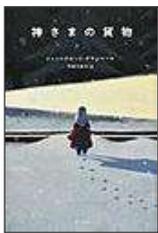
松村 秀一/服部 岑生 編
平凡社

和室、この特異で静謐な空間-。木材と紙の特長を十全に活かした、日本家屋のシンボルというべき和室の歴史と現状から将来への展望までを論じる。優れた和室の特長、日本人の生活・精神文化との深い関わりを伝える「和室」論。

2020:10./ 369p
978-4-582-54468-8
本体 ¥3,740[税込]



朝日新聞 2020/12/19



神さまの貨物

ジャン=クロード・グランベール 著
ポプラ社

大きな暗い森に貧しい木こりの夫婦が住んでいた。ある日、森を走りぬける貨物列車の小窓が開き、雪のうえに赤ちゃんが投げられた。明日の見えない世界で、大人たちは託された命を守ろうとし...。人間への信頼を呼び覚ます物語。

2020:10./ 157p
978-4-591-16663-5
本体 ¥1,540[税込]



朝日新聞 2020/12/19



失われゆく仕事の図鑑~「アレ」も「コレ」もヒトが手で創り、動かしていた時代の記録~

永井 良和/高野 光平 著
グラフィック社

キャバレーのホステス、アイスキャンデー売り、鍔掛屋、ネオン管職人...。121の消えた仕事・消えつつある仕事を、写真やイラストとともに紹介する。消えゆく仕事に就いていた人の語りなども掲載。

2020:12./ 183p
978-4-7661-3486-5
本体 ¥2,200[税込]



朝日新聞 2020/12/19



ボブが遺してくれた最高のギフト

ジェームズ・ボーエン 著
辰巳出版

野良猫ボブと出会って以来、雑誌の販売員になり、薬物依存症も克服したジェームズだが、その年は記録的な寒さと脚の痛みで働くこともままならず...。出会いから3年後の2010年のクリスマスにまつわる物語。3部作、完結。

2020:12./ 164p
978-4-7778-2715-2
本体 ¥1,760[税込]



朝日新聞 2020/12/19



ナチス機関誌「女性展望」を読む～女性表象、日常生活、戦時動員～

桑原 ヒサ子 著
青弓社

ナチス・ドイツ期、社会的・文化的領域で“理想的な”女性像を伝達する有力なプロパガンダメディアだった『女性展望』。戦後ドイツの記憶から消えたナチス機関誌を掘り起こし、ナチス政権下に生きた女性たちの実像に迫る。

2020:9./ 428p
978-4-7872-2090-5
本体 ¥5,280[税込]



朝日新聞 2020/12/19



上野新論～変わりゆく街、受け継がれる気質～

五十嵐 泰正 著
せりか書房

特異なまでに都市的な要素や機能が高密度に集積し、異質性の高い人たちが集う街、上野。そのグローバル化のプロセスを、その特異な個性に根差して論考する。既出の論文を加筆し書籍化。

2019:12./ 301p
978-4-7967-0384-0
本体 ¥3,300[税込]



朝日新聞 2020/12/19



プロデュースの基本(インターナショナル新書 062)

木崎 賢治 著
集英社インターナショナル

沢田研二から BUMP OF CHICKEN まで手掛けた名音楽プロデューサーが、あらゆる職種に応用自在の仕事術を伝授。自身の経験から編み出した役立つ法則の数々を披露し、クリエイティブであるための心得なども説く。

2020:12./ 233p,19p
978-4-7976-8062-1
本体 ¥968[税込]



朝日新聞 2020/12/19



印刷博物館とわたし

樺山 紘一 著
千倉書房

東京大学教授、西洋美術館長、その先に待っていたのは、ちょっとユニークな博物館の館長のお仕事でした。創立 20 周年を迎えた印刷博物館の館長が、自身と印刷博物館の歩みを振り返る。展覧会の図録に寄稿した論考も収録。

2020:10./ 291p
978-4-8051-1220-5
本体 ¥3,080[税込]



朝日新聞 2020/12/19



そして映画館はつづく～あの劇場で見た映画はなぜ忘れられないのだろう～

フィルムアート社 著
フィルムアート社

全国の映画館主をはじめとして、配給、上映関係者、ミニシアター・エイド事務局、映画監督・黒沢清、俳優・橋本愛らが、「映画館のこれまでとこれから」を語る。全国のミニシアターガイドも収録。

2020:11./ 292p,40p
978-4-8459-2016-7
本体 ¥2,200[税込]



朝日新聞 2020/12/19



けものが街にやってくる～人口減少社会と野生動物がもたらす災害リスク～

羽澄 俊裕 著
地人書館

早く手をつけないと大変なことになる！野生動物がもたらす災害リスクの問題をテーマに、人口減少問題、国土計画、解決に向けた課題について解説。コロナ禍の今、この問題に取り組まずに新しい社会の構築はありえないと説く。

2020:10./ 14p,233p
978-4-8052-0944-8
本体 ¥2,200[税込]



朝日新聞 2020/12/19、朝日新聞 2020/12/26



戦争と弾圧～三・一五事件と特高課長・瀨藤弥三の軌跡～

瀨藤 厚 著
新日本出版社

戦前期には特高課長として人々を弾圧し、戦後期には国会議員として「建国記念の日」の旗振り役を担った瀨藤弥三。その言動と軌跡を追い、彼が関わった三・一五事件に焦点を当て、戦前・戦後日本政治の実態を検証する。

2020:10./ 335p
978-4-406-06513-9
本体 ¥2,420〔税込〕



朝日新聞 2020/12/19、東京・中日新聞 2020/12/20



ブルースだってただの唄～黒人女性の仕事と生活～(ちくま文庫 ふ 54-1)

藤本 和子 著
筑摩書房

差別や困難に遭いながら、仕事をし、考え、話し合い、笑い、生きのびてきた黒人女性たち。1980年代、アメリカに暮らす著者が彼女たちの話を聞き、その思いを書きとめ…。黒人女性たちの「たたかい」を描く名著を増補。

2020:11./ 316p
978-4-480-43703-7
本体 ¥990〔税込〕



朝日新聞 2020/12/19、読売新聞 2020/12/20



尾崎紅葉事典

山田 有策、木谷 喜美枝、宇佐美 毅、市川 絃美、大屋 幸世 編
翰林書房

文学者・尾崎紅葉とその文学営為にさまざまな角度から照明をあて、その全貌を明らかにし、<近代>の生成を文学的に証し立てる。作品の初出・初刊、梗概、解説・評価や、関連人物、日記や紀行文の解説などを収録する。

2020:10./ 446p
978-4-87737-455-6
本体 ¥13,200〔税込〕



朝日新聞 2020/12/19、読売新聞 2020/12/20



砂戦争～知られざる資源争奪戦～(角川新書 K-338)

石 弘之 著
KADOKAWA

文明社会を支えるビルや道路、パソコンの半導体などの原料は「砂」。地球規模で都市化が進む現在、すでに砂の争奪戦が始まっている。違法採掘、マフィアの暗躍…。人間の欲望と砂資源の今を、環境問題の第一人者がレポート。

2020:11./ 250p
978-4-04-082363-8
本体 ¥990〔税込〕



朝日新聞 2020/12/19、日本経済新聞 2020/12/26



生活綴方で編む「戦後史」～<冷戦>と<越境>の1950年代～

駒込 武 著
岩波書店

世界中の生活綴方を集め、翻訳し、刊行する巨大プロジェクト。1953年、平凡社編集部で始動した作文集「世界の子ども」の編集過程を通じ、第二次世界大戦から冷戦への移行期における連帯への微かな可能性を炙り出す。

2020:6./
12p,376p,15p
978-4-00-061409-2
本体 ¥5,390〔税込〕



朝日新聞 2020/12/26



湯川秀樹の戦争と平和～ノーベル賞科学者が遺した希望～(岩波ブックレット No.1029)

小沼 通二 著
岩波書店

日本初のノーベル賞受賞者・湯川秀樹は、なぜ軍事研究に関わり、戦後、平和運動に身を捧げたのか。遺された日記や文章から湯川 of 取り組みや思想を追い、コロナ禍や気候危機、少子高齢社会下の我々のあり方を考える。写真も掲載。

2020:8./ 87p
978-4-00-271029-7
本体 ¥682〔税込〕



朝日新聞 2020/12/26



マックス・ヴェーバー～主体的人間の悲喜劇～(岩波新書 新赤版 1834)

今野 元 著
岩波書店

今も読み継がれる名著を数多く残した知の巨人マックス・ヴェーバーの「人格形成物語」を描く試み。個別作品の鑑賞ではなく、それを生み出した文脈、つまりヴェーバーの生涯およびそれを取り巻く歴史的な文脈を解明する。

2020:5./ 9p,242p,8p
978-4-00-431834-7
本体 ¥946〔税込〕



朝日新聞 2020/12/26



ミハイル・ゴルバチョフ～変わりゆく世界の中で～

ミハイル・ゴルバチョフ 著
朝日新聞出版

1987年12月8日、米ソの間で中距離核戦力(INF)全廃条約が調印されて32年。「新冷戦の始まり」との声も聞かれる世界はどこへ行くのか。ノーベル平和賞のゴルバチョフが当時と今を語り尽くす。

2020:7./ 362p
978-4-02-251693-0
本体 ¥2,860〔税込〕



朝日新聞 2020/12/26



大江健三郎全小説全解説

尾崎 真理子 著
講談社

1957年のデビュー以来、約60年間に書かれた大江健三郎の長編30作、中・短編66作を全て解説。あらすじ、登場人物から状況設定、執筆時の時代背景、主要批評、新解釈等を掲載する。年譜、全作品書誌、文献一覧も収録。

2020:9./ 514p,11p
978-4-06-519506-2
本体 ¥3,850〔税込〕



朝日新聞 2020/12/26



隣人 X

パリュス あや子 著
講談社

派遣社員の紗央、アルバイトの良子、ベトナム人留学生のリエン。彼女たちは皆“人と違う自分”を出せずにいた。そんな折、地球外生命体の労働力を期待して、惑星難民を受け入れる法案が可決し…。『小説現代』掲載を単行本化。

2020:8./ 213p
978-4-06-519764-6
本体 ¥1,540〔税込〕



朝日新聞 2020/12/26



時間は逆戻りするのか～宇宙から量子まで、可能性のすべて～(ブルーバックス B-2143)

高水 裕一 著
講談社

自然界の多くは対称性をもっているのに、なぜ時間は一方向にしか流れないのか？ 古来、物理学者たちを悩ませてきた究極の問いに、“ホーキング博士の最後の弟子”が、理論物理学の最新知見を縦横に駆使して答える。

2020:7./ 270p
978-4-06-520210-4
本体 ¥1,100〔税込〕



朝日新聞 2020/12/26



ボニン浄土

宇佐美 まこと 著
小学館

1840年。五百石船の乗員たちは、ある島に逢着する。青い瞳の住人は、島の名を「ボニン」と告げた。それから、180年後。物語はついに動き始め…。時空を超えた怒りと赦しの超弩級人間ドラマ。

2020:6./ 349p
978-4-09-386577-7
本体 ¥1,980〔税込〕



朝日新聞 2020/12/26



さくら(小学館文庫)

西 加奈子 著
小学館

累計 55 万部突破！2020 年 11 月公開 ヒーローだった兄ちゃんは、20 歳 4 か月で死んだ。超美形の妹は、内に籠もった。母も肥満化し、酒に溺れた。僕も東京の大学に入った。あとは、「サクラ」となづけられた犬が一匹——。そんなある年の暮れ。家を出ていた父が戻ってきた…。

朝日新聞 2020/12/26

2007:12./ 413p
978-4-09-408227-2
本体 ¥660〔税込〕



自転しながら公転する

山本 文緒 著
新潮社

東京で働いていた 32 歳の都は、親の看病のために実家に戻り、近所のモールで働き始めるが…。結婚、仕事、親の介護、ぐるぐる思い惑いながら幸せを求める姿を描く。『小説新潮』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

朝日新聞 2020/12/26

2020:9./ 478p
978-4-10-308012-1
本体 ¥1,980〔税込〕



未来をつくる言葉～わかりあえなさをつなぐために～

ドミニク・チェン 著
新潮社

湧き上がる気持ちをデジタルで表現する達人の思考と実践は、分断を「翻訳」してつなぎ、多様な人が共に在る場をつくっていく。気鋭の情報学者が、デジタル表現のこれからを語る。『考える人』連載を大幅に加筆・修正。

朝日新聞 2020/12/26

2020:1./ 206p
978-4-10-353111-1
本体 ¥1,980〔税込〕



アコーディオン弾きの息子(CREST BOOKS)

ベルナルド・アチャガ 著
新潮社

懐かしく長閑な子ども時代、やがて訪れた政治と暴力の日々。歴史のうねりに飲み込まれ、故郷を失い記憶を封じた男は…。現代バスク語文学の「黄金時代」を明示する長篇小説。

朝日新聞 2020/12/26

2020:5./ 573p
978-4-10-590166-0
本体 ¥3,300〔税込〕



政治改革再考～変貌を遂げた国家の軌跡～(新潮選書)

待鳥 聡史 著
新潮社

選挙制度、行政、日銀・大蔵省、司法制度、地方分権…。1990 年代以降、日本の統治システムは改革の名のもと、静かに、しかし激しく変貌を遂げてきた。現在の政治を作り出した壮大な理念とその帰結を読み解く。

朝日新聞 2020/12/26

2020:5./ 314p,5p
978-4-10-603854-9
本体 ¥1,540〔税込〕



戦後「社会科学」の思想～丸山眞男から新保守主義まで～(NHK ブックス 1261)

森 政稔 著
NHK出版

学問の境界を越えて展開し時代をリードした社会科学に着目。戦後の 4 つの時期を設定して、それぞれの主題的な時期区分において、社会科学がどのように自分たちに時代を「現代」としてその新しさを見出したかをたどる。

朝日新聞 2020/12/26

2020:3./ 302p
978-4-14-091261-4
本体 ¥1,760〔税込〕





レイラの最後の10分38秒

エリフ・シャファク 著
早川書房

1990年のイスタンブル。路地裏で娼婦レイラが息絶えた。だが、心臓の動きが止まった後も10分38秒のあいだ、意識は続いた。時間の感覚が薄れていくなか、これまでの人生の痛み、苦しみ、喜びが溢れだし...

朝日新聞 2020/12/26

2020:9./ 372p
978-4-15-209962-4
本体 ¥2,530[税込]



無敗の男～中村喜四郎全告白～

常井 健一 著
文藝春秋

ゼネコン汚職で逮捕されるが完全黙秘を貫き、検事をして「男の中の男」と言わしめた伝説の男・中村喜四郎。ムショ帰り後も当選を続け、今も現役の「選挙の鬼」が、25年の沈黙を破ってすべてを告白する。

朝日新聞 2020/12/26

2019:12./ 332p
978-4-16-391118-2
本体 ¥2,090[税込]



くらやみきんしの国

エミリー・ハワース＝ブース 著
あかね書房

くらやみが怖い王さまは、くらやみについての悪いうわさを流し、みんなにくらやみは悪いものだと思わせました。そして、くらやみを禁止し、巨大な人工太陽を作らせました。しかし...。大切なことを教えてくれる絵本。

朝日新聞 2020/12/26

2020:11./ [32p]
978-4-251-09938-9
本体 ¥1,760[税込]



これからの男の子たちへ～「男らしさ」から自由になるためのレッスン～

太田 啓子 著
大月書店

「男らしさ」の呪縛は何歳から始まる？ わが子をセクハラ加害者にしないためには？ 男子2人を育てる弁護士ママが悩みながら考えた、ジェンダー平等時代の子育て論。小島慶子らとの対談も収録。

朝日新聞 2020/12/26

2020:8./ 262p
978-4-272-35047-6
本体 ¥1,760[税込]



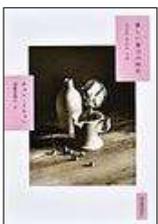
季節を告げる霧は夜が知った毛毛毛毛

藤田 貴大 著
河出書房新社

降ってくるコアラ、増え続ける謎の自殺者、リフレインする彼・彼女の毛むくじゃらでポップな日常...。演劇ユニット「マームとジプシー」主宰による現実を揺さぶる小説集。全5編を収録。『文藝』掲載を書籍化。

朝日新聞 2020/12/26

2020:7./ 203p
978-4-309-02904-7
本体 ¥1,870[税込]



優しい暴力の時代

チョン・イヒョン 著
河出書房新社

母と子、妻と夫、恋人...人々は親切に、礼儀正しく傷つけあう。人生に訪れた劇的な出会いを鮮やかに描く、現代韓国を代表するストーリーテラーによる珠玉の短編集。現代文学賞受賞「三豊百貨店」収録。

朝日新聞 2020/12/26

2020:8./ 278p
978-4-309-20804-6
本体 ¥2,420[税込]





日本の医療の不都合な真実～コロナ禍で見た「世界最高レベルの医療」の裏側～(幻冬舎新書 も-13-1)

森田 洋之 著
幻冬舎

病院数も病床数も世界一多い日本で、なぜ「医療崩壊」の危機が叫ばれているのか。コロナ禍で露呈した日本の医療の問題点、衝撃の実態を明らかにし、人生の主導権を医療に奪われない生と死のあり方を問う。

2020:9./ 220p
978-4-344-98602-2
本体 ¥924〔税込〕



朝日新聞 2020/12/26



シンプルなクローゼットが地球を救う～ファッション革命実践ガイド～

エリザベス・L・クライン 著
春秋社

毎日の服選びが、自分と世界を変えてゆく。「ファストファッション」で衣類の大量生産・廃棄の現状を取材した著者が、必要な服だけ残す方法、リセールや修理のコツから、社会的アクションまでを具体的に伝授する。

2020:6./ 261p
978-4-393-33376-1
本体 ¥1,980〔税込〕



朝日新聞 2020/12/26



女の園の星<1>(フィールコミックス)

和山 やま 著
祥伝社

「声を出して笑った」の声、続出!!! 漫画賞総ナメ『夢中さ、きみに。』の和山やま初連載！ ある女子校、2年4組担任・星先生。生徒たちが学級日誌で繰り広げる絵しりとりを翻弄され、教室で犬のお世話をし、漫画家志望の生徒にアドバイス。時には同僚と飲みに行く…。 な～んてことない日常が、なぜこんなにも笑えて愛おしいんでしょう!? どんな時もあなたを笑わせる未体験マンガ、お確かめあれ！

2020:7./ 168p
978-4-396-76797-6
本体 ¥748〔税込〕



朝日新聞 2020/12/26



歴史人口学事始め～記録と記憶の九〇年～(ちくま新書 1475)

速水 融 著
筑摩書房

歴史人口学の泰斗、速水融の遺著。戦中の勤労働員、ヨーロッパの先端研究の導入、網野善彦や梅原猛との出会い、時刻表をヒントにしたデータシートの考案など、90年間の学問人生を回顧し、人口減少社会の未来を考察する。

2020:2./ 332p
978-4-480-07299-3
本体 ¥1,100〔税込〕



朝日新聞 2020/12/26



社会を知るためには(ちくまプリマー新書 359)

筒井 淳也 著
筑摩書房

「社会」という言葉は様々な形で使われていて、普段は存在を意識しないが、実態はとてつもない曖昧だ。では、どうすれば「社会」を理解できるのか？ 複雑化、副作用、絡み合う因果関係など、その特徴をわかりやすく伝える。

2020:9./ 221p
978-4-480-68382-3
本体 ¥924〔税込〕



朝日新聞 2020/12/26



NEO ECONOMY～世界の知性が挑む経済の謎～

日本経済新聞社 編

日本経済新聞出版社

デジタル技術の進歩は、人類が体験したことのない世界を創る。形ある富から、姿なき富へ、パラダイムは完全に変わったのだ。金融、産業、消費の最前線で現実となっている大変化をルポし、パラダイム・シフトの本質を説く。

2020:5./ 277p

978-4-532-35852-5

本体 ¥1,870[税込]



朝日新聞 2020/12/26



コロナ危機の経済学～提言と分析～

小林 慶一郎／森川 正之 著

日本経済新聞出版社

大恐慌以来ともいわれる経済ショック「コロナ危機」。どうすれば感染拡大を抑制しつつ、経済活動を維持できるのか？ 最適な政策とは？ 気鋭の経済学者たちがコロナ禍の実態を解明し、ポスト・コロナの経済・社会を展望する。

2020:7./ 379p

978-4-532-35861-7

本体 ¥2,750[税込]



朝日新聞 2020/12/26



夜に駆ける～YOASOBI 小説集～

星野舞夜／いしき蒼太／しなの／水上下波 著

双葉社

「小説を音楽にするユニット」YOASOBIの恋愛ソングの原作小説集。Ayase×ikuraのインタビューも掲載。ikura の朗読動画を視聴できる QR コード付き。『monogatory.com』掲載を加筆修正。

2020:9./ 195p

978-4-575-24321-5

本体 ¥1,485[税込]



朝日新聞 2020/12/26



活動の奇跡～アーレント政治理論と哲学カフェ～

三浦 隆宏 著

法政大学出版局

アーレントが見出した「活動」の奇蹟と、哲学カフェ実践の軌跡。哲学とその外を往還し、村上春樹と悪のモチーフ、建築や臨床の知の具体例から、「私たち」の感覚を取り戻し、思考なき全体主義を克服する道を探る。

2020:6./

18p,348p,12p

978-4-588-13030-4

本体 ¥3,740[税込]



朝日新聞 2020/12/26



戦中・戦後文化論～転換期日本の文化統合～

赤澤 史朗 著

法律文化社

著者の複合的な歴史観と多様な観点による、これまでの研究の集大成。小説家、力士、出版界、天皇制など、戦中・戦後の文化・政治を特徴づける多くの個別テーマ研究を、戦中・戦後の通史的構成のなかに配置し再評価する。

2020:10./ 19p,362p

978-4-589-04099-2

本体 ¥7,150[税込]



朝日新聞 2020/12/26



ステイ・スモール～会社は「小さい」ほどうまくいく～

ポール・ジャルヴィス 著

ポプラ社

オンライン時代に強みを発揮する「小さな会社」の戦略とは-。誰もが、ひとりでも始められ、自他ともに幸福になる持続可能なビジネスモデル「カンパニー・オブ・ワン」を紹介する。

2020:9./ 324p

978-4-591-16758-8

本体 ¥1,980[税込]



朝日新聞 2020/12/26



近世蝦夷地在地社会の研究

谷本 晃久 著
山川出版社

17世紀初頭から19世紀中葉にかけての蝦夷地(北海道)における在地社会の特質を、文献史学的手法を用いて解明。研究成果をふまえ、交易や宗教などを手掛かりに実証的に分析する。

2020:3./ 9p,458p,9p
978-4-634-52042-4
本体 ¥9,900[税込]



朝日新聞 2020/12/26



ブータンの情報社会～工業化なき情報化のゆくえ～ (早稲田大学エウプラクシス叢書 024)

藤原 整 著
早稲田大学出版部

ブータンの情報化の特異性には、工業化なき近代化が深くかかわっている。グローバル化のなかに、ブータンの情報社会はどのように包摂され得るのか。情報学的世界観や進化史観を背景に、ブータンのいまを見つめる。

2020:11./ 7p,326p
978-4-657-20805-7
本体 ¥4,400[税込]



朝日新聞 2020/12/26



アメリカ公共放送の歴史～多様性社会における人知の共有をめざして～

志柿 浩一郎 著
明石書店

アメリカには自治体、大学等が運営する数多くの非営利放送局があり、草の根的に公共放送を発展させてきた。その背景に何があるのか。教育や社会問題に対してコミュニティレベルで取り組むアメリカ社会の特質を浮き彫りにする。

2020:10./ 266p
978-4-7503-5090-5
本体 ¥3,850[税込]



朝日新聞 2020/12/26



スーパー・ノヴァ

ニコール・パンティルイーキス 著
あすなろ書房

ノヴァとブリジットはスペースシャトル・チャレンジャーの打ち上げを心待ちにしていた。でも、その日を前にブリジットは姿を消した。ノヴァは待っている。約束を信じて…。ひとりぼっちの女の子が新たな宇宙の扉をあける物語。

2020:11./ 319p
978-4-7515-3032-0
本体 ¥1,650[税込]



朝日新聞 2020/12/26



同性婚論争～「家族」をめぐるアメリカの文化戦争～

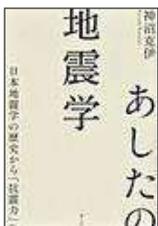
小泉 明子 著
慶應義塾大学出版会

アメリカを舞台にした、文化的価値観をめぐる対立としての文化戦争に焦点を当てた書。同性婚の承認をかけた半世紀にわたる激しい攻防の歴史をたどり、近年可視化が進む日本の同性愛者の状況や同性婚訴訟について考察する。

2020:10./ 5p,186p,35p
978-4-7664-2700-4
本体 ¥2,200[税込]



朝日新聞 2020/12/26



あしたの地震学～日本地震学の歴史から「抗震力」へ～

神沼 克伊 著
青土社

はたして地震を予知することは可能なのか。日本地震学の歴史をつぶさにひもとく、実際に経験したことから、専門家のあるべき姿と、どのように地震と向き合うべきかを、第一人者が考察する。

2020:3./ 238p
978-4-7917-7259-9
本体 ¥2,420[税込]



朝日新聞 2020/12/26



人、場所、歓待～平等な社会のための3つの概念～

金 賢京 著
青土社

すべての人に居場所がある社会の条件とは。韓国で注目を集める人類学者・社会学者が、ロック、ルソーらの近代思想から、デュルケーム、パターソンに至る理論を引用しつつ、社会に必要な政治学と論理的価値を論じる。

2020:4./ 289p
978-4-7917-7275-9
本体 ¥3,080[税込]



朝日新聞 2020/12/26



見えないスポーツ図鑑

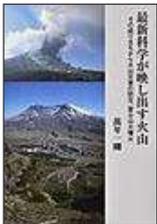
伊藤 亜紗／渡邊 淳司／林 阿希子 著
晶文社

「視覚障害者にスポーツの臨場感をどう伝えるか」から始まった研究は、スポーツを“翻訳”することに向かった。アスリートの感覚や競技のエッセンスを、日用品を使った動作に“翻訳”するプロジェクトの成果を紹介する。

2020:10./ 307p
978-4-7949-7192-0
本体 ¥2,200[税込]



朝日新聞 2020/12/26



最新科学が映し出す火山～その成り立ちから火山災害の防災、富士山大噴火～

萬年 一剛 著
ベストブック

火山と生活との関係を念頭に置きながら、マグマができてから噴火するまでの過程で火山がみせるさまざまな側面を紹介。近年急速に進展しつつある国や自治体による火山災害への対応とその問題点についても解説する。

2020:10./ 239p
978-4-8314-0239-4
本体 ¥1,540[税込]



朝日新聞 2020/12/26



俺のアラスカ～伝説の“日本人トラッパー”が語る狩猟生活～

伊藤 精一、すずき ひさこ 編
伊藤 精一 著
作品社

アラスカの男たちから“最後の本物の罾猟師”として尊敬を集めた伊藤精一。30年にわたるアラスカの原野での狩猟生活、ハンティングの醍醐味、アラスカの大自然で生きることの想いを語る。1986?98年の録音を書籍化。

2020:1./ 264p
978-4-86182-738-9
本体 ¥2,420[税込]



朝日新聞 2020/12/26



長谷川利行の絵～芸術家と時代～

大塚信一 著
作品社

日本が戦争に向かっていった暗く、不安に満ちた時代に、明るく美しい絵を描いた殆ど唯一の芸術家は、どのように生まれたのか? “日本のゴッホ”長谷川利行の本質に、従来の「伝説」を排して迫る評伝。

2020:5./ 229p,6p
978-4-86182-781-5
本体 ¥2,420[税込]



朝日新聞 2020/12/26



<わたしたち>の到来～英語圏モダニズムにおける歴史叙述とマニフェスト～ (シリーズ<哲学への扉>)

中井 亜佐子 著

月曜社

ジョセフ・コンラッド、ヴァージニア・ウルフ、C・L・R・ジェームズ。世界戦争と革命の20世紀を生きた3人のモダニストたちのテキストから<わたしたち>という集合性の危うさと可能性を読み解く。

2020:6./ 299p,6p
978-4-86503-100-3
本体 ¥2,200[税込]



朝日新聞 2020/12/26



アルス・ロンガ～美術家たちの記憶の戦略～

ペーター・シュブリンガー／前川 久美子 著

工作舎

美術家自身が意図して作品に同化することも、他者が作品と美術家を同一視することも、様々なかたちをとって、くりかえし起きている。その成立や展開を追跡し、それを支え、促した思想的、社会的、政治的要因を探る。

2020:2./ 348p
978-4-87502-517-7
本体 ¥4,950[税込]



朝日新聞 2020/12/26



窓辺のこと

石田 千 著

港の人

50歳になった作家・石田千が、暮らしに根づいている言葉を丁寧にすくい、文章に放つ。いいことも悲しいことも書いた、新境地をひらくエッセイ集。『共同通信』連載を中心に、2018年に雑誌に発表した文章をまとめる。

2019:12./ 267p
978-4-89629-372-2
本体 ¥1,980[税込]



朝日新聞 2020/12/26



荷を引く獣たち～動物の解放と障害者の解放～

スナウラ・テイラー 著

洛北出版

画家、作家、障害者運動と動物の権利運動の担い手である著者が、個人的な体験、さまざまな人びとへのインタビュー、歴史記述、社会・人文学理論などを通して、動物の解放と障害者の解放の深い結びつきを説く。

2020:9./ 443p
978-4-903127-30-9
本体 ¥3,080[税込]



朝日新聞 2020/12/26



わたしはオオカミ～仲間と手をつなぎ、やりたいことをやり、なりたい自分になる～

アビー・ワンバック、寺尾 まち子 著

海と月社

“女子サッカー界のレジェンド”アビー・ワンバックが、古いルールを捨て、悔いなき人生にする「クール」で「しなやか」な方法を語る。「胸躍るスピーチ」と世界で絶賛された名門女子大バーナードの卒業式祝辞から生まれた本。

2020:7./ 107p
978-4-903212-70-8
本体 ¥1,540[税込]



朝日新聞 2020/12/26

**コロナ禍日記(生活考察叢書 01)**

植本一子／円城塔／王谷晶／大和田俊之／香山哲／木下美絵／楠本まき／栗原裕一郎／谷崎由依／田中誠一／辻本力／中岡祐介／ニコ・ニコルソン／西村彩／速水健朗／福永信／マヒトゥ・ザ・ピーポー 著

タバックス

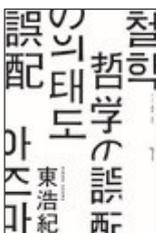
2020 年春、新型コロナウイルスの流行によって日常は激変した。人々はどんな生活を送り、何を思ったのか。作家、漫画家、店舗経営者…。日本をはじめ、韓国などで暮らす 17 人がコロナ禍の数ヶ月を綴った日記アンソロジー。

朝日新聞 2020/12/26

2020:8./ 444p

978-4-907053-45-1

本体 ¥2,200[税込]

**哲学の誤配(ゲンロン叢書 007)**

東浩紀 著

ゲンロン

正しい宛先に向けて正しく言葉を伝えることは、政治的でも公共的でもないのだ。韓国の読者に向けて語った 2 つのインタビューと、2019 年 11 月に中国・杭州で行なった講演を収録する。日韓並行出版。

朝日新聞 2020/12/26

2020:4./ 206p

978-4-907188-37-5

本体 ¥1,980[税込]

**戦争・革命の東アジアと日本のコミュニスト～1920-1970 年～**

黒川 伊織 著

有志舎

東アジアのコミュニストは、戦争と革命の 20 世紀をいかに生き、いかに出会い、そして別れていったのか。有名無名の活動家たちの営みを辿り直し、革命の夢が潰えたのちもなお色褪せない彼らの<生きられた経験>の意味を問う。

朝日新聞 2020/12/26

2020:9./

10p,338p,27p

978-4-908672-43-9

本体 ¥3,080[税込]

**目撃天安門事件～歴史的民主化運動の真相～**

加藤 青延 著

PHPエディターズ・グループ

1989 年に中国で起きた民主化運動の武力鎮圧事件「天安門事件」。中国政府が偽り続ける死者数、誇張されて伝えられた胡耀邦の死…。当時、最前線で取材した NHK 特派員が、衝撃の現場を初めて明かす。

朝日新聞 2020/12/26

2020:4./ 234p

978-4-909417-46-6

本体 ¥1,430[税込]

**民衆暴力～一揆・暴動・虐殺の日本近代～(中公新書 2605)**

藤野 裕子 著

中央公論新社

新政反対一揆、秩父事件、日比谷焼き打ち事件、関東大震災時の朝鮮人虐殺…。何が人びとを駆り立てたのか。単純には捉えられない民衆暴力を通し、近代化以降の日本の軌跡とともに国家の権力や統治のあり方を照らし出す。

朝日新聞 2020/12/26、朝日新聞 2020/12/26

2020:8./ 6p,220p

978-4-12-102605-7

本体 ¥902[税込]





鬼滅の刃<23> 幾星霜を煌めく命(ジャンプコミックス)

吾峠 呼世晴 著
集英社

鬼の始祖・鬼舞辻無惨と炭治郎たちの戦いは最終局面へ...!! 珠世が身を挺して投与した四種類の薬が、無惨を衰えさせ、追い詰めていく。炭治郎と禰豆子、そして鬼殺隊の運命は!? 永きにわたる鬼との闘争、決着の刻!!

2020:12./ 1 冊
978-4-08-882495-6
本体 ¥506〔税込〕



朝日新聞 2020/12/26、日本経済新聞 2020/12/26



自由の命運～国家、社会、そして狭い回廊～<上>

ダロン・アセモグル／ジェイムズ・A・ロビンソン 著
早川書房

自由の命運を握る「狭い回廊」とは? 内戦下のシリアから古代ギリシア、建国期のアメリカ合衆国、現代中国まで、古今東西の豊富な歴史研究をもとに、ますます貴重になりつつある自由を保つための国家と社会の力関係を論じる。

2020:1./ 417p
978-4-15-209910-5
本体 ¥2,860〔税込〕



朝日新聞 2020/12/26、日本経済新聞 2020/12/26



自由の命運～国家、社会、そして狭い回廊～<下>

ダロン・アセモグル／ジェイムズ・A・ロビンソン 著
早川書房

自由の命運を握る「狭い回廊」への道は一樣ではなく、そこに留まるのも容易ではない。中国の繁栄に潜む罠、「規範の檻」に縛られたインド...。リヴァイアサンの統御法と回廊内に留まるすべを、歴史の教訓から浮かび上がらせる。

2020:1./ 484p
978-4-15-209911-2
本体 ¥2,860〔税込〕



朝日新聞 2020/12/26、日本経済新聞 2020/12/26



アロハで猟師、はじめました

近藤 康太郎 著
河出書房新社

獣害に苦しむ近隣農家に乞われ始めた猟師生活。そこには、この社会から“ばっくられて生きる”ための知恵が詰まっていた! これからの「世界」と「生きること」を考えた七転八倒のドキュメント。『朝日新聞』連載を元に書籍化。

2020:5./ 236p
978-4-309-02887-3
本体 ¥1,760〔税込〕



朝日新聞 2020/12/26、日本経済新聞 2020/12/26



財政赤字の神話～MMT と国民のための経済の誕生～

ステファニー・ケルトン 著
早川書房

「財政赤字が膨らめば国は破綻する」などの“常識”は、政府が国民に手を差し伸べないことを正当化する方便にすぎない! MMT(現代貨幣理論)の第一人者が、「財政赤字の神話」を撃破し、経済のあるべき姿を構想する。

2020:10./ 390p
978-4-15-209966-2
本体 ¥2,640〔税込〕



東京・中日新聞 2020/12/06



明治憲法史(ちくま新書 1513)

坂野 潤治 著
筑摩書房

「明治憲法(大日本帝国憲法)の時代」とは? 議会権限の弱さが無謀な戦争の回避を困難にした一方、デモクラシーの様々な実践が開花した。明治?昭和初期の政治史を憲法史として再構築し、明治憲法の構造と機能を解明する。

2020:9./ 236p
978-4-480-07317-4
本体 ¥902〔税込〕



東京・中日新聞 2020/12/06



竹下外交・ペルー日本大使公邸占拠事件・朝鮮半島問題～外交回想録～

服部 龍二／若月 秀和／庄司 貴由 編

寺田輝介 著

吉田書店

竹下内閣の外交から中南米政策、日朝・日韓関係まで、元韓国・メキシコ大使、外務報道官、中南米局長が、“外交現場”を語る。ゲリラとの交渉、フジモリ大統領への直接要請など、「ペルー人質事件」の真相にも迫る。

2020:10./ 3p,403p

978-4-905497-90-5

本体 ¥4,180[税込]



東京・中日新聞 2020/12/06



湖の女たち

吉田 修一 著

新潮社

琵琶湖近くの介護療養施設で、100歳の男が殺された。刑事と容疑者、出会うはずのない男女の人生が交差する。一方、事件を取材する記者は、死亡した男の過去に興味を抱き旧満州を訪ね…。『週刊新潮』連載を加筆し単行本化。

2020:10./ 318p

978-4-10-462807-0

本体 ¥1,760[税込]



東京・中日新聞 2020/12/13



ルース・ベイダー・ギンズバーグ～信念は社会を変えた!～

ジェフ・ブラックウェル／ルース・ホブディ 編

あすなろ書房

その揺るがぬ信念を支えるものとは? 女性弁護士が全米にまだ3%しか存在しない時代に法曹界を志し、不屈の闘志で平等の実現に人生を捧げてきたルース・ベイダー・ギンズバーグのインタビューなどを収録する。

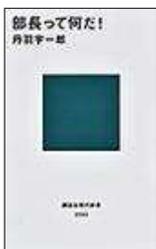
2020:10./ 85p

978-4-7515-3003-0

本体 ¥1,100[税込]



東京・中日新聞 2020/12/13



部長って何だ! (講談社現代新書 2593)

丹羽 宇一郎 著

講談社

大企業であろうが中小企業であろうが、部長でなければできない仕事は多く、それが会社の進む方向を左右する。人生の主軸が築かれ、人生の大きな柱が確立される「勝負どき」をいかに過ごすべきか、実体験とともに語る。

2020:11./ 201p

978-4-06-521664-4

本体 ¥924[税込]



東京・中日新聞 2020/12/20



犬がいた季節

伊吹 有喜 著

双葉社

ある日、高校に迷い込んだ子犬。生徒と学校生活を送ってゆくなかで、その瞳に映ったものは-。昭和から平成、そして令和へ。いつの時代も変わらぬ青春のきらめきや切なさを描く。『小説推理』掲載を改題し加筆修正。

2020:10./ 346p

978-4-575-24325-3

本体 ¥1,760[税込]



東京・中日新聞 2020/12/20



ロッキード疑獄～角栄ヲ葬リ巨悪ヲ逃ス～

春名 幹男 著

KADOKAWA

「自主外交」で角栄はアメリカに潰された-。戦後最悪の国際的疑獄となったロッキード事件。米国立公文書館などの資料や日米関係者らの取材・調査をもとに、「陰謀説」の真偽を徹底検証。「巨悪」の正体と秘密に迫る。

2020:10./ 596p

978-4-04-105473-4

本体 ¥2,640[税込]



東京・中日新聞 2020/12/20、朝日新聞 2020/12/26



水は海に向かって流れる(2)(KC デラックス)

田島 列島 著
講談社
読売新聞 2020/10/11、読売新聞 2020/12/27

2019:12./ 176p
978-4-06-517908-6
本体 ¥682〔税込〕



水は海に向かって流れる(3)(KC デラックス)

田島 列島 著
講談社
読売新聞 2020/10/11、読売新聞 2020/12/27

2020:9./ 160p
978-4-06-520587-7
本体 ¥682〔税込〕



産めないけれど育てたい。～不妊からの特別養子縁組へ～

池田 麻里奈／池田 紀行 著
KADOKAWA

養子を迎えて「育ての親」になる。2度の流産、死産を経験し、特別養子縁組で赤ちゃんを迎えた夫婦が葛藤しながら幸せを模索していく姿を、夫婦それぞれの視点から綴った書。ときには行き違いもあった素直な気持ちを伝える。

2020:9./ 284p
978-4-04-604781-6
本体 ¥1,540〔税込〕



読売新聞 2020/12/06



本音の置き場所

バービー 著
講談社

ジェンダーによるギャップ、キャラ設定にもがき苦しむ日々…。「最も信頼が置ける言葉をもつ芸人」のひとり、バービーが、あふれる本音を思うがままに綴る。思い出レシビも掲載。『FRaU web』連載に書き下ろしを追加。

2020:11./ 190p
978-4-06-521213-4
本体 ¥1,430〔税込〕



読売新聞 2020/12/06



民主主義とは何か(講談社現代新書 2590)

宇野 重規 著
講談社

今や危機に瀕した民主主義に、まだ可能性はあるのか？ 民主主義の歴史をたどり、その本質と「あるべき」姿を根本から考える。民主主義を巡る諸問題とその解決の方向性を凝縮した一冊。

2020:10./ 277p
978-4-06-521295-0
本体 ¥1,034〔税込〕



読売新聞 2020/12/06



幻獣の話(講談社学術文庫 2634)

池内 紀 著
講談社

マルコ・ポーロの一角獣、日光東照宮に潜む霊獣、「山海経」のユニークな“怪”…。異形の獣はそれらを生み出す私たちの内にこそ棲んでいる。古今東西の書物に記された不思議な生きものをめぐる、滋味あふれる随想。

2020:11./ 176p
978-4-06-521616-3
本体 ¥924〔税込〕



読売新聞 2020/12/06



プロパガンダ戦争～分断される世界とメディア～(集英社新書 1037)

内藤 正典 著
集英社

メディアは報道だけではなく、世界に分断をつくりだすプロパガンダにも使われる。嫌イスラーム、トルコ・バッシングなど、激動の世界情勢を俎上に、メディアが果たしてきた役割と「プロパガンダ戦争」の読み解き方を解説する。

読売新聞 2020/12/06

2020:9./ 268p
978-4-08-721137-5
本体 ¥968〔税込〕



鏡影劇場

逢坂 剛 著
新潮社

文豪ホフマンにまつわる謎の古文書。その解説が進むにつれ、ホフマンの知られざる人生と共に、現代の日本にまで?がる不可解な暗号と因縁が浮かび上がり…。『小説新潮』連載を単行本化。結末 68 頁は袋綴じ仕様。

読売新聞 2020/12/06

2020:9./ 687p
978-4-10-364907-6
本体 ¥3,300〔税込〕



中野京子の西洋奇譚

中野 京子 著
中央公論新社

笛吹き男に連れられ姿を消したハーメルンの子供たち、冷戦下のソ連で学生を襲った凄惨な未解決事件…。事件や伝承に隠された恐ろしい真実とは? 稀代の語り手中野京子が贈る、21 の「怖い話」。『婦人公論』連載を単行本化。

読売新聞 2020/12/06

2020:9./ 190p
978-4-12-005330-6
本体 ¥1,870〔税込〕



デジタル化する新興国～先進国を超えるか、監視社会の到来か～(中公新書 2612)

伊藤 亜聖 著
中央公論新社

中国、インド、東南アジア、アフリカ諸国は、今や最先端技術の実験場と化している。決済サービスなどのスーパーアプリでは先進国を凌駕する一方、負の側面も懸念される。技術が増幅する新興国の可能性とリスクを明らかにする。

読売新聞 2020/12/06

2020:10./ 246p
978-4-12-102612-5
本体 ¥902〔税込〕



アメリカン・ブッダ(ハヤカワ文庫 JA 1443)

柴田 勝家 著
早川書房

民俗学とSFを鮮やかに交えた短篇集。未曾有の災害が発生したアメリカ大陸で、仏教を信じ続けたインディアン青年が救済を語る表題作のほか、星雲賞受賞作「雲南省スー族における VR 技術の使用例」など、全 6 篇を収録。

読売新聞 2020/12/06

2020:8./ 319p
978-4-15-031443-9
本体 ¥946〔税込〕



老いと学びの極意～団塊世代の人生ノート～(文春新書 1288)

武田 鉄矢 著
文藝春秋

歌手、俳優と幅広く活躍する武田鉄矢が、50 歳から書き始めたノートを公開。本から学んだこと、人との出会い、身体との向き合い方…。古希を越えてもなお第一線で活躍し続ける秘訣を伝える。

読売新聞 2020/12/06

2020:11./ 254p
978-4-16-661288-8
本体 ¥935〔税込〕



**愛人(ラマン)(河出文庫)**

マルグリット・デュラス 著
河出書房新社

あの青年と出会ったのは、霧にけむる暑い光のなか、メコン河の渡し船の上だった。死ぬほどの欲情と悦楽の物語が、その時から始まった。旋風をまき起こした大ベストセラー。映画原作。

1992:2./ 221p
978-4-309-46092-5
本体 ¥825〔税込〕



読売新聞 2020/12/06

**民主主義の壊れ方〜クーデタ・大惨事・テクノロジー〜**

デイヴィッド・ランシマン 著
白水社

民主主義の終焉はいかに起こるのか? ケンブリッジ大学政治学教授が、クーデタ・大惨事・テクノロジーという観点からリアルな姿を見詰め直す。また、今の民主主義が終焉した後に来るものについて考察する。

2020:10./ 271p,9p
978-4-560-09792-2
本体 ¥2,640〔税込〕



読売新聞 2020/12/06

**火定(PHP 文芸文庫 さ5-1)**

澤田 瞳子 著
PHP研究所

藤原四兄弟をはじめ寧楽の人々を死に至らしめた天然痘の蔓延を食い止めようとする医師たちと、偽りの神を祀り上げて混乱に乗じる者たち。「天平のパンデミック」を舞台に人間の業を描き切った傑作長編。

2020:11./ 442p
978-4-569-90084-1
本体 ¥968〔税込〕



読売新聞 2020/12/06

**阿佐ヶ谷アタリデ大ザケノンダ〜文士の町のいまむかし〜**

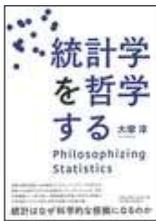
青柳 いづみこ 著
平凡社

井伏鱒二、太宰治...。阿佐ヶ谷で育ち、いまも暮らすピアニスト・文筆家の著者が、祖父・青柳瑞穂邸に集い、飲み明かした文士たちの知られざるエピソードや現在の町の魅力を愛情を込めて綴る。『東京新聞』連載を元に書籍化。

2020:10./ 245p
978-4-582-83848-0
本体 ¥2,640〔税込〕



読売新聞 2020/12/06

**統計学を哲学する**

大塚 淳 著
名古屋大学出版会

統計はなぜ科学的な根拠になるのか。実験、臨床試験、社会調査、ビッグデータ分析、AI 開発などで必要不可欠な統計学・データサイエンスを、科学的認識論として捉え直し、帰納推論の背後に存在する枠組みを浮き彫りにする。

2020:10./ 4p,242p
978-4-8158-1003-0
本体 ¥3,520〔税込〕



読売新聞 2020/12/06

**ブックオフ大学ぶらぶら学部**

夏葉社

これまで論じられてこなかった、日本全国の本のある場所。ブックオフとはなんなのか。その魅力と、いくつかの思い出を、ライター、漫画家、ホホホ座座長、BOOKS 青いカバ店主らが語る。

2020:11./ 182p
978-4-904816-34-9
本体 ¥1,430〔税込〕



読売新聞 2020/12/06



東京国立博物館の至宝

ブックエンド

「トーハク」の名で親しまれている東京国立博物館が誇る約 12 万件のコレクション。縄文土器から 20 世紀絵画まで、日本と東洋の美術約 150 点を厳選し、作品の魅力を捉えた 300 点もの写真で紹介。

2020:11./ 308p

978-4-907083-64-9

本体 ¥8,800[税込]



読売新聞 2020/12/06



ローンガール・ハードボイルド(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 482-1)

コートニー・サマーズ 著

早川書房

あたしは「かわいそうな女の子」じゃない。19 歳のセイディは、最愛の妹マティを殺害した義父への復讐のため姿を消した。NY のラジオ DJ マクレイは、彼女の足取りを追う。復讐の旅路の果てにあるものは…。

2020:11./ 511p

978-4-15-184301-3

本体 ¥1,408[税込]



読売新聞 2020/12/06、朝日新聞 2020/12/12



だまされ屋さん

星野 智幸 著

中央公論新社

秋代の家に、ある日謎の男が現れる。娘と家族になろうとしているという。これは新手の詐欺なのか、それとも歪んだ一家に福音をもたらす救世主か? 家族のあり方や人々のつながり方を問う長編。『読売新聞』連載を単行本化。

2020:10./ 397p

978-4-12-005348-1

本体 ¥1,980[税込]



読売新聞 2020/12/06、朝日新聞 2020/12/12、産経新聞 2020/12/20



ウイルス VS 人類(文春新書 1270)

瀬名 秀明/押谷 仁/五箇 公一/岡部 信彦/河岡 義裕/大曲 貴夫/NHK 取材班 著

文藝春秋

未知のウイルスにいかにかち向かうか。顕わになった現代文明の脆弱性を克服する道はあるのか。第一線の専門家同士が徹底討論。NHK BS1 スペシャルの同タイトルの放送内容を書籍化。

2020:6./ 238p

978-4-16-661270-3

本体 ¥880[税込]



読売新聞 2020/12/06、読売新聞 2020/12/27



宇宙に行くことは地球を知ること～「宇宙新時代」を生きる～(光文社新書 1090)

野口 聡一、矢野 顕子、林 公代 著

光文社

「誰もが宇宙に行ける日」が近づいている。民間による宇宙旅行時代の幕開けという歴史的転換点を迎えた今、宇宙飛行士・野口聡一と、「宇宙好き」のミュージシャン・矢野顕子が、宇宙体験からスペース X までを語る。

2020:9./ 262p

978-4-334-04497-8

本体 ¥990[税込]



読売新聞 2020/12/06、日本経済新聞 2020/12/26



水都東京～地形と歴史で読みとく下町・山の手・郊外～(ちくま新書 1520)

陣内 秀信 著

筑摩書房

東京の象徴「隅田川」、文明開化のモダンな建築群が水辺を飾った日本橋川、豊かな自然環境を保有する皇居・外濠、古代の記憶に触れることができる武蔵野…。東京各地をめぐるながら、魅力的な水都の姿を描き出す。

2020:10./ 334p

978-4-480-07348-8

本体 ¥1,100[税込]



読売新聞 2020/12/06、毎日新聞 2020/12/19



ゴースト(朝日文庫 な 38-2)

中島京子 著
朝日新聞出版

鬱蒼とした原宿の館に出没する女の子、20 世紀を生き抜いたミシン、おじいちゃん
の繰り返す謎の言葉、廃墟と化した台湾人留学生寮…。温かいユーモアに包まれた
7つの幽霊連作集。

読売新聞 2020/12/13

2020:11./ 239p
978-4-02-264975-1
本体 ¥704〔税込〕



わかる仏教史(角川ソフィア文庫 H119-2)

宮元 啓一 著
KADOKAWA

インドに花開いたブッダの思想が中国において整理され、やがて日本に根づくまで
をインド哲学の第一人者が解説する。空海、法然、親鸞ら国内の名僧も簡潔に位置
づけ、流れがわかって疑問が解ける仏教入門。

読売新聞 2020/12/13

2017:4./ 269p
978-4-04-400181-0
本体 ¥1,012〔税込〕



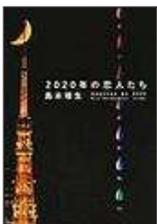
グレート・ギャツビー 改版(新潮文庫 フ-9-1)

フィッツジェラルド、野崎 孝 著
新潮社

豪華な邸宅に住み、絢爛たる栄華に生きる謎の男ギャツビーの胸の中には、一途に
愛情を捧げ、そして失った恋人デイズィを取りもどそうとする異常な執念が育まれて
いた……。第一次大戦後のニューヨーク郊外を舞台に、狂おしいまでにひたむきな
情熱に駆られた男の悲劇的な生涯を描いて、滅びゆくものの美しさと、青春の光と
影がただよう憂愁の世界をはなやかに謳いあげる。

読売新聞 2020/12/13

2010:5./ 311p
978-4-10-206301-9
本体 ¥572〔税込〕



2020年の恋人たち

島本 理生 著
中央公論新社

亡くなった母のワインバーを引き継ぐかどうか、選択を迫られる葵。恋人の港、常連
客だった幸村、試飲会で知り合った瀬名…めまぐるしく変化する日常と関係性のな
かで、葵の心は揺れ動き…。『婦人公論』連載を加筆し単行本化。

読売新聞 2020/12/13

2020:11./ 292p
978-4-12-005279-8
本体 ¥1,760〔税込〕



グレート・ギャツビー(村上春樹翻訳ライブラリー)

スコット・フィッツジェラルド 著
中央公論新社

繊細に鮮やかに描写された情景と、精緻に、多義的に言語化された情念や感情に
彩られた、哀しくも美しいひと夏の物語…。村上春樹が人生で巡り会った最も大切な
小説が、新しい翻訳で鮮やかに甦る!

読売新聞 2020/12/13

2006:11./ 356p
978-4-12-403504-9
本体 ¥1,100〔税込〕



ミラクル・クリーク(HAYAKAWA POCKET MYSTERY BOOKS 1961)

アンジー・キム 著
早川書房

バージニア州郊外の町、ミラクル・クリーク。韓国人の移民一家が営む酸素治療施設
で放火事件が発生。焼死した少年の母親が逮捕され、1 年後、裁判が開かれる。心
のうちに傷と秘密を抱えながら、関係者たちは法廷に臨む。

読売新聞 2020/12/13

2020:11./ 499p
978-4-15-001961-7
本体 ¥2,420〔税込〕





横尾忠則創作の秘宝日記

横尾 忠則 著
文藝春秋

アートは肉体だ! 84歳にして旺盛な創作を行う「全身芸術家」横尾忠則の濃密な日常。大病、自粛、飼い猫…。夢と現実のあわいを往還する2016年5月?2020年6月の日記を収録。『週刊読書人』連載を単行本化。

2020:9./ 693p
978-4-16-391256-1
本体 ¥2,970〔税込〕



読売新聞 2020/12/13



U(文春文庫 み 13-11)

皆川 博子 著
文藝春秋

オスマン帝国の捕虜となり、不老の体を手に入れた3人の美少年。300年後、ドイツ軍 U ボートの乗組員となった彼らを待ち受けるものは…。数奇な運命に翻弄される若者たちの物語。綾辻行人、須賀しのぶらとの往復書簡付き。

2020:11./ 463p
978-4-16-791591-9
本体 ¥1,078〔税込〕



読売新聞 2020/12/13



華麗なる誘拐(河出文庫 に 13-1)

西村 京太郎 著
河出書房新社

「日本国民全員を誘拐した。身代金 5 千億円用意しろ」前代未聞の要求が首相に突き付けられた。警察から協力要請を受けた名探偵・左文字進が解決に奔走する中、事件は予想だにしない展開を迎え…。

2020:7./ 424p
978-4-309-41756-1
本体 ¥935〔税込〕



読売新聞 2020/12/13



日本語ことばあそびの歴史(河出文庫 こ 24-3)

今野 真二 著
河出書房新社

なぞなぞ、縁語、掛詞、口合・地口、判じ絵、回文、都々逸…。『万葉集』から中世、江戸、幕末・明治まで、おもしろいことばあそびを紹介しながら、日本語という言語の仕組みを解き明かす。

2020:11./ 343p
978-4-309-41780-6
本体 ¥1,210〔税込〕



読売新聞 2020/12/13



レーベルで聴くジャズ名盤 1374

小川隆夫 著
シンコーミュージック・エンタテイメント

ジャズの主要 42レーベルの概略・特徴と代表作を、「ビギナー向け」「マスター向け」の2つの視点で紹介する。2007?2010年の『スイングジャーナル』連載を単行本化。Spotify プレイリスト QR コード付き。

2020:9./ 543p
978-4-401-64957-0
本体 ¥2,860〔税込〕



読売新聞 2020/12/13



現場が輝くデジタルトランスフォーメーション～RPA×AIで日本を変える～

長谷川 康一 著
ダイヤモンド社

活用例を交えて RPA の意義や未来について考察。また、デジタルトランスフォーメーションをリードしている先進的な経営者や地方自治体の首長、大学の学長との対談も収録する。

2020:11./ 277p
978-4-478-11203-8
本体 ¥1,650〔税込〕



読売新聞 2020/12/13



新宗教を問う～近代日本人と救いの信仰～(ちくま新書 1527)

島菌 進 著
筑摩書房

創価学会、霊友会、大本、立正佼成会、PL 教団、天理教…。どうして日本で新宗教はこれほどの影響力をもつのか。近代に大発展した新宗教はなぜ現代において衰退しつつあるのか。日本の新宗教の歴史を紹介し、その実際に迫る。

2020:11./ 317p
978-4-480-07351-8
本体 ¥1,034[税込]



読売新聞 2020/12/13



海をあげる

上間 陽子 著
筑摩書房

おびやかされる沖縄での美しく優しい生活。幼い娘を抱え、理不尽な暴力に直面してなお、その目には光が…。自らの声を聞き取った、著者初のエッセイ集。『web ちくま』『新潮』掲載に加筆修正し、書きおろしを加え単行本化。

2020:10./ 251p
978-4-480-81558-3
本体 ¥1,760[税込]



読売新聞 2020/12/13



NO RULES～世界一「自由」な会社、NETFLIX～

リード・ヘイスティングス／エリン・メイヤー 著
日本経済新聞出版社

ルールが必要になる人材を雇わない、社員の休暇日数は指定しない、承認プロセスは全廃していい…。普通じゃない経営手法で世界一成功している企業「NETFLIX」の自由と責任の企業文化を共同創業者が初めて明かす。

2020:10./ 453p
978-4-532-32367-7
本体 ¥2,420[税込]



読売新聞 2020/12/13



ホッキョクグマ～氷上の王の文化史～

マイケル・エンゲルハード 著
白水社

極北の自然で、動物園で、サーカスで、絵本のなかで、なぜ彼らはこんなにも人間を魅了してきたのだろうか？ 白く美しいカリスマ的な<野獣>ホッキョクグマの謎と魅力を、文化的側面に特化して浮き彫りにする。

2020:8./ 345p
978-4-560-09746-5
本体 ¥13,200[税込]



読売新聞 2020/12/13



音楽家 65 人の修行時代(1 冊でわかるポケット教養シリーズ)

澤谷夏樹 著
ヤマハミュージックメディア

歴史に残る音楽家たちは、いかに修行し、何をきっかけに世に出ていったのか？ 新しい切り口で音楽家の経歴を掘り下げ、歴史を読み解く。音楽を試聴できる QR コード付き。『月刊ピアノ』連載を加筆・再編集し書籍化。

2020:11./ 229p
978-4-636-97698-4
本体 ¥1,045[税込]



読売新聞 2020/12/13



真鍋博の世界～Hiroshi Manabe Works 1932-2000～

パイインターナショナル

愛媛県美術館開催の「没後 20 年真鍋博 2020」図録。イラストレーター・エッセイストとして活躍した真鍋博の初期の油彩から広告・装幀まで、後世に残したい作品を多数収録。谷川俊太郎の寄稿、林明子インタビューも掲載。

2020:9./ 255p
978-4-7562-5406-1
本体 ¥3,960[税込]



読売新聞 2020/12/13



地元を生きる～沖縄的共同性の社会学～

岸 政彦／打越 正行／上原 健太郎／上間 陽子 著
ナカニシヤ出版

階層格差という現実の中で生きられる沖縄の共同性とは。教員、公務員、建築労働者、風俗嬢などへの膨大なフィールドワークで、さまざまな人びとの「沖縄の人生」を綴る。

2020:10./ 28p,439p
978-4-7795-1497-5
本体 ¥3,520〔税込〕



読売新聞 2020/12/13



ギリシャ劇大全

山形 治江 著

論創社

ギリシャ演劇全作品の解説、こぼれ話としての「観劇前の基礎知識」、関連地図、系譜、年表などを網羅した、ギリシャ演劇を観るため、読むため、そして上演するための必読書。

2010:5./ 415p
978-4-8460-0956-4
本体 ¥3,520〔税込〕



読売新聞 2020/12/13



エサルハドン王位継承誓約文書(楔形文字文書研究 1)

渡辺 和子 著

リト

前 672 年に発行され、アッシリア支配下の全域に配布された、楔形文字で書かれたアッカド語の粘土板文書「エサルハドン王位継承誓約文書(ESOD)」。

概説、ESOD 本文の総譜翻字、対訳、注釈を収録。

2017:4./ 311p
978-4-86376-057-8
本体 ¥7,040〔税込〕



読売新聞 2020/12/13



ちゃぶ台～生活者のための総合雑誌～ <6(2020 年秋/冬号)> 特集:非常時代を明るく生きる

ミシマ社

「非常時代を明るく生きる」を特集。益田ミリのエッセイ「のび太と遊んだ空き地」、土井善晴の論考「地球と AI と人間」、藤原辰史×松村圭一郎の対談「分解とアナキズム」などを収録する。

2020:11./ 187p
978-4-909394-42-2
本体 ¥1,760〔税込〕



読売新聞 2020/12/13



文明の交差点の地政学～トルコ革新外交のグランドプラン～

アフメト・ダウトオウル／中田 考／内藤 正典 著

書肆心水

地政学の名著であり新オスマン主義の世界戦略の書を全訳。トルコ外相・首相を歴任した文明思想家ダウトオウルが、国際政治史のパワーセンター・イスタンブールを主軸にもうひとつの世界帝国がもたらす新しい秩序を構想する。

2020:11./ 510p
978-4-910213-09-5
本体 ¥3,960〔税込〕



読売新聞 2020/12/13



アヴェスタ～原典完訳～

国書刊行会

紀元前 1 千年頃、古代イラン(ペルシア)の宗教家・ゾロアスターによって創始された世界最古の創唱宗教、ゾロアスター教。その根本テキストである聖典「アヴェスタ」をアヴェスタ語原文から全訳。主要用語解説なども収録する。

2020:9./ 647p
978-4-336-06382-3
本体 ¥9,680〔税込〕



読売新聞 2020/12/13、読売新聞 2020/12/27



ウィルスとは何か～コロナを機に新しい社会を切り拓く～

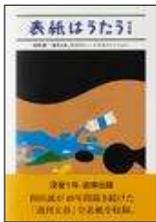
中村 桂子／村上 陽一郎／西垣 通 著
藤原書店

生命誌、科学史、情報学の各分野の第一人者による徹底討論！ 新型コロナウイルスをはじめとするウィルスを、歴史的・社会的に考察するほか、地球環境異変の中でのウィルスの意味についても論じる。

2020:10./ 223p
978-4-86578-285-1
本体 ¥2,200〔税込〕



読売新聞 2020/12/13、読売新聞 2020/12/27



表紙はうたう～和田誠・『週刊文春』のカヴァー・イラストレーション～ 完全版

和田 誠 著
文藝春秋

和田誠が描いた『週刊文春』のカヴァー・イラストレーションを収録。1977年から2008年までの31年分に、それ以降の作品も増補した完全版。本人による作品解説付き。

2020:10./ 1冊(ページ付なし)

978-4-16-391274-5
本体 ¥9,900〔税込〕



読売新聞 2020/12/19



時間の比較社会学(岩波現代文庫)

真木 悠介 著
岩波書店

原始共同体、古代日本、ヘレニズムとヘブライズム、近代社会—文化と社会の形態によって異なる時間の感覚と観念を比較検討し、近代的自我に特有の時間意識がどのように形成されたかを、自然と人間、共同体と都市、市場と貨幣等々の関係のなかで解明する。近代世界の自己解放の運動の一環を担う比較社会学の深い洞察に満ちた労作。

2003:8./ 331p
978-4-00-600108-7
本体 ¥1,606〔税込〕



読売新聞 2020/12/20



日中戦争下の日本(講談社選書メチエ)

井上 寿一 著
講談社

1930年代、社会システムの不調から生じた日中戦争。なぜ政党への期待が大政翼賛会を生んだのか？ 労働者や農民たちは戦争に何を託したのか？ 戦時下日本の知られざる「自画像」を解き明かす。

2007:7./ 222p
978-4-06-258392-3
本体 ¥1,650〔税込〕



読売新聞 2020/12/20



日中戦争～前線と銃後～(講談社学術文庫 2518)

井上 寿一 著
講談社

なぜ、際限なく拡大したのか。なぜ、国民は協力したのか。多彩な史料から戦時下日本のリアリティを生々しく甦らせ、<日中戦争は何だったのか>を鋭く追究する。

2018:7./ 275p
978-4-06-512161-0
本体 ¥1,111〔税込〕



読売新聞 2020/12/20



隣のずこずこ(新潮文庫 か-91-1)

柿村 将彦 著
新潮社

中学3年生のはじめが住む町に突如、伝説の<あいつ>と謎の美女・あかりさんがやって来た。今日から1カ月後に<あいつ>は町のすべてを「なかったこと」にしてしまうのだという。はじめたちは計画阻止にのりだすが...

2020:12./ 334p
978-4-10-102441-7
本体 ¥693〔税込〕



読売新聞 2020/12/20



コラムニストになりたかった

中野 翠 著
新潮社

映画とおしゃれと雑誌が好きで、ハヤリモノに興味津々の女の子が、いつしかコラム連載を持ち…。1969年から現在までの風俗、流行、映画、雑誌の変遷を辿りながら、自身の半生を振り返る。『小説新潮』連載を加筆し書籍化。

読売新聞 2020/12/20

2020:11./ 211p
978-4-10-419303-5
本体 ¥1,760〔税込〕



千年の祈り(CREST BOOKS)

イーユン・リー、篠森 ゆりこ 著
新潮社

父と娘のあいだに横たわる秘密と、人生の黄昏にある男女の情愛。ミス・カサブランカとよばれる独身教師の埋めようのない心の穴。反対を押し切って結婚した従兄妹同士の絆…。人生の細部にあらわれる普遍的な真実を描く短篇集。

読売新聞 2020/12/20

2007:7./ 253p
978-4-10-590060-1
本体 ¥2,200〔税込〕



「グレート・ギャツビー」を追え

ジョン・グリシャム 著
中央公論新社

フィッツジェラルドの直筆原稿が強奪された。捜査線上に浮かんだブルースはフロリダで書店を営む稀覯本収集家。真相を探るべく送り込まれた新進小説家のマーサーは、ブルースに近づき、秘密の核心に迫ろうとするが…。

読売新聞 2020/12/20

2020:10./ 413p
978-4-12-005341-2
本体 ¥1,980〔税込〕



美学

小田部 胤久 著
東京大学出版会

「感性」「芸術」「美」という主題が収斂するところに成立した哲学的学問、美学。カント「判断力批判」を題材に、そこでの重要なテーマをめぐって、古代ギリシアから 21 世紀までの美学史を概説する。

読売新聞 2020/12/20

2020:9./ 9p,441p,28p
978-4-13-012064-7
本体 ¥6,050〔税込〕



あのころ、早稲田で(文春文庫 な 27-14)

中野 翠 著
文藝春秋

早大闘争、吉本隆明、『ガロ』、GS、喫茶店、ゴダール、アングラ演劇…。バリケードとデモ、アジ演説がキャンパスを占拠した、あのころ。思想とサブカルチャーの狭間で揺れ動いた 60 年代後半を描いた回想記。

読売新聞 2020/12/20

2020:3./ 269p
978-4-16-791465-3
本体 ¥792〔税込〕



マスク〜スペイン風邪をめぐる小説集〜(文春文庫 き 4-7)

菊池 寛 著
文藝春秋

スペイン風邪が猛威をふるった 100 年前。菊池寛は恰幅が良くて丈夫に見えるが、実は人一倍体が弱かった。そこでうがいやマスクで感染予防を徹底し…。実体験をもとに綴った短編小説「マスク」など全 9 編を収録。

読売新聞 2020/12/20

2020:12./ 218p
978-4-16-791613-8
本体 ¥682〔税込〕





黄金の少年、エメラルドの少女(河出文庫 リ4-1)

イーユン・リー、篠森 ゆりこ 著

河出書房新社

愛と孤独を静かに描く表題作、代理母問題を扱った「獄」、心を閉ざした 40 代の独身女性の追憶を綴った「優しさ」など、短篇の名手イーユン・リーによる珠玉の全 9 篇。O・ヘンリー賞受賞作 2 篇を含む。

2016:2./ 325p

978-4-309-46418-3

本体 ¥968〔税込〕



読売新聞 2020/12/20



真木悠介の誕生～人間解放の比較=歴史社会学～

佐藤 健二 著

弘文堂

戦後日本を代表する社会学者、「真木悠介」はどのようにして生み出され、どういう意味をもったのか。思想家としても、社会に大きな影響を与え続けた「真木悠介」こと見田宗介の本質に迫る論考集。

2020:11./ 342p

978-4-335-55202-1

本体 ¥2,970〔税込〕



読売新聞 2020/12/20



実は、内向的な人間です

ナム・インスク 著

創元社

内向的な人たちが、無理をすることなく、もう少しだけ自由で幸せになれる世界がきますように。アジア圏で愛されるベストセラー作家が贈る、共感と励ましのエッセイ集。

2020:11./ 198p

978-4-422-93087-9

本体 ¥1,540〔税込〕



読売新聞 2020/12/20



古典で旅する茶の湯八〇〇年史～歴史上の人物たちがガイド役!～

竹本千鶴 著

淡交社

日本人にとって最も身近な飲み物、お茶。お茶が日本に伝わってから、茶の湯が生まれ、日本を代表する文化のひとつになるまでの 800 年の歴史の歩みを、茶の湯の古典 24 冊と関連人物 22 名をキーワードに一望する。

2020:11./ 222p

978-4-473-04424-2

本体 ¥1,760〔税込〕



読売新聞 2020/12/20



ロマネスクとは何か～石とぶどうの精神史～(ちくま新書 1525)

酒井 健 著

筑摩書房

教会堂に刻まれる石の怪物、もだえる回廊の柱、許しを乞う祈りの声...厳粛なキリスト教を笑うかのような大らかで過剰な表象に満ちたロマネスク。近年の西洋中世研究の成果をふんだんに織り込んで、ロマネスクの時代精神に迫る。

2020:10./ 302p

978-4-480-07333-4

本体 ¥1,078〔税込〕



読売新聞 2020/12/20



戦地の図書館～海を越えた一億四千万冊～(創元ライブラリ L マ 2-1)

モリー・グプティル・マニング 著

東京創元社

第二次世界大戦終結までに、ナチス・ドイツは 1 億冊を超える書物をこの世から消し去り、対するアメリカは約 1 億 4 千万冊を戦場に送り続けた。アメリカ軍が実行した、史上最大の図書作戦の全貌を描いたノンフィクション。

2020:11./ 268p,68p

978-4-488-07078-6

本体 ¥1,100〔税込〕



読売新聞 2020/12/20



歴史のIF(扶桑社新書 353)

本郷和人 著
扶桑社

もしも、石橋山で、梶原景時が「源頼朝を見つけたぞ!」と叫んでいたら? もしも後二条天皇が若くして亡くならなかったら...? 東京大学史料編纂所教授が、自身の専門である日本中世史の「仮定」を解く。

2020:11./ 303p
978-4-594-08641-1
本体 ¥1,012[税込]



読売新聞 2020/12/20



江戸のスポーツ歴史事典

谷釜 尋徳 著
柏書房

日本のスポーツ発展の礎を築いたのは、江戸の庶民だった! 世界史上稀に見る平和な時空間で高度に発達した日本のスポーツ文化。走り、投げ、力と技と知恵を競い合い...。江戸時代のスポーツ事情を豊富な図版と共に解き明かす。

2020:10./ 330p
978-4-7601-5284-1
本体 ¥3,520[税込]



読売新聞 2020/12/20



あかるい死にかた

木内 みどり 著
集英社インターナショナル

東日本大震災以降、がらりと生き方を変えた女優・木内みどり。常に死を意識し、できることを精一杯したいと奔走した彼女のあかるい死生観を、遺されたエッセイや絵、お別れのために開催された会の様子から紡ぎだす。

2020:11./ 159p
978-4-7976-7391-3
本体 ¥1,870[税込]



読売新聞 2020/12/20



生きもの民俗誌

野本寛一 著
昭和堂

日本人が紡いできた生きものとの多様な関係とは-。大型獣から小さな昆虫に至るまで、人はどう生きものたちと向き合い、恐れ、利用し、共に生きてきたのか。暮らしの中で積み上げられた人と生きものとの関係を描き出す。

2019:7./
18p,666p,23p
978-4-8122-1823-5
本体 ¥7,150[税込]



読売新聞 2020/12/20



採集民俗論

野本 寛一 著
昭和堂

先人たちが自制心を持って守り伝えてきた「採集」という素朴な営み。木の実、根塊・鱗茎...。「食の素材」を対象とした、採集に関わる民俗をとりあげ、事象報告とともに、その特質を論じる。「生きもの民俗誌」と対をなす一冊。

2020:10./
14p,707p,14p
978-4-8122-2006-1
本体 ¥8,250[税込]



読売新聞 2020/12/20



現代手芸考~ものづくりの意味を問い直す~

上羽陽子/山崎明子 著
フィルムアート社

なぜ人はものをつくるのか。文化人類学、ジェンダー研究、美術・工芸史、ファッション研究...。さまざまな視点から、一番身近なものづくり=「手芸」の輪郭をあぶり出す。座談会も収録。

2020:9./ 295p,15p
978-4-8459-1911-6
本体 ¥2,640[税込]



読売新聞 2020/12/20



その日の予定～事実にもとづく物語～

エリック・ヴェイヤール 著

岩波書店

いちばん大きなカタストロフは、しばしば小さな足音で近づいてくる。第二次世界大戦前夜、ナチスによるオーストリア併合に至る舞台裏を、歴史の断片から描き出す。歴史書には記載されない事実に基づく物語。

2020:6./ 9p,153p

978-4-00-022972-2

本体 ¥2,310[税込]



読売新聞 2020/12/27



福澤諭吉の思想的格闘～生と死を超えて～

松沢 弘陽 著

岩波書店

一身にして二生を経る激動の時代を生きた福澤諭吉は、生涯を通じて何を指して闘ったのか。天国も死後の生も信じなかった福澤が後世に託したものは何か。福澤の思想的格闘を辿り、その意味を徹底的に追究する。

2020:11./ 9p,419p,9p

978-4-00-061435-1

本体 ¥10,450[税

込]



読売新聞 2020/12/27



海から読み解く日本古代史～太平洋の海上交通～(朝日選書 1000)

近江俊秀 著

朝日新聞出版

海と共に暮らした海人の文化が根づいている日本の太平洋沿岸。断片的な文献史料や海・川沿いの遺跡・遺物の分布を見ていくと、時代ごとの海の道が現れる。海の道から各地の歴史を見つめ、古代史の新たな一面をよみがえらせる。

2020:10./ 221p,4p

978-4-02-263100-8

本体 ¥1,540[税込]



読売新聞 2020/12/27



復活の日 改版(角川文庫 こ2-14)

小松 左京 著

KADOKAWA

生物兵器を積んだ小型機が、真冬のアルプス山中に墜落。春になり雪が解け始めると、各地で奇妙な死亡事故が報告され…。人類滅亡の日を目前に、残された人間が選択する道とは。著者渾身の SF 長編。

2018:8./ 452p

978-4-04-106581-5

本体 ¥836[税込]



読売新聞 2020/12/27



水は海に向かって流れる<1>(KC デラックス)

田島 列島 著

講談社

読売新聞 2020/12/27

2019:5./ 192p

978-4-06-514451-0

本体 ¥682[税込]



御社のチャラ男

絲山 秋子 著

講談社

チャラ男って本当にどこにでもいるんです。一定の確率で必ず。社内でひそかにチャラ男と呼ばれている三芳部長。彼のまわりの人びとが彼を語ることで、この世界と私たちの「現実」が見えてきて…。『群像』連載を単行本化。

2020:1./ 317p

978-4-06-517809-6

本体 ¥1,980[税込]



読売新聞 2020/12/27



われもまた天に

古井 由吉 著
新潮社

自分が何処の何者であるかは、先祖たちに起こった厄災を我身内に負うことではないのか。現代日本文学をはるかに照らす古井由吉の最後の小説集。表題作ほか「雛の春」、未完の「遺稿」など全4編を収録。『新潮』掲載を書籍化。

2020:9./ 139p
978-4-10-319212-1
本体 ¥2,200[税込]



読売新聞 2020/12/27



喧嘩の流儀～菅義偉、知られざる履歴書～

読売新聞政治部 著
新潮社

新政権発足、コロナ禍の官邸・党内での暗闘、日本学術会議「任命拒否」の舞台裏...。生々しい証言を積み重ねて寡黙な最高権力者、菅義偉の実像を浮き彫りにする。

2020:12./ 223p
978-4-10-339019-0
本体 ¥1,650[税込]



読売新聞 2020/12/27



輪舞曲(ロンド)

朝井 まかて 著
新潮社

「私、女優になるの。どうでも、決めているの」舞台に立ちたい一心で子を捨てて上京し、キャリアの絶頂で没した伝説の名女優・伊澤蘭奢。野心を貫いた華の生涯を、男達の眼から描き出す。「小説新潮」掲載を単行本化。

2020:4./ 299p
978-4-10-339972-8
本体 ¥1,815[税込]



読売新聞 2020/12/27



道行きや～Hey, you bastards! I'm still here!～

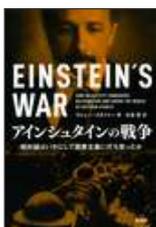
伊藤 比呂美 著
新潮社

父母を見送り、夫を看取り、娘と離れて日本へ。故郷熊本と学生の待つ早稲田を行ったりきたり...。人生いろいろ不可解不思議な日常を書き綴る。『波』『群像』掲載を加筆改稿し、書下ろしを加えて書籍化。

2020:4./ 221p
978-4-10-432403-3
本体 ¥1,980[税込]



読売新聞 2020/12/27



アインシュタインの戦争～相対論はいかにして国家主義に打ち克ったか～

マシュー・スタンレー 著
新潮社

第一次大戦下、相対論完成を目指すアインシュタインに立ちはだかった試練・平和主義者の弾圧、妻との確執、食糧難、そして協力者たちとの分断。憎しみあう大国のはざままで揺れ動いた科学者たちの群像。

2020:7./ 463p,9p
978-4-10-507161-5
本体 ¥4,180[税込]



読売新聞 2020/12/27



その名を暴け～#MeTooに火をつけたジャーナリストたちの闘い～

ジョディ・カンター、ミーガン・トゥーイー 著
新潮社

映画界で「神」とも呼ばれた有名プロデューサー、ハーヴェイ・ワインスタインは、長年、女優や女性従業員に権力を振りかざし、性的暴行を重ねてきた。その実態を炙り出し、世界を動かした調査報道の軌跡を描く。

2020:7./ 408p
978-4-10-507171-4
本体 ¥2,365[税込]



読売新聞 2020/12/27



国家・企業・通貨～グローバリズムの不都合な未来～(新潮選書)

岩村 充 著
新潮社

19世紀に誕生した国民国家・株式会社・中央銀行。だがグローバリズムとAI等のデジタル化が3者のバランスを崩し、中間層を蝕み始めた。超低金利、株主優遇…。悪循環する資本主義の行方を日銀出身の異才が描く。

2020:2./ 317p
978-4-10-603852-5
本体 ¥1,540〔税込〕



読売新聞 2020/12/27



流人道中記<上>

浅田 次郎 著
中央公論新社

姦通の罪で奉行所に切腹を言い渡されたが、それを拒んで蝦夷へ流罪となった旗本・青山玄蕃。ろくでなしでありながら、道中で行き会う弱き者を決して見捨てぬ心意気があり…。『読売新聞』連載を単行本化。

2020:3./ 371p
978-4-12-005262-0
本体 ¥1,870〔税込〕



読売新聞 2020/12/27



流人道中記<下>

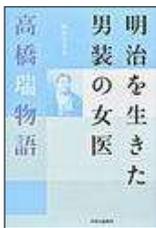
浅田 次郎 著
中央公論新社

流人・青山玄蕃と押送人・石川乙次郎は、奥州街道の終点、三厩を目指し歩みを進める。旅路の果てで明らかになる、玄蕃の抱えた罪の真実。武士の鑑である男が、恥を晒して生きる道を選んだのは-。『読売新聞』連載を単行本化。

2020:3./ 294p
978-4-12-005263-7
本体 ¥1,870〔税込〕



読売新聞 2020/12/27



明治を生きた男装の女医～高橋瑞物語～

田中 ひかる 著
中央公論新社

女性が医師免許の試験を受けられなかった明治時代。その門戸をこじ開け、無償で妊産婦の命を救った女医がいた-。苦難を乗り越えて、ドイツ留学も果たした高橋瑞の生涯を描く。

2020:7./ 230p
978-4-12-005320-7
本体 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2020/12/27



北朝の天皇～「室町幕府に翻弄された皇統」の実像～(中公新書 2601)

石原 比伊呂 著
中央公論新社

建武3年(1336)、新天皇を擁し幕府を開いた足利尊氏。後醍醐天皇は吉野に逃れ、二帝が並び立つ時代が始まる。北朝の天皇は室町幕府の傀儡だったのか？両者の交わりから、困難な時代を生き抜いた天皇家の軌跡を描く。

2020:7./ 5p,251p
978-4-12-102601-9
本体 ¥968〔税込〕



読売新聞 2020/12/27



ラマレラ最後のクジラの民

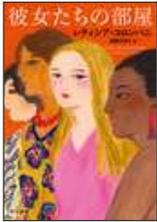
ダグ・ボック・クラーク 著
NHK出版

伝統捕鯨に生きる、インドネシア・ラマレラの民。近代化の波が押し寄せ中、祖先から引き継いだ暮らしを守るべきか、変化を受け入れるべきか、村人の心は揺れる-。存続の危機にある希少文化のいまを描いたルポルタージュ。

2020:5./ 477p 図版
16p
978-4-14-081819-0
本体 ¥3,300〔税込〕



読売新聞 2020/12/27



彼女たちの部屋

レティシア・コロンバニ 著
早川書房

困窮した女性たちの支援施設で働くことになった弁護士のソレーヌ。一方、救世軍のブランシュは街中の貧困と闘い…。現代と約 100 年前のパリで、女性のための居場所づくりに人生を捧げたヒロインを描く感動作。

2020:6./ 251p
978-4-15-209938-9
本体 ¥1,760[税込]



読売新聞 2020/12/27



伝統芸能の革命児たち

九龍 ジョー 著
文藝春秋

歌舞伎、文楽、能、落語、講談、浪曲...伝統芸能の世界では、世代交代によって、各分野で新しい才能が輩出している。いま観るべきはこの顔ぶれだ! 古典芸能や寄席演芸の革命児たちを論じる。『文學界』連載等を単行本化。

2020:11./ 237p
978-4-16-391299-8
本体 ¥1,650[税込]



読売新聞 2020/12/27



オランウータンに会いたい

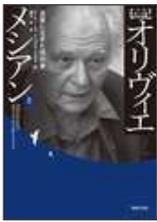
久世 濃子 著
あかね書房

ボルネオ島の深い森でオランウータンの研究をしている著者が、自身の研究生活とともに、オランウータンのユニークな体や生活などを紹介。さらに、絶滅の危機に瀕するオランウータンのためにできることを考える。

2020:3./ 177p
978-4-251-07310-5
本体 ¥1,430[税込]



読売新聞 2020/12/27



伝記オリヴィエ・メシアン〜音楽に生きた信仰者〜<上>

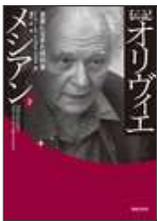
ピーター・ヒル/ナイジェル・シメオネ 著
音楽之友社

20 世紀フランスを代表する作曲家の伝記。夫人が生前に管理していた膨大な資料をもとに、これまで公式発言の奥に隠れて見えなかった人間メシアンの真実に迫る。上は、誕生から 50 代はじめまでを描く。

2020:10./ 289p,21p
978-4-276-22601-2
本体 ¥6,600[税込]



読売新聞 2020/12/27



伝記オリヴィエ・メシアン〜音楽に生きた信仰者〜<下>

ピーター・ヒル/ナイジェル・シメオネ 著
音楽之友社

20 世紀フランスを代表する作曲家の伝記。夫人が生前に管理していた膨大な資料をもとに、これまで公式発言の奥に隠れて見えなかった人間メシアンの真実に迫る。下は、50 代はじめから 83 歳で亡くなるまでを描く。

2020:10./ 233p,96p
978-4-276-22602-9
本体 ¥6,600[税込]



読売新聞 2020/12/27



リアルサイズ古生物図鑑〜古生物のサイズが実感できる!〜<新生代編>

土屋健一 著
技術評論社

東京都内のアニメ制作会社の会議室にいるミアキス、サンタクロースの手伝いをするメガロケロス・ギガンテウス…。古生物をリアルなイラストで再現し、現代景色に配置した図鑑。古第三紀?第四紀の古生物を収録。

2020:9./ 199p
978-4-297-11514-2
本体 ¥3,520[税込]



読売新聞 2020/12/27



これからのヴァギナの話をしよう

リン・エンライト 著
河出書房新社

生理、妊娠、出産、不妊、更年期。痛みも喜びも、いつも一緒にあった。アイルランド出身でイギリス在住のジャーナリストが、自身の体験談とともに語る、<なかったことにされがち>な女性器の本当のお話。

2020:9./ 285p,15p
978-4-309-24972-8
本体 ¥2,420〔税込〕



読売新聞 2020/12/27



女は不死である〜ラカンと女たちの反哲学〜

立木 康介 著
河出書房新社

ファルス享楽から女の享楽へ。「女」についてラディカルな思考を展開したラカンの反哲学的闘争を通して、デュラス、聖女テレサ、ラカンの愛人ミーヨら「女たち」の思想史を試みる。『三田文学』連載を単行本化。

2020:11./ 268p
978-4-309-24981-0
本体 ¥2,970〔税込〕



読売新聞 2020/12/27



共鳴する未来〜データ革命で生み出すこれからの世界〜(河出新書 020)

宮田 裕章 著
河出書房新社

新しい社会ビジョンを牽引するデータサイエンティストが、人と人、人と世界がデータを通じて共鳴することで生まれる新たな文明、そこにある希望を描く。可能性を広げ、議論を深める、山本龍彦ら研究者との対談も収録。

2020:9./ 229p
978-4-309-63121-9
本体 ¥924〔税込〕



読売新聞 2020/12/27



薔薇の奇跡(光文社古典新訳文庫 KA シ 4-2)

ジュネ 著
光文社

監獄と少年院を舞台に、「薔薇」に譬えられる美しい囚人たちとジュネ自身をめぐる、暴力と肉体の物語。同性愛者であり泥棒でもあった作家が、悪と性に彩られた監獄世界を緻密かつ幻想的に描くことで、聖性を発見していく。

2016:11./ 583p
978-4-334-75344-3
本体 ¥1,408〔税込〕



読売新聞 2020/12/27



新明解国語辞典 第8版

山田 忠雄、倉持 保男、上野 善道、山田 明雄、井島 正博、笹原 宏之 編
山田 忠雄／倉持 保男／上野 善道 著
三省堂

ことばの本質をとらえる国語辞典の決定版。7万9千項目を収録。緻密な語の分析と、適切で文章作成に役立つ用例による詳しい語義解説を掲載。「数字の読み方」を新設した第8版。小型版(赤箱)、白版、青版も同時刊行。

2020:11./ 48p,1741p
978-4-385-13078-1
本体 ¥3,410〔税込〕



読売新聞 2020/12/27



てにをは俳句・短歌辞典

阿部 正子 編
三省堂

江戸から昭和まで、有名・無名を問わず、約6万の俳句・短歌を形容詞や動詞を大見出しにして1ページ単位で分類した、ひとつ上の表現をめざす「歌詠み」のための表現辞典。作者名一覧、分野別大見出し、五十音順索引付き。

2020:8./ 166p,948p
978-4-385-13642-4
本体 ¥3,520〔税込〕



読売新聞 2020/12/27



明鏡国語辞典 第3版

北原保雄 編
大修館書店

日本語運用の“達人”への指標となるべく、表記・意味・用法の的確な情報を盛り込んだ国語辞典。現代日本の言語生活に必要な約7万3000項目を収録。特徴的な語法や類義語との違い、注意すべき誤用などを詳しく解説する。

2020:12./
12p,1839p,71p
978-4-469-02122-6
本体 ¥3,300[税込]



読売新聞 2020/12/27



グラフのウソを見破る技術～マイアミ大学ビジュアル・ジャーナリズム講座～

アルベルト・カイロ 著
ダイヤモンド社

パイチャート、地図グラフ、散布図...175個のグラフから読みとる、データの時代のだまされない基本知識! グーグルやEUで教えるインフォグラフィックスの世界的エキスパートが、誤解させるグラフの全手口を公開する。

2020:6./ 8p,223p
978-4-478-11034-8
本体 ¥1,980[税込]



読売新聞 2020/12/27



<現実>とは何か～数学・哲学から始まる世界像の転換～(筑摩選書 0182)

西郷 甲矢人、田口 茂 著
筑摩書房

「現実」はどのようにして「現実」として捉えられるのか。「数学的活動の数学」である圏論と、「現われる」ことを追究する哲学=現象学。その両方に関わる根本原理を追究した画期的試論。

2019:12./ 266p
978-4-480-01690-4
本体 ¥1,760[税込]



読売新聞 2020/12/27



相対化する知性～人工知能が世界の見方をどう変えるのか～

西山 圭太/松尾 豊/小林 慶一郎/西山 圭太/松尾 豊/小林 慶一郎 著
日本評論社

人工知能の登場を契機として、相対化されることになった人間の知性。人工知能の出現と社会実装の進展が、人間の知の枠組みや社会の統合の理念にどのような影響を及ぼし得るのかを考察する。

2020:3./ 8p,336p,8p
978-4-535-55907-3
本体 ¥2,970[税込]



読売新聞 2020/12/27



パトリックと本を読む～絶望から立ち上がるための読書会～

ミシェル・クオ 著
白水社

もともと才能のあった教え子が罪を犯した。教え子パトリックとの面会のため拘置所に通う教師で法学生のミシェル。ともに本を読むことで、貧困からくる悪循環にあえぐ青年の心に寄り添おうとする。自己発見と他者理解の記録。

2020:5./ 393p
978-4-560-09731-1
本体 ¥2,860[税込]



読売新聞 2020/12/27



14歳からの生物学～学校では教えてくれない<ヒト>の科学～

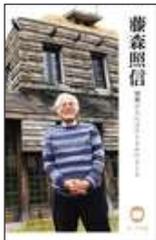
サリー・ヒル 編
白水社

ウイルス感染や生活習慣病からいかに身を守り、衛生リテラシーを高めるか? オランダの学校で13歳から14歳向けとして使われている生物の教科書を邦訳。呼吸、栄養と消化、循環系、生殖について解説する。

2020:9./ 234p
978-4-560-09774-8
本体 ¥3,080[税込]



読売新聞 2020/12/27



藤森照信～建築が人にはたらきかけること～(のこす言葉 KOKORO BOOK-LET)

藤森 照信 著
平凡社

建築を生む力は、神様や言葉のような実用を超えたところにある。村の信仰に守られた少年時代から今日まで、建築界の快人・藤森照信はいかにして成ったかを自ら語る。人生の先輩による語りおろし自伝シリーズ。

2020:2./ 123p
978-4-582-74123-0
本体 ¥1,760[税込]



読売新聞 2020/12/27



マーシャル・プラン～新世界秩序の誕生～

ベン・ステイル 著
みすず書房

巨額かつ野心的なマーシャル・プランは、いかにして冷戦という世界秩序を形作り、アメリカの戦後の大戦略に資したのか。アメリカ、ロシア、ドイツ、チェコの新資料を駆使し、その全貌を描く。

2020:8./
12p,519p,161p
978-4-622-08906-3
本体 ¥5,940[税込]



読売新聞 2020/12/27



聖武天皇～帝王としての自覚と苦悩～(日本史リブレット人 007)

寺崎 保広 著
山川出版社

平城京・正倉院宝物・国分寺など、はなやかな天平文化の中心にあった聖武天皇。晩年になると、さまざまな苦悩が重なり、ひたすら仏教に没入していく。奈良時代を代表する人物像を、その言葉とともに描く。

2020:3./ 89p
978-4-634-54807-7
本体 ¥880[税込]



読売新聞 2020/12/27



地下世界をめぐる冒険～闇に隠された人類史～(亜紀書房翻訳ノンフィクション・シリーズ III-12)

ウィル・ハント 著
亜紀書房

私たちはみな、心に洞窟を持っている。ニューヨークの地下鉄、パリの地下納骨堂、カッパドキアの地下都市など、世界中の「光なき世界」を渉猟し、人類の歴史と闇への畏怖に思いを馳せたノンフィクション。

2020:8./ 293p
978-4-7505-1659-2
本体 ¥2,420[税込]



読売新聞 2020/12/27



フロム・ザ・フラッド～浸水からの未知なるもの～

シモン・ストーレンハーグ、山形 浩生 著
グラフィック社

閉鎖した粒子加速器ループの近隣は原因不明の大規模な浸水被害に見舞われる。テレビ、車などに寄生した謎の生物や AI ロボットが徘徊するストックホルム近郊で、主人公は青春期を迎え…。「ザ・ループ」の直後から始まる物語。

2020:1./ 135p
978-4-7661-3228-1
本体 ¥3,080[税込]



読売新聞 2020/12/27



ジビエレシピ～プロのためのジビエ料理と狩猟鳥獣～

ブルーノ・ドゥーセ 著
グラフィック社

クラシックなレシピも、野趣あふれる一品も。ジビエ料理 64 レシピ、ガルニチュール・ジュ・マリナード基本 35 レシピなど、世界のグルマンを魅了してやまない料理を紹介します。23 種の狩猟鳥獣を掲載したジビエ図鑑も収録。

2020:9./ 319p
978-4-7661-3351-6
本体 ¥4,290[税込]



読売新聞 2020/12/27



悔ってはならない中国〜いま日本の海で何が起きているのか〜 (信山社新書)

坂元 茂樹 著
信山社出版

海軍大国をめざすのみならず、自国の経済発展のために海洋資源の確保を必要とし、その独占を図ろうとしている中国。中国の海洋進出に対して、日本がいかに対処すべきかを国際法の観点から論じる。

2020:10./ 20p,223p
978-4-7972-8104-0

本体 ¥968〔税込〕



読売新聞 2020/12/27



世俗の時代<上>

チャールズ・テイラー 著
名古屋大学出版会

壮大な歴史的展望のもとに宗教・思想・哲学の曲折に満ちた展開を描き出すチャールズ・テイラーの記念碑的大著。上は、1999年春にエディンバラで行った「世俗の時代に生きているのか」をテーマにしたギフォード講義を収録。

2020:6./ 6p,499p,40p
978-4-8158-0988-1

本体 ¥8,800〔税込〕



読売新聞 2020/12/27



世俗の時代<下>

チャールズ・テイラー 著
名古屋大学出版会

壮大な歴史的展望のもとに宗教・思想・哲学の曲折に満ちた展開を描き出すチャールズ・テイラーの記念碑的大著。下は、1999年春にエディンバラで行った「世俗の時代に生きているのか」をテーマにした講義後の議論を収録。

2020:6./
4p,p502?940 56p
978-4-8158-0989-8

本体 ¥8,800〔税込〕



読売新聞 2020/12/27



ルネサンスの数学思想

東 慎一郎 著
名古屋大学出版会

科学革命の前夜の数学とは。数学や関連する諸学の、対象や認識・論証の特質、学問全体における位置づけ、教育的意義などをめぐって、当時の思想家たちが論じたテキストを精緻に読み解き、知の相互連関を問い直す。

2020:12./
4p,324p,78p
978-4-8158-1010-8

本体 ¥6,930〔税込〕



読売新聞 2020/12/27



本の雑誌の坪内祐三

坪内 祐三 著
本の雑誌社

1991年から2020年までに坪内祐三が『本の雑誌』『別冊本の雑誌』に寄稿した原稿を集成。亀和田武、目黒考二らとの座談会、対談、角川春樹のロングインタビュー等も掲載する。

2020:6./ 397p
978-4-86011-443-5

本体 ¥2,970〔税込〕



読売新聞 2020/12/27



うたうおばけ

くどうれいん 著
書肆侃侃房

失恋してラーメン屋に喪服でやってきたミオ、「ビニニでもバナナ」と大発見したのんちゃんとうーきちゃん…。個性的な「ともだち」が登場する、東北の小さな歌人のエッセイ集。『web 侃づめ』連載他を書籍化。

2020:4./ 189p
978-4-86385-398-0

本体 ¥1,540〔税込〕



読売新聞 2020/12/27



いのちのはのちのいのちへ〜新しい医療のかたち〜

稲葉俊郎 著
KTC中央出版

「対話」や「場づくり」をキーワードに、従来の病院のあり方や病気の考え方だけでは解決しない、補完し合う存在としての「新たな医療」や私たち自らが関わっていく「医療的な場」とはなにかを考える。

2020:6./ 257p
978-4-87758-808-3
本体 ¥1,760〔税込〕



読売新聞 2020/12/27



吠える〜その他の詩〜

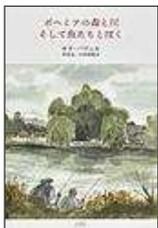
アレン・ギンズバーグ 著
スイッチ・パブリッシング

息苦しさや支配する 1950 年代アメリカにおいて、詩人は反抗と自由をうたい、聴衆は電撃的に反応した…。カウンターカルチャーの嚆矢となり、後世に決定的な影響を与えた詩集を新訳。

2020:6./ 94p
978-4-88418-538-1
本体 ¥1,650〔税込〕



読売新聞 2020/12/27



ボヘミアの森と川そして魚たちとぼく

オタ・パヴェル、菅 寿美、中村 和博 著
未知谷

チェコの作家・オタ・パヴェルの幼少期から晩年にかけての、魚あるいはボヘミア地方の自然との触れ合いを綴った自叙伝的短篇集。登場人物たちの日常のドラマが簡素な文体で語られる。

2020:4./ 223p
978-4-89642-602-1
本体 ¥2,750〔税込〕



読売新聞 2020/12/27



カフェ・シェヘラザード(境界の文学)

アーノルド・ゼイブル 著
共和国/editorial republica

故国ポーランドでのナチスによる過酷な迫害を逃れ、杉原千畝のヴィザを取得。神戸や上海を経由してオーストラリアにたどりついた人びとの声が、カフェを舞台にポリフォニックに響く。静謐な筆致で現代史の局面を描き出す。

2020:8./ 317p
978-4-907986-72-8
本体 ¥3,520〔税込〕



読売新聞 2020/12/27



今日の人生<2> 世界がどんなに変わっても

益田 ミリ 著
ミシマ社

コロナがおわったら、大きな美術館でたくさん絵が見たいと思った今日の人生-。益田ミリが日々思ったことを漫画で描く。『みんなのミシマガジン』連載を再構成し、書き下ろしを加える。

2020:10./ 236p
978-4-909394-41-5
本体 ¥1,650〔税込〕



読売新聞 2020/12/27



道教思想 10 講(岩波新書 新赤版 1848)

神塚 淑子 著
岩波書店

老子の「道」の思想を起点に、さまざまな思想・運動をとりこみながら形成された道教。その哲学と教理を、「気」の生命観、仏教との関わり、日本への影響などの論点からとらえる。丁寧なテキスト読解に基づく総合的入門書。

2020:9./ 2p,222p,15p
978-4-00-431848-4
本体 ¥946〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/05



ジョン・ボルトン回顧録～トランプ大統領との 453 日～

ジョン・ボルトン 著

朝日新聞出版

イラン核合意からの離脱、ホワイトハウスの混乱、中国との関係…。トランプ政権の国家安全保障担当大統領補佐官を務めたジョン・ボルトンが、政権の内幕から国際外交の舞台裏までを明らかにする。池上彰の解説も収録。

2020:10./ 552p,29p

978-4-02-251717-3

本体 ¥2,970〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/05



百年続く企業の条件～老舗は変化を恐れない～(朝日新書)

帝国データバンク史料館、帝国データバンク産業調査部 著

朝日新聞出版

企業を見続けてきた目利き集団が、財務、歴史、社訓など、様々な角度から老舗企業を徹底分析。経営者へのインタビューと最強のデータベースから、不況、震災、被災を生き抜く企業の秘密を解き明かす。老舗の創業年表付き。

2009:9./ 243p

978-4-02-273294-1

本体 ¥814〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/05



麻雀放浪記<3> 激闘編(角川文庫)

阿佐田 哲也 著

角川書店

終戦直後の上野不忍池付近、博打にのめりこんでいく”坊や哲”。博打の魔性に憑かれ、技と駆け引きを駆使して闘い続ける男たちの飽くなき執念を描いた戦後大衆文学最大の収穫!!

1979:1./ 313p

978-4-04-145953-9

本体 ¥704〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/05



日本人とユダヤ人(角川oneテーマ 21 A-32)

山本 七平 著

角川書店

イザヤ・ベンダサン著として、山本書店より1970年に刊行されたものの新書版。

2004:5./ 295p

978-4-04-704167-7

本体 ¥880〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/05



女の子のことはかり考えていたら、1年が経っていた。(講談社文庫 ひ 59-2)

東山 彰良 著

講談社

有象くんと無象くんは芽えない大学生。「モテたい!」が脳内をめぐり、他人の恋愛話も気になってしまい…。一筋縄ではいかない男女の恋愛問題に箴言を織り交ぜ、性格をそのまま登場人物名にして描いた王道青春コメディ。

2020:11./ 253p

978-4-06-521557-9

本体 ¥682〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/05



世界で最も危険な男～「トランプ家の暗部」を姪が告発～

メアリー・トランプ 著

小学館

替え玉受験で名門大学に不正入学、アルツハイマーの父を見捨て遺産相続で脱税、家族がつけたあだ名は「The Great I-am(俺様)」…。トランプ大統領の姪が、歪んだ大統領を生んだ一族の「腐食の連鎖」を明かす。

2020:9./ 365p

978-4-09-356728-2

本体 ¥2,420〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/05



世の中と足並みがそろわない

ふかわりょう 著
新潮社

「ポスト出川」から舵を切った30歳、誰も触れなくなった「結婚」のこと、アイスランドで感じた死生観…。世の中との隔たりと向き合う“隔たリスト”ふかわりょうが、不器用すぎる歪な日常を描く。

2020:11./ 219p
978-4-10-353791-5
本体 ¥1,485〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/05



炎と怒り〜トランプ政権の内幕〜

マイケル・ウォルフ、関根 光宏、藤田 美菜子 著
早川書房

2017年1月の就任以来、世界を振り回してきたアメリカのトランプ大統領。1年半にわたる200件以上の関係者取材をもとに、驚くほど政策を知らない大統領の姿と、政権の知られざる内情を描き出す。

2018:2./ 493p
978-4-15-209756-9
本体 ¥1,980〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/05



コーポレート・トランスフォーメーション〜日本の会社をつくり変える〜

富山 和彦 著
文藝春秋

日本企業がコロナ恐慌を生き延びるには? 「コーポレート・トランスフォーメーション」をテーマに、目指すべき新しいモデル、アーキテクチャとそこに到達するための道筋を示す。「コロナショック・サバイバル」の続編。

2020:6./ 389p
978-4-16-391233-2
本体 ¥1,650〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/05



坂の上の雲<8> 新装版(文春文庫)

司馬 遼太郎 著
文芸春秋

長引く戦争で、国力の尽きつつある日本。ロシアのバルチック艦隊が出動する。国家の命運を賭けた大海戦が始まった??. 全巻完結

1999:2./ 397p
978-4-16-710583-9
本体 ¥803〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/05



洪水

フィリップ・フォレスト 著
河出書房新社

すべての出来事が環のようにつながっていると語る作家と、魔法使いのようなやり方で「別の音楽」を奏でるピアニスト。ヨーロッパの最も古い都市で出会った3人の奇妙な関係がはじまり…。美しくも崇高なる消失の物語。

2020:10./ 291p
978-4-309-20805-3
本体 ¥3,575〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/05



サピエンス全史〜文明の構造と人類の幸福〜<上>

ユヴァル・ノア・ハラリ 著
河出書房新社

アフリカでほそぼそと暮らしていたホモ・サピエンスが、食物連鎖の頂点に立ち、文明を築いたのはなぜか。その答えを解く鍵は「虚構」にある。人類史全体をたどることで、我々はどうのような存在なのかを明らかにする。

2016:9./ 267p
978-4-309-22671-2
本体 ¥2,090〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/05



サピエンス全史～文明の構造と人類の幸福～<下>

ユ瓦尔・ノア・ハラリ 著

河出書房新社

なぜ文明は爆発的な進歩を遂げ、ヨーロッパは世界の覇権を握ったのか?その答えは「帝国、科学、資本」のフィードバック・ループにあった-。人類史全体をたどることで、我々はどのような存在なのかを明らかにする。

2016:9./ 294p

978-4-309-22672-9

本体 ¥2,090〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/05



ホモ・デウス～テクノロジーとサピエンスの未来～<上>

ユ瓦尔・ノア・ハラリ、柴田 裕之 著

河出書房新社

人類は不死と幸福、神性を目指し、神のヒト「ホモ・デウス」へと自らをアップグレードする。そのとき、富む者と貧しい者との格差は、創造を絶するものとなる-。人類の未来を、かつてないスケールで描く。

2018:9./ 265p

978-4-309-22736-8

本体 ¥2,090〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/05



ホモ・デウス～テクノロジーとサピエンスの未来～<下>

ユ瓦尔・ノア・ハラリ、柴田 裕之 著

河出書房新社

生物はただのアルゴリズムであり、コンピューターが人類のすべてを把握する。生物学と情報工学の発達によって、資本主義や民主主義、自由主義は崩壊し…。人類の未来を、かつてないスケールで描く。

2018:9./ 284p

978-4-309-22737-5

本体 ¥2,090〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/05



ヒルビリー・エレジー～アメリカの繁栄から取り残された白人たち～

J.D.ヴァンス、関根 光宏、山田 文 著

光文社

失業、貧困、ドラッグが蔓延するミドルタウンの貧しい家で育ちながら、イェール大学ロースクールを修了し、投資会社の社長を務める著者の回想記。トランプ大統領の支持層である、アメリカの白人労働者階層の実態が分かる書。

2017:3./ 418p

978-4-334-03979-0

本体 ¥1,980〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/05



地政学(サクッとわかるビジネス教養)

新星出版社

地政学を知ると、世界の姿が見えてくる。地政学で考える日本、アメリカ、ロシア、中国、アジア、中東、ヨーロッパの特徴を、オールカラーのイラストでわかりやすく解説。地政学の基本的な概念も紹介する。

2020:6./ 159p

978-4-405-12009-9

本体 ¥1,320〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/05



中国近現代史(サクッとわかるビジネス教養)

新星出版社

ややこしくてわかりにくい中国の歴史を、イラストや図版を多く使いながらわかりやすく解説。3ステップのビジュアル年表、中国の本質に迫る思考原理や行動原理を、歴史をたどって説明する。

2020:6./ 191p

978-4-405-12010-5

本体 ¥1,430〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/05



最も賢い億万長者～数学者シモンズはいかにしてマーケットを解読したか～ <上>

グレゴリー・ザッカーマン 著
ダイヤモンド社

40歳で数学者からトレーダーに転身したジム・シモンズが創始したヘッジファンド「ルネサンス・テクノロジーズ」は、なぜ桁外れの利益を出し続けるのか。アルゴリズム投資の裏で繰り広げられる、科学者たちのドラマを描く。

2020:9./ 287p
978-4-478-10913-7
本体 ¥1,980〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/05



最も賢い億万長者～数学者シモンズはいかにしてマーケットを解読したか～ <下>

グレゴリー・ザッカーマン 著
ダイヤモンド社

40歳で数学者からトレーダーに転身したジム・シモンズが創始したヘッジファンド「ルネサンス・テクノロジーズ」は、なぜ桁外れの利益を出し続けるのか。アルゴリズム投資の裏で繰り広げられる、科学者たちのドラマを描く。

2020:9./ 295p
978-4-478-11175-8
本体 ¥1,980〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/05



ポスト資本主義社会～21世紀の組織と人間はどう変わるか～

P.F.ドラッカー 著
ダイヤモンド社

今、日本だけでなく世界が政治・経済・社会など、あらゆる領域で構造変化が起こっている。この変化の意味・期間を考察し、大転換のあとと来たるべき社会を予測、21世紀における新しい行動を呼びかける。

1993:7./ 363p
978-4-478-37102-2
本体 ¥2,640〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/05



生まれてこないほうが良かったのか?～生命の哲学へ!～(筑摩選書 0197)

森岡 正博 著
筑摩書房

古代ギリシアの文学、古代インドの宗教哲学から、「誕生害悪論」などの現代の分析哲学までを取り上げ、「生まれてこないほうが良かった」という思想を徹底考察。反出生主義を世界思想史の中に位置づけ、その超克の道を探る。

2020:10./ 353p
978-4-480-01715-4
本体 ¥1,980〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/05



ほんとうの憲法～戦後日本憲法学批判～(ちくま新書 1267)

篠田 英朗 著
筑摩書房

なぜ日本の憲法学はガラパゴス化したのか。憲法を曲解してきた戦後憲法学の歴史的経緯を解明し、日本が国際社会の一員として国際協調主義を採り、真に立憲主義国家になるための道筋を問い直す。

2017:7./ 265p
978-4-480-06978-8
本体 ¥946〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/05



恐怖の男～トランプ政権の真実～

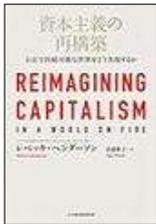
ボブ・ウッドワード、伏見 威蕃 著
日本経済新聞出版社

感情的なアメリカ大統領。彼の危険な思いつきを妨害し、国を動かすホワイトハウスのスタッフ。世界一の強国の意思決定は、いま狂気に満ちている。ニクソンを退陣させた伝説の記者が、トランプとホワイトハウスの真実を描く。

2018:12./ 532p 図版
16p
978-4-532-17652-5
本体 ¥2,420〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/05



資本主義の再構築～公正で持続可能な世界をどう実現するか～

レベッカ・ヘンダーソン 著

日本経済新聞出版社

大規模な環境破壊、経済格差、信頼できる社会的な仕組みの崩壊という現代社会の大問題の解決のために、企業や個人はどのような役割を果たせるのか。資本主義を創り直すための体系的な枠組みを提示する。

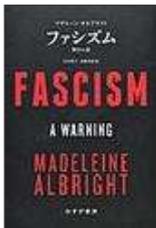
2020:10./ 363p

978-4-532-35869-3

本体 ¥2,420〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/05



ファシズム～警告の書～

マデレーン・オルブライト 著

みすず書房

ナチズムとスターリニズムの脅威を体験したアメリカ初の女性国務長官が、対峙した各国指導者の印象を交えながら、国内外で高まっている危険な兆候を国別に分析。その特徴と克服のための道筋を論じる。

2020:10./

6p,270p,16p

978-4-622-08943-8

本体 ¥3,300〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/05



ドイツ人はなぜヒトラーを選んだのか～民主主義が死ぬ日～ (亜紀書房翻訳ノンフィクション・シリーズ 3-13)

ベンジャミン・カーター・ヘット 著

亜紀書房

ドイツ人はなぜヒトラーを選んだのか。東方からの難民、共産主義への保守層の拒否感、社会の分断、世界恐慌、エリートと保守層の私欲と傲慢などを詳細に追いながら、ヒトラーが完全にドイツを掌握するまでを描く。

2020:9./ 411p

978-4-7505-1667-7

本体 ¥2,420〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/05



人間の土地へ

小松 由佳 著

集英社インターナショナル

世界第2位の高峰 K2 に日本人女性として初めて登頂した著者は、ラクダと共に生きるシリアの青年と出会う。2人を待ち受けていたのは、今世紀最悪の人道危機、内戦の勃発だった。シリア内戦を内側から描くノンフィクション。

2020:9./ 251p

978-4-7976-7389-0

本体 ¥2,200〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/05



われらが<無意識>なる韓国

四方田犬彦 著

作品社

日本人の無意識の心象に眠る韓国とは何なのか。40年にわたり隣国を見つめてきた著者が、日韓の歴史的イベント、ニュー・コリアン・シネマを中心とする映画論、忘れがたき韓国人・朝鮮人の肖像などについて綴る。

2020:11./ 317p

978-4-86182-829-4

本体 ¥2,970〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/05



ブループリント～「よい未来」を築くための進化論と人類史～<上>

ニコラス・クリスタキス 著

ニューズピック

南極探検隊の遭難者コミュニティなど古今東西のあらゆる「人間社会」、さらにサルやクジラ等の「動物社会」を徹底検証。進化生物学&公衆衛生学の世界的権威が放つ、人類の未来を切り開く「社会的ネットワーク」論。

2020:9./ 296p

978-4-910063-10-2

本体 ¥2,530〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/05



ブループリント～「よい未来」を築くための進化論と人類史～<下>

ニコラス・クリスタキス 著
ニューズピック

南極探検隊の遭難者コミュニティなど古今東西のあらゆる「人間社会」、さらにサルやクジラ等の「動物社会」を徹底検証。進化生物学&公衆衛生学の世界的権威が放つ、人類の未来を切り開く「社会的ネットワーク」論。

2020:9./ 339p
978-4-910063-11-9
本体 ¥2,530[税込]



日本経済新聞 2020/12/05



「仮住まい」と戦後日本～実家住まい・賃貸住まい・仮設住まい～

平山 洋介 著
青土社

単身世帯や困窮家庭の増大、進む高齢化、たび重なる災害…。変化する社会のなかで、良質で手ごろな住宅をつくるにはどうすればよいのか。困難を生きる人びとの住まいに光を当てながら、住宅政策の歴史と現在を問いなおす。

2020:10./ 375p,5p
978-4-7917-7321-3
本体 ¥2,420[税込]



日本経済新聞 2020/12/05、朝日新聞 2020/12/19



ママがおばけになっちゃった!(講談社の創作絵本)

のぶみ 著
講談社

車にぶつかっておばけになってしまったママ。家に戻ると、4歳のかんたろうが、ママに会いたいと泣いています。夜の12時過ぎ、かんたろうから見えるようになったママは、かんたろうとお話をして…。見返しに書き込み欄あり。

2015:7./ [32p]
978-4-06-133267-6
本体 ¥1,320[税込]



日本経済新聞 2020/12/12



らせん状想像力～平成デモクラシー文学論～

福嶋 亮大 著
新潮社

平成の30年間、日本文学の現場で何が起こったのか。グローバリズムとネット空間に晒され、迷宮化する表現を明晰に読み解く。『新潮』『神戸新聞』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

2020:9./ 274p
978-4-10-353561-4
本体 ¥2,640[税込]



日本経済新聞 2020/12/12



理想のリスニング～「人間的モヤモヤ」を聞きとる英語の世界～

阿部 公彦 著
東京大学出版会

英語リスニングをテーマに、なぜ英語学習の中心に「聞くこと」を据える必要があるのかを説明し、より具体的に英語のしくみを考察しながら、その考え方や練習法などを提示する。音声聞くことができるCD&QRコード付き。

2020:10./ 6p,218p
978-4-13-083081-2
本体 ¥2,530[税込]



日本経済新聞 2020/12/12



デザイン思考が世界を変える～イノベーションを導く新しい考え方～ アップデート版

ティム・ブラウン 著
早川書房

人々のニーズを探り出し、飛躍的な発想で問題を解決するためには「デザイン思考」が必要。現代におけるデザインとイノベーションの必要性、組織を蘇らせる方法を明かす。Airbnb、Uberなどの事例を盛り込む。

2019:11./ 334p
978-4-15-209893-1
本体 ¥2,200[税込]



日本経済新聞 2020/12/12



エデュケーション～大学は私の人生を変えた～

タラ・ウェストオーバー 著
早川書房

モルモン教サバイバリストの両親のもとに生まれたタラは、学校にも行けず、医療機関も受診せず、10代半ばに、大学に通うことを決意し、独学で大学資格試験に合格し…。壮絶な人生の回顧録。

2020:11./ 509p
978-4-15-209946-4
本体 ¥2,420[税込]



日本経済新聞 2020/12/12



論語物語(河出文庫 し 28-1)

下村 湖人 著
河出書房新社

生涯をかけて「論語」と向き合った著者が、「論語」に書かれた孔子の言葉を短い物語に。孔子と弟子たちによるエピソードが、ドラマチックなストーリーとしてよみがえる。「孔子の生活原理」、齋藤孝による解説も収録。

2020:11./ 348p
978-4-309-41776-9
本体 ¥880[税込]



日本経済新聞 2020/12/12



メディア論の名著 30(ちくま新書 1530)

佐藤 卓己 著
筑摩書房

「政治宣伝」「メディアの文明史」「流言蜚語」…。メディア史研究の第一人者・佐藤卓己が、自らの研究で真に役立つ書物を精選・解説。社会心理から政治学まで、文明的な視座をもつメディア論の名著 30冊を取り上げる。

2020:11./ 343p
978-4-480-07352-5
本体 ¥1,100[税込]



日本経済新聞 2020/12/12



VUCA 時代のグローバル戦略

パンカジュ・ゲマワット 著
東洋経済新報社

不確実性の高まる世界で、組織と戦略をどう問い直すか？ グローバル化に関するデータの読み解き方を論理的に解説したうえで、実務家が何をどう考えるべきなのかを思考するための具材を、高い視座から提供する。

2020:10./
13p,299p,44p
978-4-492-53431-1
本体 ¥3,300[税込]



日本経済新聞 2020/12/12



みどりババ(童心社のおはなしえほん)

ねじめ正一 著
童心社

花屋の店番が大好きで、大きくておいしいコロッケを作ってくれた、みどりババが死んだ。こうくんは涙が出てきたけれど…。ババと向き合う男の子の気持ちを丁寧に描く。

2020:10./ [39p]
978-4-494-01636-5
本体 ¥1,540[税込]



日本経済新聞 2020/12/12



WEAK LINK～コロナが明らかにしたグローバル経済の悪夢のような脆さ～

竹森 俊平 著
日本経済新聞出版社

新型コロナウイルスは、世界の仕組みをどう変えるのか。経済発展に追いつかない中国の統治体制、バルカン化のリスク孕むアジア、米国の社会的分裂、科学への過剰な自信、EUの決断等、顕わになった世界経済の危機を活写する。

2020:10./ 282p
978-4-532-35868-6
本体 ¥1,980[税込]



日本経済新聞 2020/12/12



新・資本主義論～「見捨てない社会」を取り戻すために～

ポール・コリアー 著
白水社

開発経済学の泰斗による「処方箋」。資本主義が本来持つ倫理的・道徳的側面に着目し、経済学、政治学、哲学などの知見を幅広く援用しつつ、分断と対立によって底なしの不安に陥る現代社会を立て直すための方策を提言する。

2020:9./ 317p,15p
978-4-560-09787-8
本体 ¥3,520〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/12



わすれられないおくりもの(児童図書館・絵本の部屋)

スーザン・バーレイ、小川 仁央 著
評論社

だれからもたよりにされ、したわれていたアナグマが死んだ。かけがえのない友を失った悲しみで、みんなはどうしていいかわからない。でもアナグマは、野原のみんな一人一人に、すてきなおくりものをのこしていった…。 “死”の意味をやさしく温かく伝え、心にしみる感動をよぶ。

1986:10./ 1冊
978-4-566-00264-7
本体 ¥1,320〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/12



ずーっとずっとだいすきだよ(児童図書館・絵本の部屋)

ハンス・ウィルヘルム、久山 太市 著
評論社

ぼくはエルフィーをわすれない。世界一すてきな犬だったんだ。エルフィーとぼくは、いっしょに大きくなった。ぼくの背がのびるにつれ、エルフィーはだんだん年をとり、そしてある朝、死んでいた。深い悲しみの中でも、ぼくには、ひとつ、なぐさめがあった。それは…。

1988:11./ 1冊
978-4-566-00276-0
本体 ¥1,320〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/12



村上春樹の動物誌(早稲田新書 003)

小山 鉄郎 著
早稲田大学出版部

村上春樹のデビュー作「風の歌を聴け」から「猫を棄てる」までを貫く核心のテーマとは。文芸記者の著者が、動物を手がかりに村上文学の森に分け入る。村上春樹のインタビューも収録。共同通信社配信の連載を大幅加筆し新書化。

2020:12./ 269p
978-4-657-20014-3
本体 ¥990〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/12



ブラックストーン・ウェイ～PE ファンドの王者が語る投資のすべて～

スティーブ・シュワルツマン 著
翔泳社

決して、損失を、出さな-。世界屈指の投資会社を創った男、スティーブ・シュワルツマンが、勝つための戦略を語る。あらゆるビジネスパーソンに効く、人生と仕事のヒントが満載。

2020:10./ 391p 図版
32p
978-4-7981-6524-0
本体 ¥2,860〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/12



このあとどうしやおう

ヨシタケ シンスケ 著
ブロンズ新社

死んだおじいちゃんの部屋を掃除していたら、「このあとどうしやおう」と書かれたノートが出てきて…。死んだらどうなる？ どうしたい？ 生きてる間に考えよう！ ヨシタケシンスケの発想えほん第3弾。見返しに絵あり。

2016:4./ 1冊(ページ
付なし)

978-4-89309-617-3

本体 ¥1,540[税込]



日本経済新聞 2020/12/12



デザインの本質

田中 一雄 著
ジャパンライフデザインシステムズ

デザインとは何か。デザインはどこへ行くのか。世界屈指の総合デザイン会社「GKデザイン」社長が、時代を超えて生き抜くデザイナーに伝えたいことを説く。デザインの社会的使命、本質的価値を考える5つの視点などを収録。

2020:9./ 223p

978-4-908492-88-4

本体 ¥2,420[税込]



日本経済新聞 2020/12/12



みがわり

青山 七恵 著
幻冬舎

駆け出し作家の律は、ファンを名乗る女性から亡き姉の伝記執筆の依頼を受ける。その姉は、生前の姿形が律と瓜二つだったという。取材を進めるうち、姉妹の確執、家族の秘密が明らかになり…。『小説幻冬』掲載を単行本化。

2020:10./ 347p

978-4-344-03697-0

本体 ¥1,870[税込]



日本経済新聞 2020/12/12、産経新聞 2020/12/13



眠れる美女たち<上>

スティーヴン・キング／オーウェン・キング 著
文藝春秋

凶悪事件の犯人イーヴィは小さな町の女子刑務所に移送される。同じ頃、世界中で女だけに災いする「眠り病」が広がる。残された男たちを不安と恐怖が蝕んでいく中、イーヴィだけが眠りから逃れているようで…。

2020:10./ 469p

978-4-16-391156-4

本体 ¥2,750[税込]



日本経済新聞 2020/12/12、東京・中日新聞 2020/12/13



眠れる美女たち<下>

スティーヴン・キング／オーウェン・キング 著
文藝春秋

眠りについた女たちは「別の世界」で目を覚まし、彼女たち以外に誰もいない世界で生き延びようとする。一方、残された男たちは眠る女たちを焼殺しはじめ、その手はイーヴィにも迫り…。圧巻のパニック・ホラー。

2020:10./ 447p

978-4-16-391157-1

本体 ¥2,750[税込]



日本経済新聞 2020/12/12、東京・中日新聞 2020/12/13



コロナ危機の政治～安倍政権 vs. 知事～(中公新書 2620)

竹中 治堅 著
中央公論新社

緊急事態宣言、PCR 検査、休業要請…。日本政治はいかに新型コロナウイルス感染症に対応したのか。安倍政権と知事らの対応のプロセスを丹念にたどり、危機が明らかにした日本の政治体制とその問題点を描く。

2020:11./ 3p,356p

978-4-12-102620-0

本体 ¥1,078[税込]



日本経済新聞 2020/12/12、読売新聞 2020/12/27



善と悪のパラドックス～ヒトの進化と<自己家畜化>の歴史～

リチャード・ランガム 著

NTT出版

協力的で思いやりがありながら、同時に残忍で攻撃的な人間の特性は、いかにして育まれたのか？ 世界を舞台に活躍する人類学者が、<自己家畜化>という人間の進化特性を手がかりに人類進化の秘密に迫る。

2020:10./ 464p

978-4-7571-6080-4

本体 ¥5,390[税込]



日本経済新聞 2020/12/12、毎日新聞 2020/12/12



南極ダイアリー(講談社選書メチエ 739)

水口 博也 著

講談社

南極大陸と南極の島じまでは、自然環境と生態系の変化が複雑に絡み合い、予想外の事態が次々と起こっている。荒れ狂うドレーク海峡の先にある南極の“日常”を撮り続けた写真家による、未知なる大地の記録。

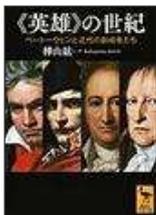
2020:11./ 237p

978-4-06-521773-3

本体 ¥1,980[税込]



日本経済新聞 2020/12/19



《英雄》の世紀～ベートーヴェンと近代の創成者たち～(講談社学術文庫 2641)

樺山 紘一 著

講談社

ナポレオンという「英雄」は幻想だったのか。楽聖ベートーヴェンの生涯をたどりつつ、同時代を生きたヘーゲルやゲーテら偉人たちを通じ、1789年に始まる革命の世紀を西洋史の泰斗が臨場感あふれる筆致で描く。

2020:12./ 221p

978-4-06-522045-0

本体 ¥1,012[税込]



日本経済新聞 2020/12/19



戀童夢幻

木下 昌輝 著

新潮社

妖にも似た魅力を持つ踊り手・加賀邦ノ介に、心をかき乱される森“乱”成利。その胸中を察した明智光秀は…。信長、家康ら戦国武将に対峙し、歴史を動かした、流浪の芸能者を描いた時代小説。『小説新潮』掲載を加筆し書籍化。

2020:10./ 399p

978-4-10-353631-4

本体 ¥2,090[税込]



日本経済新聞 2020/12/19



もののけの日本史～死霊、幽霊、妖怪の 1000 年～(中公新書 2619)

小山 聡子 著

中央公論新社

もののけは、古代・中世では正体不明の死霊を指し、近世になると幽霊や妖怪と同一視され、明治以降には知識人や政府にその存在を否定された。豊富な史料からもののけの系譜を辿り、日本人の死生観、霊魂観に迫る。

2020:11./ 6p,281p

978-4-12-102619-4

本体 ¥990[税込]



日本経済新聞 2020/12/19



非国民な女たち～戦時下のパーマとモンペ～(中公選書 112)

飯田 未希 著

中央公論新社

「贅沢は敵」と非難されたパーマは戦中も大流行して、店には大行列。モンペは当時から「不格好」と公然と言われていた。統制と近代化の狭間で社会問題となりながら髪形や服装にこだわった女性たちとその背景に迫る。

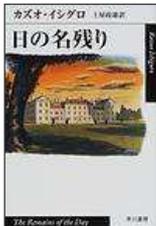
2020:11./ 274p

978-4-12-110112-9

本体 ¥1,870[税込]



日本経済新聞 2020/12/19



日の名残り(ハヤカワ epi 文庫)

カズオ・イシグロ 著
早川書房

短い旅に出た老執事が、美しい田園風景のなか古き佳き時代を回想する。長年仕えた卿への敬慕、執事の鑑だった亡父、女中頭への淡い想い、二つの大戦の間に邸内で催された重要な外交会議の数々……。遠い思い出は輝きながら胸のなかで生き続ける。失われゆく伝統的英国を描く英国最高の文学賞、ブッカー賞受賞作。解説／丸谷才一

2001:5./ 365p
978-4-15-120003-8
本体 ¥836〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/19



黒魔術がひそむ国 ミャンマー政治の舞台裏

春日 孝之 著
河出書房新社

ミャンマーの国家指導者は黒魔術を心底恐れていて誕生日を明かささない!? 大統領の誕生日と呪術の関係、著名な占星術師による「スーチー大統領」誕生の予言など、ミャンマーの「政治とおまじない」を4つの視点から描き出す。

2020:10./ 277p
978-4-309-24979-7
本体 ¥2,200〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/19



銀の夜

角田 光代 著
光文社

女子高時代に少女バンドでメジャーデビューをしたちづる、麻友美、伊都子。35歳の今、欲しいのは生きる手応え。これからの人生に、あれ以上興奮することはあるのだろうか…。『VERY』2005?2007年連載を書籍化。

2020:11./ 300p
978-4-334-91374-8
本体 ¥1,760〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/19



アマゾン化する未来～ベゾニクスが世界を埋め尽くす～

ブライアン・デュメイン 著
ダイヤモンド社

アマゾンにはウィズコロナの世界において、一人勝ちとも言える成功を収めようとしている。アマゾンのビジネスモデルがいかに築き上げられたのかを振り返りながら、それが世界中で標準的なモデルになりつつあることを解明する。

2020:10./ 13p,456p
978-4-478-10730-0
本体 ¥1,980〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/19



モビリティ・エコノミクス～ブロックチェーンが拓く新たな経済圏～

深尾 三四郎／クリス・バリンジャー 著
日本経済新聞出版社

デジタルツインの実用化、進化するサプライチェーン、スマートシティの創造、モビリティのデータマーケットプレイスの誕生…。モビリティにおけるブロックチェーンの活用法を、国内外の先端事例に基づいて解説する。

2020:10./ 333p
978-4-532-32365-3
本体 ¥2,200〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/19



なぜ貧しい国はなくならないのか～正しい開発戦略を考える～ 第2版

大塚 啓二郎 著

日本経済新聞出版社

なぜ貧困を撲滅できないのか？ 貧困国浮上のための論理と戦略をていねいに解説する。経済学はともかくも「開発経済学」については知りたいと思っている人のための入門書。最新データに基づいて全面改訂した第2版。

2020/3./ 281p

978-4-532-35848-8

本体 ¥3,300[税込]



日本経済新聞 2020/12/19



開発コンサルタントという仕事～国際協力の現場を駆けめぐる～

笹尾隆二郎 著

日本評論社

途上国で、現地の人々と共に汗を流しながら、最前線で政策提言や技術協力を担うプロフェッショナル、それが開発コンサルタント。その仕事内容とキャリアパスを、具体的に詳しく紹介します。

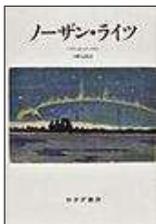
2020/10./ 9p,123p

978-4-535-55985-1

本体 ¥1,980[税込]



日本経済新聞 2020/12/19



ノーザン・ライツ

ハワード・ノーマン 著

みすず書房

1950年代後半のカナダ。14歳のノアは、親友が死んだことを知り、親友の両親の村で次の夏も過ごすことを決める。村には、先住民の人々や宣教師、そして行方不明の父親がいて…。少年の心と成長を描いた物語。

2020/10./ 326p

978-4-622-08944-5

本体 ¥4,400[税込]



日本経済新聞 2020/12/19



証言 天安門事件を目撃した日本人たち～「一九八九年六月四日」に何が起こったのか～

六四回顧録編集委員会 編

ミネルヴァ書房

中国現代史の転換点となった1989年6月の天安門事件。当時北京にいた日本人は何を考え、何を見て、いかに行動したのか。駐在武官、日本国大使館員、ジャーナリストらが、事件の秘話や個人の体験を綴る。

2020/10./

17p,300p,4p

978-4-623-08992-5

本体 ¥3,520[税込]



日本経済新聞 2020/12/19



鏡の中のアメリカ～分断社会に映る日本の自画像～

先崎 彰容 著

亜紀書房

サンフランシスコを歩き、アーリントン墓地を訪ね、大陸横断鉄道に乗る。開国のとき、敗戦後、先人たちは、アメリカに何をみていたのか。過去を未来を往還しながら、これからの日本を考える歴史エッセイ。

2020/10./ 237p

978-4-7505-1672-1

本体 ¥1,760[税込]



日本経済新聞 2020/12/19



命の経済～パンデミック後、新しい世界が始まる～

ジャック・アタリ 著

プレジデント社

過去のパンデミックから得られる教訓とは。この感染症を克服するには。以前の生活水準や生活様式を取り戻せるのか。個人の自由を保護できるのか。欧州最高峰の知性が、歴史を紐解き、現状を分析し、来るべき未来を予測する。

2020/10./ 307p,15p

978-4-8334-2387-8

本体 ¥2,970[税込]



日本経済新聞 2020/12/19



学校弁護士～スクールロイヤーが見た教育現場～(角川新書 K-334)

神内 聡 著
KADOKAWA

いじめ、校則、部活、教師の長時間労働…。スクールロイヤーは学校問題の救世主? 弁護士資格を持つ現役教師であり、スクールロイヤーとしても活動する著者が、安易な待望論に警鐘を鳴らし、現実的な解決策を提示する。

2020:10./ 275p
978-4-04-082317-1
本体 ¥990〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/19、読売新聞 2020/12/20



マクロ経済学の再構築～ケインズとシュンペーター～

吉川 洋 著
岩波書店

なぜ現在のマクロ経済学は、現実の危機に無力なのか。「統計物理学」に学び、ケインズとシュンペーターの遺産を融合することで、現実の経済を解明し有効な処方箋を描ける、マクロ経済学のあるべき姿を提示する。

2020:8./ 11p,354p
978-4-00-024830-3
本体 ¥8,800〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/26



夜の声を聴く(朝日文庫 う27-1)

宇佐美まこと 著
朝日新聞出版

目の前で手首を切った女性に惹かれた隆太は、彼女が通う定時制高校に入学し、同級生の大吾が働く奇妙な店を手伝い始める。しかし、それは 11 年前の一家殺人事件に端を発する、歪んだ悲哀が渦巻く世界への入り口だった…。

2020:9./ 406p
978-4-02-264965-2
本体 ¥814〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/26



草魂～句集～

宮坂 静生 著
KADOKAWA

忘るるは思ひ出すため木の根開く 木に木魂草に草魂暮の春 冬林檎くる日くる日が句と思ひ 人事を包含した自然から触発された詩情を捉え、詠む。2016 年から 2019 年までの 358 句を収めた第 13 句集。

2020:9./ 201p
978-4-04-884374-4
本体 ¥2,970〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/26



タイタン

野崎 まど 著
講談社

AI「タイタン」により社会が平和に保たれた未来。人類は<仕事>から解放され自由を謳歌していた。しかし心理学を趣味とする内匠成果のもとに訪れた、世界で一握りの就労者ナイレンが告げる。「貴方に<仕事>を頼みたい」。

2020:4./ 377p
978-4-06-517715-0
本体 ¥1,980〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/26



ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー～ The Real British Secondary School Days～

ブレイディみかこ 著
新潮社

優等生の「ぼく」が通い始めたのは、人種も貧富もごちゃまぜの「元・底辺中学校」。世界の縮図のような日常を、思春期真っ只中の「ぼく」と著者である母は、ともに考え悩み乗り越え…。傑作エッセイ。『波』連載を書籍化。

2019:6./ 252p
978-4-10-352681-0
本体 ¥1,485〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/26



首里の馬

高山 羽根子 著
新潮社

中学生の頃から沖縄の郷土資料館の資料整理を手伝う未名子は、世界の果ての遠く隔たった場所にいる人たちにオンライン通話でクイズを出題するオペレーター。ある台風の夜、庭に迷いこんできたのは…。『新潮』掲載を単行本化。

2020/7./ 158p
978-4-10-353381-8
本体 ¥1,375〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/26



アウトースペース

赤松 利市 著
中央公論新社

未曾有の大災害に見舞われた東北が、突如“独立宣言”を行った。規模に比して抑えられた被害状況。被災地では何が起きたのか。3年後、一切の情報が遮断された国へと変容した東北に、ジャーナリストたちが招かれ…。

2020/3./ 379p
978-4-12-005282-8
本体 ¥1,870〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/26



平成の経済政策はどう決められたか～アベノミクスの源流をさぐる～(中公選書107)

土居 丈朗 著
中央公論新社

伊藤隆敏、岩田一政、大田弘子、竹中平蔵、吉川洋。小泉内閣以降、経済政策の立案に加わった5人の経済学者との対談を通じて得た現場での議論を踏まえ、第2次以降の安倍内閣の経済政策の核心に迫り、今後の課題をあぶり出す。

2020/5./ 7p,352p
978-4-12-110107-5
本体 ¥1,980〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/26



EBPMの経済学～エビデンスを重視した政策立案～

大橋 弘 編
東京大学出版会

「エビデンスを重視する政策形成(EBPM)」に対する関心が国内外で高まっている。教育、労働、医療など6つ政策分野において、経済学者と現役の政策立案者がペアとなり、EBPMに求められる取り組みを論じる。

2020/3./ 12p,359p
978-4-13-040291-0
本体 ¥5,280〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/26



夕陽の道を北へゆけ

ジャニーソン・カミンズ 著
早川書房

メキシコ・アカプルコ。カルテルに親族16人を殺されたリディアは、たったひとり生き残った息子のルカを連れて、カルテルの力の及ばないアメリカへ行くことを決意し…。潰えない希望を描くロード・ノヴェル。

2020/2./ 499p
978-4-15-209914-3
本体 ¥3,410〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/26



イスラエル諜報機関暗殺作戦全史<上>

ロネン・バーグマン 著
早川書房

技術大国の軍事能力がゲリラ戦という異質な手段と融合して生まれた暗殺機構-。イスラエルの情報機関の工作員、指導者、活動手段、作戦審議、成功、失敗、および倫理的代償について、その実情を描き出す。

2020/6./ 542p
978-4-15-209943-3
本体 ¥3,520〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/26



イスラエル諜報機関暗殺作戦全史<下>

ロネン・バーグマン 著
早川書房

ほぼすべての暗殺作戦には、その時々イスラエル首相による政治決定がある。イスラエルの情報機関の工作員、指導者、活動手段、作戦審議、成功、失敗、および倫理的代償について、その実情を描き出す。

2020:6./ 478p
978-4-15-209944-0
本体 ¥3,520[税込]



日本経済新聞 2020/12/26



誓願

マーガレット・アトウッド 著
早川書房

ギレアデ共和国を操る権力を持つリディア、司令官の娘・アグネス、両親が何者かに爆殺されたデイジー。まったく異なる人生を歩んできた3人が出会うとき、ギレアデの命運が大きく動き始める。「侍女の物語」続篇。

2020:10./ 599p
978-4-15-209970-9
本体 ¥3,190[税込]



日本経済新聞 2020/12/26



日本蒙昧前史

磯崎 憲一郎 著
文藝春秋

大阪万博、三島由紀夫の自決、五つ子ちゃん誕生、ロッキード事件、グリコ・森永事件...。語り手を自在に換えつつ狂騒と蒙昧の戦後を彩った様々な事件とその陰にある無数の生を描き出す長篇。『文學界』掲載を単行本化。

2020:6./ 245p
978-4-16-391227-1
本体 ¥2,310[税込]



日本経済新聞 2020/12/26



落葉の記

勝目 梓 著
文藝春秋

純文学、ハードボイルド、私小説など、322冊を上梓した孤高の作家による最後の作品集。亡くなる前日まで書いていた長編「落葉日記」をはじめ「ひとこと」など全8編を収録。『オール讀物』『スペッキヤ』掲載を書籍化。

2020:10./ 443p
978-4-16-391281-3
本体 ¥2,200[税込]



日本経済新聞 2020/12/26



夜明けのすべて

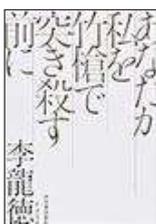
瀬尾 まいこ 著
文藝春秋

PMS(月経前症候群)でイライラが抑えられない美紗は、パニック障害で生きがいの気力も失っている山添に当たってしまう。だが、おせっかい者同士のふたりは...。暗闇に光が差し込む、心に優しい物語。

2020:10./ 266p
978-4-16-401001-3
本体 ¥1,650[税込]



日本経済新聞 2020/12/26



あなたが私を竹槍で突き殺す前に

李 龍徳 著
河出書房新社

日本初、女性“嫌韓”総理大臣誕生。新大久保戦争、「要塞都市」化した鶴橋、そしてヘイトクライム。排外主義が支配する日本で、在日三世の柏木太一は反攻の計画のために人を集め...。『文藝』連載を単行本化。

2020:3./ 376p
978-4-309-02871-2
本体 ¥2,530[税込]



日本経済新聞 2020/12/26



ババヤガの夜

王谷 晶 著
河出書房新社

愛ではない。愛していないから憎みもしない。憎んでないから一緒にいられる。暴力を唯一の趣味とする新道依子は、腕を買われ暴力団会長の一人娘を護衛することになり…。バイオレンスアクション。『文藝』掲載を書籍化。

2020:10./ 181p
978-4-309-02919-1
本体 ¥1,650〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/26



中古典のすすめ

斎藤 美奈子 著
紀伊國屋書店出版部

山崎豊子「白い巨塔」、小松左京「日本沈没」、村上春樹「ノルウェイの森」…。文芸評論家である著者が、ひと昔前のベストセラー48点の賞味期限を判定する。『scripta』連載に加筆修正して単行本化。

2020:8./ 317p
978-4-314-01152-5
本体 ¥1,870〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/26



サンソン回想録～フランス革命を生きた死刑執行人の物語～

オノレ・ド・バルザック 著
国書刊行会

パリの死刑執行人を務める家の4代目当主として、フランス革命期にルイ16世らのべ3000人余を手にかけたシャルル・アンリ・サンソン。サンソン家に代々伝わる資料と直接取材を基に、文豪バルザックが描いた物語を初邦訳。

2020:10./ 329p
978-4-336-06651-0
本体 ¥2,640〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/26



反省記～ビル・ゲイツとともに成功をつかんだ僕が、ビジネスの“地獄”で学んだこと～

西 和彦 著
ダイヤモンド社

マイクロソフト副社長として「帝国」の礎を築き、創業したアスキーを史上最年少で上場。だけど、マイクロソフトからもアスキーからも追い出され、全てを失った…。伝説の起業家が、成功と失敗の秘密を明かす。

2020:9./ 455p
978-4-478-10805-5
本体 ¥1,760〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/26



16歳からはじめてのゲーム理論～“世の中の意思決定”を解き明かす6.5個の物語～

鎌田 雄一郎 著
ダイヤモンド社

経済学の中で最も重要である「ゲーム理論」の思考法を、ネズミ親子のストーリーで身につけることができる本。身近で分かりやすい「小さな社会」を舞台にした6.5個の物語と、詳しい解説を収録する。

2020:7./ 157p
978-4-478-11071-3
本体 ¥1,760〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/26



スティグリッツ PROGRESSIVE CAPITALISM(プログレッシブ・キャピタリズム)～中産階級という生き方はまだ死んでいない～

ジョセフ・E.スティグリッツ、山田 美明 著

東洋経済新報社

「上流エリートか、貧困層か」ではなく、万人を豊かにする進歩的資本主義とは？ 国富を真に生み出すものが何かを示し、経済を強化しながらその利益を公平に分配するための方策を示す。

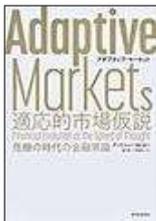
2019:12./ 358p,112p

978-4-492-31523-1

本体 ¥2,640〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/26



ADAPTIVE MARKETS 適応的市場仮説～危機の時代の金融常識～

アンドリュー・W・ロー 著

東洋経済新報社

金融市場は経済法則では動かない。金融市場は人間の進化の産物であり、むしろ生物学の法則で動く。気鋭の経済学者が、社会生物学、進化心理学などを応用した金融の新理論「適応的市場仮説」を提唱する。

2020:5./

11p,618p,71p

978-4-492-65489-7

本体 ¥4,950〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/26



グローバル経済統合と地域集積～循環、成長、格差のメカニズム～

高阪 章 著

日本経済新聞出版社

何が一国の成長と発展をもたらすのか。金融統合と景気循環、貿易統合下の生産性成長と発展戦略、地域集積と格差を分析し、主流派経済政策論の通説を覆し、グローバル化の真実を解き明かす。

2020:6./ 334p

978-4-532-13504-1

本体 ¥5,280〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/26



絶望を希望に変える経済学～社会の重大問題をどう解決するか～

アビジット・V・バナジー／エステル・デュフロ 著

日本経済新聞出版社

貿易戦争、社会格差、移民、環境破壊…。現代の危機において、まともな「よい経済学」は何ができるのか？ 2019年ノーベル経済学賞受賞者が、よりよい世界にするために、経済学にできることを真っ正面から問いかける。

2020:5./ 523p

978-4-532-35853-2

本体 ¥2,640〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/26



女の答えはピッチにある～女子サッカーが私に教えてくれたこと～

キム・ホンビ 著

白水社

女たちは今日も、仕事や家族、そして人生と折り合いをつけながら、サッカー場へ集まる。サッカー初心者の著者が地元の女子チームに入団し、男女の偏見を乗り越え、連帯する大切さを学んで成長していく、抱腹絶倒の体験記。

2020:8./ 266p

978-4-560-09777-9

本体 ¥2,200〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/26



ベストセラーで読み解く現代アメリカ

渡辺 由佳里 著

亜紀書房

アメリカ人の欲望や不安、未来は、ベストセラーを見ればわかる。アメリカで話題になった本 65 冊を紹介し、アメリカのいまを伝える。『ニューズウィーク日本版オフィシャルサイト』連載を中心に単行本化。

2020:2./ 365p

978-4-7505-1626-4

本体 ¥1,980〔税込〕



日本経済新聞 2020/12/26



如何なる花束にも無き花を～歌集～

水原 紫苑 著
本阿弥書店

キリストもブッダも犬にあらざれば信に足りずとおもふ秋かな 物語に歌あるごとくわだつみに森さやぐなりみるめかなしも 2017年9月から2020年5月までの472首を収めた第10歌集。

2020:8./ 186p
978-4-7768-1490-0
本体 ¥2,970[税込]



日本経済新聞 2020/12/26



深きより～二十七の聲～

高橋 睦郎 著
思潮社

稗田阿禮、額田王から、蕪村、河竹黙阿彌まで、古代から近世にいたる先人の霊をして、その詩心を語らしめる。日本語詩歌との長い歳月を結実させた、空前絶後の試み。<三島由紀夫>との交信・対話を付す。

2020:11./ 181p
978-4-7837-3712-4
本体 ¥4,180[税込]



日本経済新聞 2020/12/26



玄牝～高木佳子歌集～

高木 佳子 著
砂子屋書房

うるほへる花群のごと人をりて揺れやまぬなり夏の朝を あたたかき息もことばもなくなりて冬より早くしむらは冷ゆ 生れしめむと身をよぢるとき重たかる胞衣も生みゆく玄牝この地 300余首を収録した第3歌集。

2020:8./ 200p
978-4-7904-1762-0
本体 ¥3,300[税込]



日本経済新聞 2020/12/26



平和構築を支援する～ミンダナオ紛争と和平への道～

谷口 美代子 著
名古屋大学出版会

アジアの代表的地域紛争の和平をいかに実現すべきか。現地支援の豊富な経験と徹底した調査により、分離独立紛争と隠れた実態を解明し、外部主導の支援の限界を示して、現地社会の視点をふまえた平和構築のあり方を考察する。

2020:3./ 8p,381p
978-4-8158-0985-0
本体 ¥6,930[税込]



日本経済新聞 2020/12/26



TOOLS and WEAPONS～テクノロジーの暴走を止めるのは誰か～

ブラッド・スミス／キャロル・アン・ブラウン 著
プレジデント社

マイクロソフトの“法の守護神”が語る、デジタル時代の自由と正義。サイバーセキュリティ、デジタル外交、消費者のプライバシーなど多岐に渡る15のテーマに切り込み、テクノロジーをめぐる喫緊の課題に迫る。

2020:8./ 431p,31p
978-4-8334-2383-0
本体 ¥2,750[税込]



日本経済新聞 2020/12/26



Lilith～歌集～

川野芽生 著
書肆侃侃房

harass とは獵犬をけしかける声その鹿がつかれはてて死ぬまで 叙情の品格、少女神の孤独。端正な古語をもって紡ぎ出される清新の青。2012年から2019年までの374首を収めた第1歌集。

2020:9./ 165p
978-4-86385-419-2
本体 ¥2,200[税込]



日本経済新聞 2020/12/26



すみれそよぐ〜句集〜

神野 紗希 著
朔出版

まばたきの子象よ春はこそばいか こんな日を小春と名付けたる人よ 胎動に覚め金色の冬林檎 鯛焼を割って私は君の母 20 代最後から 30 代半ばにかけての 2012 年夏?2020 年春に作った 344 句を収めた第 3 句集。

2020:11./ 192p
978-4-908978-55-5
本体 ¥2,200[税込]



日本経済新聞 2020/12/26



エレメンツ〜句集〜

鴫田 智哉 著
素粒社

しらはえにあらゆる指を含みたる ぶらんこをからだの骨としてつかふ めくりとるさういふ秋の虹をまた マスクはりついた私があちこちに この部屋が金魚となりの部屋は雨 句集。

2020:11./ 125p
978-4-910413-01-3
本体 ¥1,870[税込]



日本経済新聞 2020/12/26



鳩護(はともり)

河崎秋子 著
徳間書店

ひとり暮らしのベランダに突然、真っ白な鳩がきた。椿が面倒を見はじめて数日後、謎の男から「お前は俺の次の「鳩護」との宣告を受けた。混乱する椿。白鳩は椿の日常を侵食していき…。『読楽』連載を加筆し単行本化。

2020:10./ 274p
978-4-19-865169-5
本体 ¥1,870[税込]



日本経済新聞 2020/12/26、読売新聞 2020/12/27



おおきな森

古川 日出男 著
講談社

小説家兼探偵・坂口安吾が、失踪したコールガールを追う第一の森。記憶を持たない男・丸消須ガルシャが乗った列車で不可解な殺人が起きる第二の森。そして私は手記「消滅する海」をしたため続ける…。『群像』連載を単行本化。

2020:4./ 893p
978-4-06-518739-5
本体 ¥4,400[税込]



日本経済新聞 2020/12/26、日本経済新聞 2020/12/26



池田大作研究〜世界宗教への道を追う〜

佐藤優 著
朝日新聞出版

名誉会長・池田大作の指導によって、世界宗教に発展しつつある創価学会。運命の師との出会い、創価学会と公明党、宗門との決別…。創価学会の内在的理論から、池田大作の人と思想に迫る。『AERA』連載に加除・修正。

2020:10./ 588p
978-4-02-331885-4
本体 ¥2,420[税込]



毎日新聞 2020/12/05



小説禁止令に賛同する(集英社文庫 い 78-2)

いとう せいこう 著
集英社

「小説という作り物を、わたしは徹底的に否定したいのであります」2036 年の日本。わたしが獄中で書いた随筆は、政府が発布した「小説禁止令」を礼讃する内容になるはずだったのだが…。

2020:11./ 190p
978-4-08-744177-2
本体 ¥506[税込]



毎日新聞 2020/12/05



雨・赤毛 改版(新潮文庫 モ-5-8)

モーム、中野 好夫 著
新潮社

布教への情熱に燃える宣教師が任地へ向かう途中、檢疫のために南洋の小島に上陸する。彼はここで同じ船の船客である女の教化に乗りだすが、降り続く雨が彼の理性をかき乱し…。「雨」のほか、短篇全3編を収録する。

毎日新聞 2020/12/05

2012:8./ 213p
978-4-10-213008-7
本体 ¥506〔税込〕



初歩からのシャーロック・ホームズ(中公新書ラクレ 706)

北原 尚彦 著
中央公論新社

1887年「緋色の研究」に登場して以来、世界中で親しまれてきたシャーロック・ホームズ。国と世代を超え、どうしてこれほど人気を保ち続けているのか。日本屈指の研究家がホームズの謎に迫り、魅力を初歩から解説する。

毎日新聞 2020/12/05

2020:11./ 243p
978-4-12-150706-8
本体 ¥968〔税込〕



透明性

マルク・デュガン 著
早川書房

2060年代後期。トランスパランス社の元社長は、個人データを人工的な体に移植し、不老不死を可能とするプログラムの準備を進めていた。それは“考えること”を放棄した人類への最後の抵抗にして、ささやかな願いだった…。

毎日新聞 2020/12/05

2020:10./ 231p
978-4-15-209973-0
本体 ¥2,750〔税込〕



ヒューマン・ネットワーク～人づきあいの経済学～

マシュー・O・ジャクソン 著
早川書房

まわりの人々が作り出すネットワークが、あなたの収入、健康、幸福度を決定している！学校の友達や同僚から、中世社会の構造や伝染病まで、スタンフォード大学の教授があらゆる事象を支配する「つながり」の法則を伝授する。

毎日新聞 2020/12/05

2020:11./ 343p
978-4-15-209980-8
本体 ¥2,200〔税込〕



孔丘

宮城谷 昌光 著
文藝春秋

母の死、息子との対立、老境の旅路…。『論語』に描かれる神格化された姿ではなく、不運や失意にも苛まれた人間・孔子の波瀾万丈を書いた大河小説。『文藝春秋』『オール讀物』連載を単行本化。

毎日新聞 2020/12/05

2020:10./ 578p
978-4-16-391270-7
本体 ¥2,200〔税込〕



安倍・菅政権 vs. 検察庁～暗闘のクロニクル～

村山 治 著
文藝春秋

2016年に勃発した官邸 vs. 検察庁の人事抗争から、2020年黒川検事長の定年延長騒動まで、その暗闘の裏側を、極秘情報を駆使して描き出す。インターネット新聞『法と経済のジャーナル』ほか掲載を書籍化。

毎日新聞 2020/12/05

2020:11./ 287p
978-4-16-391294-3
本体 ¥1,760〔税込〕





ミルクマン

アンナ・バーンズ 著
河出書房新社

政治、宗教、暴力で分断された 70 年代終わりの北アイルランド。ベルファストに住む名前の無い主人公が、18 歳のときに「ミルクマン」なる男の目にとまり、つきまといられて心身ともに壊れそうになる約 2 か月間の物語。

2020:11./ 391p
978-4-309-20813-8
本体 ¥3,740[税込]



毎日新聞 2020/12/05



源氏物語の楽しみかた(祥伝社新書 618)

林 望 著
祥伝社

「源氏物語」全五十四帖の現代語訳「謹訳源氏物語」(全十巻)の著者が、「源氏物語」の味わい方を徹底解説。現代語訳を進める際に残したメモをもとに、名文、名場面など、面白く読むためのヒントを 13 の視点でまとめる。

2020:12./ 359p
978-4-396-11618-7
本体 ¥1,100[税込]



毎日新聞 2020/12/05



謹訳源氏物語<10> 改訂新修(祥伝社文庫 は 18-10)

紫式部、林 望 著
祥伝社

原典の持つ深く豊かな文学世界を、正確な解釈と自然な口語訳で、現代小説のようにすらすら読める源氏物語。10 は、浮舟、蜻蛉、手習、夢浮橋を収録。訳者のひとこと、登場人物関係図、千住博による解説なども掲載。

2019:11./ 491p
978-4-396-31772-0
本体 ¥1,012[税込]



毎日新聞 2020/12/05



「色のふしぎ」と不思議な社会～2020 年代の「色覚」原論～

川端 裕人 著
筑摩書房

こじれてしまった色覚問題-。「正常/異常」に線引きする色覚検査が復活したのはなぜ? 先天色覚異常の当事者である科学作家が、専門家と目される眼科医、色覚にかかわる研究者などを取材し、先端科学の色覚観に迫る。

2020:10./ 348p
978-4-480-86091-0
本体 ¥2,090[税込]



毎日新聞 2020/12/05



「明治」という遺産～近代日本をめぐる比較文明史～

瀧井 一博 編
ミネルヴァ書房

驚嘆すべきスピードで統一的国民国家を築き、世界の一等国にのしあがった明治日本。そのような世界史的に稀有な時代を可能とした思想と条件とは何だったのか。人類社会の遺産として明治を考え直す。

2020:10./
20p,562p,5p
978-4-623-08834-8
本体 ¥9,350[税込]



毎日新聞 2020/12/05



ビジュアル版 考古学ガイドブック(シリーズ「遺跡を学ぶ」別冊 05)

小野 昭 著
新泉社

世紀の新発見、太古の人びとの暮らしの解明...夢やロマンをかきたてるようにいわれる考古学。だが、実際の研究はどうなのか。考古学とはどのような学問で、何を明らかにしようとしているのか、ビジュアルに解説する。

2020:11./ 93p
978-4-7877-2030-6
本体 ¥1,760[税込]



毎日新聞 2020/12/05



わかめとなみとむげんのものごたり(torch comics)

リード社
毎日新聞 2020/12/05

2020:10./ 165p
978-4-8458-6053-1
本体 ¥4,180〔税込〕



マナーはいらない～小説の書きかた講座～

三浦 しをん 著
集英社
長編・短編を問わず、小説を「書く人」「書きたい人」に向けて、人称、構成、推敲などの基本から、タイトルのつけ方や取材方法まで解説する。『Web マガジン Cobalt』連載を改題、加筆・修正。

2020:11./ 261p
978-4-08-790015-6
本体 ¥1,760〔税込〕



毎日新聞 2020/12/05、東京・中日新聞 2020/12/06、朝日新聞 2020/12/19



風の溪(徳間文庫 南アルプス山岳救助隊 K-9 ひ 24-7)

樋口 明雄 著
徳間書店
山ガールとなった人気アイドル安西友梨香が番組の収録で北岳に登ることになった。南アルプス山岳救助隊員・星野夏実が友梨香を取り巻いていた登山客のひとり
に不審を抱き…。山岳救助隊員と救助犬、最強バディが北岳を駆ける!

2020:11./ 410p
978-4-19-894581-7
本体 ¥814〔税込〕



毎日新聞 2020/12/06



ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人

東野 圭吾 著
光文社
ほとんどの人が訪れたことのない平凡で小さな町。寂れた観光地。ようやく射した希望の光をコロナが奪い、さらに殺人事件が発生。颯爽とあらわれた黒い魔術師が知恵と仕掛けを駆使して、犯人と警察に挑む。

2020:11./ 439p
978-4-334-91372-4
本体 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2020/12/06



医療倫理(1冊でわかる)

トニー・ホープ、児玉 聡、赤林 朗 著
岩波書店
安楽死などの従来の問題に加えて、新たに出現した医療問題を取り上げ、それらを合理的に考える手法をわかりやすく解説。考え方の筋道を吟味する(クリティカル・シンキング)訓練を行う、医療倫理の簡潔な入門書。

2007:3./ 171, 21p
978-4-00-026891-2
本体 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2020/12/12



漱石と鉄道(朝日選書 996)

牧村健一郎 著
朝日新聞出版
汽車で各地を旅する近代の申し子でありながら、鉄道を通じて、競争、能率、スピード、利便性、成果主義の近代文明のあやうさ、戦争の愚かしさを語った夏目漱石。鉄道を憎みつつ愛した漱石の汽車旅の足跡を路線ごとにたずねる。

2020:4./ 313p
978-4-02-263096-4
本体 ¥1,870〔税込〕



毎日新聞 2020/12/12



ヨーロッパ世界の誕生～マホメットとシャルルマーニュ～(講談社学術文庫 2620)

ピレンヌ アンリ 著
講談社

イスラムの急激な進出により分断と終焉を迎えたローマ文化。文明の枢軸は地中海から北方へと移り、封建制と教会支配の「ヨーロッパ」が誕生した。西洋世界の転換点を解明する、歴史家ピレンヌの集大成にして古典的名著。

2020:7./ 505p
978-4-06-520289-0
本体 ¥1,859[税込]



毎日新聞 2020/12/12



人間とは何か～偏愛的フランス文学作家論～

中条 省平 著
講談社

サド、ランボー、カミュ…。フランス文学者・中条省平が自身の「文学による感情教育」を語りつつ、フランス文学史を彩る 31 名の作家たちを通して、人間精神の多様な運動の軌跡を描き出す。『群像』連載を改題して単行本化。

2020:9./ 599p
978-4-06-520899-1
本体 ¥3,850[税込]



毎日新聞 2020/12/12



アフター・リベラル～怒りと憎悪の政治～(講談社現代新書 2588)

吉田 徹 著
講談社

オルタナ右翼、権威主義の台頭、ヘイトクライム、歴史認識問題、テロリズム…。なぜ怒りや敵意が政治の世界で繰り広げられるのか？ 戦後秩序を形成したリベラリズム崩壊後の地殻変動の深淵を抉り出す。

2020:9./ 317p
978-4-06-520924-0
本体 ¥1,100[税込]



毎日新聞 2020/12/12



変われ! 東京～自由で、ゆるくて、閉じない都市～(集英社新書 1028)

隈 研吾／清野 由美 著
集英社

建築家・隈研吾とジャーナリスト・清野由美が、東京を歩き、語る都市論。シェアハウス、トレーラーの移動店舗、木造バラックの再生など「小さな場所」の可能性を探り、コロナ後の都市生活者の生き方に新しい方向を示す。

2020:7./ 253p
978-4-08-721128-3
本体 ¥946[税込]



毎日新聞 2020/12/12



東京裏返し～社会学的街歩きガイド～(集英社新書 1033)

吉見 俊哉 著
集英社

上野、秋葉原、本郷、谷中…。今の東京から、過去の時間の豊かな痕跡を掘り返す。都心北部を7日間で巡る、知的興奮にあふれた旅。詳細地図つき。『すばる』連載を大幅に加筆修正。

2020:8./ 348p
978-4-08-721133-7
本体 ¥1,078[税込]



毎日新聞 2020/12/12



坂下あたると、しじょうの宇宙

町屋 良平 著
集英社

詩を書く高校生の毅は、小説の才能がある親友あたるとに嫉妬していた。ある日、小説投稿サイトにあたるの作風を模倣した AI による偽アカウントが作られ、オリジナルの面白さを超え始め…。『小説すばる』連載を単行本化。

2020:2./ 233p
978-4-08-771693-1
本体 ¥1,760[税込]



毎日新聞 2020/12/12



小鳥、来る

山下 澄人 著
中央公論新社

9歳のおれは、父を倒す日をじっと待っている。勉強ができるまーちゃん、毎日万引きをするしらとり兄弟…。笑えるのに切ない、小さな子どもたちの夏休みを描く。『アンデル 小さな文芸誌』連載に加筆修正し単行本化。

2020:3./ 202p
978-4-12-005280-4
本体 ¥1,870[税込]



毎日新聞 2020/12/12



クレメント・アトリー～チャーチルを破った男～(中公選書 109)

河合 秀和 著
中央公論新社

1945年、アトリー率いる労働党は第二次大戦の勝利の立役者チャーチルを抑え、総選挙で圧勝した。現在のイギリス社会の基礎を築き、今なお評価の高いアトリー政権。労働党をまとめ、社会主義を信じ続けたアトリーの評伝。

2020:7./ 374p
978-4-12-110109-9
本体 ¥2,200[税込]



毎日新聞 2020/12/12



魚食の人類史～出アフリカから日本列島へ～(NHK ブックス 1264)

島 泰三 著
NHK出版

霊長類の中でホモ・サピエンスだけが魚を食べる本当の理由とは？ 飢えを満たし、交通手段を発展させ、新たな文化を生み出した原動力を、他の霊長類との比較や、最新の人類史研究の成果を総動員しながら探る。

2020:7./ 238p
978-4-14-091264-5
本体 ¥1,540[税込]



毎日新聞 2020/12/12



コロナの時代の僕ら

パオロ・ジョルダノーノ 著
早川書房

この災いに立ち向かうために、僕らは何をするべきだったのだろう。何をしていたいなかったのだろう。そしてこれから、何をしたらよいのだろう。コロナの時代を生きる人々に、イタリア人作家が贈る痛切で誠実なエッセイ集。

2020:4./ 126p
978-4-15-209945-7
本体 ¥1,430[税込]



毎日新聞 2020/12/12



戦争と法

長谷部 恭男 著
文藝春秋

戦争の攻撃目標は相手の国家の社会契約、つまり憲法原理である。朝鮮戦争、フォークランド紛争、テロとの戦い等を取り上げ、近現代史における戦争のダイナミックな質的変容を、法の視点から浮き彫りにする。

2020:7./ 223p
978-4-16-391238-7
本体 ¥1,760[税込]



毎日新聞 2020/12/12



私が愛したトマト

高樹 のぶ子 著
潮出版社

一つの火鉢に、有為転変の来歴を与える「旅する火鉢」。作家を思わせる語り手の女性が、人生の折々に鮮烈に現われたトマトとの関わりを追想する表題作など、全11篇を収録する。『文學界』他掲載に書き下ろしを加え書籍化。

2020:7./ 259p
978-4-267-02252-4
本体 ¥1,980[税込]



毎日新聞 2020/12/12



日本小説批評の起源

渡部 直己 著
河出書房新社

小説批評の源流を求めて馬琴から「水滸伝」の注釈者・金聖嘆の「漢文」へと遡行しつつ、「源氏物語」「古事記」の宣長より逍遙、小林秀雄へといたる「和声」の系譜を切り崩し、日本の批評/文学史を根底から解体・再構成する。

毎日新聞 2020/12/12

2020:6./ 288p
978-4-309-02888-0
本体 ¥3,740〔税込〕



破局

遠野 遥 著
河出書房新社

私を阻むものは、私自身にほかならない。ラグビー、筋トレ、恋とセックス。ふたりの女を行き来する、いびつなキャンパスライフ。『文藝』掲載を単行本化。

毎日新聞 2020/12/12

2020:7./ 141p
978-4-309-02905-4
本体 ¥1,540〔税込〕



緊急提言 パンデミック～寄稿とインタビュー～

ユヴァル・ノア・ハラリ 著
河出書房新社

本当は何が起きているのか、コロナ後をいかに生きるべきか。新型コロナウイルス感染症のパンデミックという世界的危機の中で、知の巨人が発したメッセージ。英米の有力紙への寄稿とNHKで放送されたインタビューをまとめる。

毎日新聞 2020/12/12

2020:10./ 125p
978-4-309-22810-5
本体 ¥1,430〔税込〕



ルソーの戦争/平和論～『戦争法の諸原理』『サン=ピエール師の永久平和論抜粋』『永久平和論批判』完全版訳と解説～

ブリュノ・ベルナルディ/ガブリエッラ・シルヴェストリーニ 編
ジャン=ジャック・ルソー 著

勁草書房

断片化した草稿を綿密なテキスト生成研究により校訂、ルソーが意図していた形に復元。「戦争法の諸原理」に「永久平和論抜粋・批判」の新訳を合わせ解説も加えて、ルソーの戦争/平和論に迫る。

毎日新聞 2020/12/12

2020:7./ 7p,388p,39p
978-4-326-10281-5
本体 ¥6,270〔税込〕



みずうみ/三色すみれ/人形使いのポーレ(光文社古典新訳文庫 KAシ9-1)

シュトルム 著
光文社

幼なじみとの初恋とその後日を回想する「みずうみ」。継母と前妻の娘との心の揺れを描く「三色すみれ」。旅芸人一座との出会いと別れ、そして思いがけず再会する「人形使いのポーレ」。繊細な心理描写で綴る傑作3篇。

毎日新聞 2020/12/12

2020:5./ 245p
978-4-334-75424-2
本体 ¥924〔税込〕



ポストトゥルース

リー・マッキンタイア/居村 匠 著
人文書院

フェイクニュース、オルタナティブファクト...、力によって事実が歪められる時代はいつから始まったのか。政治や社会への広範なリサーチと、人間の認知メカニズム、メディアの変容など様々な角度からの考察で時代の核心に迫る。

毎日新聞 2020/12/12

2020:9./ 271p
978-4-409-03110-0
本体 ¥2,640〔税込〕





外交官の文章～もう一つの近代日本比較文化史～

芳賀 徹 著
筑摩書房

攘夷・開国から日清・日露の戦役を経て開戦まで。久米邦武、陸奥宗光、小村寿太郎、吉田茂など、国運を一身に背負い、「言葉による戦争」を最前線で担った人々の記録と回想を読み解く。『外交フォーラム』連載を元に単行本化。

2020:6./ 433p,8p
978-4-480-86119-1
本体 ¥3,520〔税込〕



毎日新聞 2020/12/12



義理と人情の経済学

山村 英司 著
東洋経済新報社

人間はなぜ、効率やお金を重視しない行動をとるのか。「義理と人情に左右される人間行動」を、気鋭の経済学者が「共感」「嫉妬」「利他」「幸福感」に注目してデータ分析。ロジカルで合理的な人がはまる落とし穴がわかる一冊。

2020:3./ 214p,6p
978-4-492-31527-9
本体 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2020/12/12



業平～小説伊勢物語～

高樹 のぶ子 著
日本経済新聞出版社

美しい要望と色好みで知られる在原業平の一代記。千年前から読み継がれる歌物語の沃野に分け入り、小説に紡ぐことで日本の美の源流が立ち現れた。『日本経済新聞』連載を単行本化。

2020:5./ 458p 図版
16p
978-4-532-17156-8
本体 ¥2,420〔税込〕



毎日新聞 2020/12/12



ワカタケル

池澤 夏樹 著
日本経済新聞出版社

形のないものが形あるものになった、実在した天皇とされる 21 代雄略の御代。日本人の心性はこの頃始まった。言葉の魂を揺さぶり、古代から?がる「日本語」という文体の根幹に接近する。『日本経済新聞』連載を単行本化。

2020:9./ 429p
978-4-532-17158-2
本体 ¥2,200〔税込〕



毎日新聞 2020/12/12



戦後憲法学の70年を語る～高橋和之・高見勝利憲法学との対話～

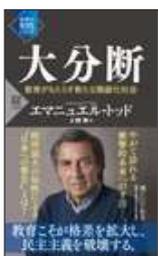
宍戸常寿／林 知更／小島慎司／西村裕一 著
日本評論社

施行から70年を超え、激動の2010年代に刻んだ憲法学の里程碑。日本憲法学の発展を長年リードしてきた高橋和之と高見勝利に、中堅世代の4人が、その学問のあゆみと神髄を聞く。4人の聞き手の解題も収録。

./ 11p,309p
978-4-535-52453-8
本体 ¥4,950〔税込〕



毎日新聞 2020/12/12



大分断～教育がもたらす新たな階級化社会～(PHP新書 1229)

エマニュエル・トッド 著
PHP研究所

教育こそが格差を拡大し、民主主義を破壊する。民主主義が危機に瀕する先進各国で起きている分断の本質を、家族構造が能力主義・民主主義に及ぼす影響や地政学的要素を鑑みながら読み解く。

./ 195p
978-4-569-84684-2
本体 ¥990〔税込〕



毎日新聞 2020/12/12



壊れた世界の者たちよ(ハーパーBOOKS M・ウ 3・5)

ドン・ウインズロウ 著
ハーパーコリンズ・ジャパン

ニューオーリンズ市警最強の麻薬班を率いるジミーは、ある手入れの報復に弟を惨殺され復讐の鬼と化す。壊れた魂の暴走を描いた表題作ほか全6篇を収録。アメリカの「今」を活写した、犯罪小説の巨匠による傑作中篇集。

./ 733p
978-4-596-54139-0
本体 ¥1,420[税込]



毎日新聞 2020/12/12



反穀物の人類史～国家誕生のディープヒストリー～

ジェームズ・C.スコット、立木 勝 著
みすず書房

豊かな採集生活を謳歌した「野蛮人」は、いかにして古代国家に家畜化されたのか？ 国家形成における穀物の役割とは？ 農業国家による強制の手法とは？ 考古学、人類学などの最新成果をもとに、壮大な仮説を提示する。

./ 15p,232p,42p
978-4-622-08865-3
本体 ¥4,180[税込]



毎日新聞 2020/12/12



「第二の不可能」を追い！～理論物理学者、ありえない物質を求めてカムチャツカへ～

ポール・J・スタインハート 著
みすず書房

不可能に挑む研究は最高に面白い！ 凄腕の理論物理学者とその仲間たちが、物質科学の新機軸を追い、幾何学、物性物理学、鉱物学などを渡り歩いてカムチャツカへ。上質な研究のスリルと興奮を凝縮した科学ノンフィクション。

./ 365p,8p
978-4-622-08934-6
本体 ¥3,740[税込]



毎日新聞 2020/12/12



「発達障害」とされる外国人の子どもたち～フィリピンから来日したきょうだいをめぐる、10人の大人たちの語り～

金 春喜 著
明石書店

いま教育現場では、日本語がわからない外国ルーツの子どもが「発達障害」と診断され、特別支援学級に編入されるケースが増えている。この問題のメカニズムと背景を明らかにし、日本の外国人支援政策の陥穽を問う。

./ 253p
978-4-7503-4972-5
本体 ¥2,420[税込]



毎日新聞 2020/12/12



カストロフ前夜～パリで3・11を経験すること～

関口 涼子 著
明石書店

世界で日々起きている破局的な出来事。その狭間を自分も生きている。身近な人の大切な時に立ち会えなかった作家に大震災がもたらした、生者と死者とを結ぶ思想とは。フランスで出版した3冊の本をまとめた邦訳版。

./ 251p
978-4-7503-4977-0
本体 ¥2,640[税込]



毎日新聞 2020/12/12



エリアス・カネッティ『群衆と権力』の軌跡～群衆論の系譜と戯曲集を手がかりに～

樋口 恵 著
晃洋書房

ユダヤ系のドイツ語作家カネッティ。その主著「群衆と権力」は、「ファシズムの根源を暴くこと」を目的に書かれた。群衆とは一体何で、それはいかにして権力と結びつくのか。カネッティの思想の軌跡を辿る。

:/ 5p,238p
978-4-7710-3382-5
本体 ¥4,290〔税込〕

毎日新聞 2020/12/12



『資本論』エッセンス 全 2 巻～全三巻徹底読解～

鎌倉孝夫 著
時潮社

「資本論」全 3 巻を、第 2 巻・第 3 巻のマルクス自身の草稿も含めて読解。「資本論」における資本主義経済を構成する諸要因に関する概念と概念間の関連などを読み解き、「資本論」の論理の発展・純化を明らかにする。

:/
978-4-7888-0746-4
本体 ¥13,200〔税込〕

毎日新聞 2020/12/12



加藤周一を 21 世紀に引き継ぐために～加藤周一生誕百年記念国際シンポジウム講演録～

三浦 信孝、鷺巣 力 編
水声社

加藤周一の生誕 100 年を記念し、2019 年 9 月に開催された国際シンポジウム「加藤周一の知的遺産と世界の中の日本」「東アジアにおける加藤周一」での講演やパネルディスカッションなどを収録する。

:/ 456p
978-4-8010-0513-6
本体 ¥6,600〔税込〕

毎日新聞 2020/12/12



専門知を再考する

H・コリンズ/R・エヴァンズ 著
名古屋大学出版会

科学技術の浸透した世界で物事を決めるとき、専門家を無視することも、絶対的に信頼することもできない。会話や「農民の知」から、査読や科学プロジェクト運営まで、専門知の多様なあり方を初めてトータルに位置づける。

:/ 7p,179p,30p
978-4-8158-0986-7
本体 ¥4,950〔税込〕

毎日新聞 2020/12/12



スミスの倫理～『道徳感情論』を読む～

竹本 洋 著
名古屋大学出版会

スミス倫理学の真の射程とは。近代における倫理のメカニズムと意義を明瞭に説き、政治・経済・社会のよき運用を支える心理学的な人間学を打ち立てた、もうひとつの主著「道徳感情論」から描き出す。

:/ 7p,222p,29p
978-4-8158-0990-4
本体 ¥5,940〔税込〕

毎日新聞 2020/12/12



なぜ「よそ者」とつながることが最強なのか～生存戦略としてのネットワーク経済学入門～

戸堂 康之 著
プレジデント社

グローバル化で経済は成長するのか。所得格差は拡大するのか。ネットワーク経済学や、社会心理学、行動経済学の研究成果をフルに活用し、今後激動する世界で個人や企業が生存し成長していくためにとるべき戦略を提示する。

./ 223p,14p
978-4-8334-2392-2
本体 ¥1,870[税込]

毎日新聞 2020/12/12



新たなミサイル軍拡競争と日本の防衛～INF 条約後の安全保障～

森本 敏／高橋 杉雄／戸崎 洋史 著
並木書房

INF 条約失効後、米国は新たな中距離ミサイルの開発に着手し、日本への配備もあり得る。中国をいかにして軍備管理の枠組みに組み入れるか？ポスト INF 時代の安全保障について専門家が多面的に分析・検討する。

./ 386p
978-4-89063-401-9
本体 ¥2,640[税込]

毎日新聞 2020/12/12



山田稔自選集<3>

山田 稔 著
編集工房ノア

初めてのパリ、シャルル＝ルイ・フィリップの生地でのシモーヌさんとの出会いと別れ、スコットランド北端で知った人の情け…。さまざまな心の触れ合いを静かに回想する散文を収録。自筆年譜付き。

./ 331p
978-4-89271-332-3
本体 ¥2,530[税込]

毎日新聞 2020/12/12



佐藤鬼房俳句集成<第1巻> 全句集

高野 ムツオ 編
佐藤 鬼房 著
朔出版

辺境にありながら、辺境を超える普通の詩を生涯求め続けた俳人、佐藤鬼房の俳句を集成。第1巻は、第1句集「名もなき日夜」から第14句集「幻夢」までの既刊句集全14冊、5230句を完全収録する。

./ 665p
978-4-908978-34-0
本体 ¥14,300[税込]

毎日新聞 2020/12/12



レスコフ作品集<1> 左利き(ロシア名作ライブラリー 14)

レスコフ 著
群像社

ロシアの「言葉の芸術家」レスコフの作品集。1 は、ロシア皇帝の難題を見事な腕前で成し遂げる職人を描いた「左利き」をはじめ、「ニヒリストとの旅」「老いたる天才」など全4編を収録する。

./ 221p
978-4-910100-04-3
本体 ¥1,100[税込]

毎日新聞 2020/12/12



魂の邂逅～石牟礼道子と渡辺京二～

米本 浩二 著
新潮社

作家・石牟礼道子と、その全活動を支えた編集者・渡辺京二。ふたりの半世紀にわたる共闘と愛を、秘められた日記や書簡、発言から跡づける。『新潮』連載を改稿し、書下ろしを加え単行本化。

./ 250p
978-4-10-350822-9
本体 ¥1,980[税込]



毎日新聞 2020/12/12、朝日新聞 2020/12/19



五輪と戦後～上演としての東京オリンピック～

吉見 俊哉 著
河出書房新社

日本にとって五輪とはいったい何なのか？ ポスト戦争の時代に整えられた東京オリンピックの舞台。聖火リレーという演出、国民的英雄を生んだ競技という上演、そして再演…。五輪というドラマを活写し、戦後日本の呪縛を解く。

./ 366p
978-4-309-25405-0
本体 ¥2,860[税込]



毎日新聞 2020/12/12、朝日新聞 2020/12/19



ザリガニの鳴くところ

ディーリア・オーエンズ 著
早川書房

家族に見捨てられながらも、広大な湿地でたったひとり生きる少女に、ある殺人の容疑がかかり…。みずみずしい自然に抱かれて生きる少女の成長と不審死事件が絡み合い、思いもよらぬ結末へと物語が動き出す。

./ 511p
978-4-15-209919-8
本体 ¥2,090[税込]



毎日新聞 2020/12/12、朝日新聞 2020/12/26



金閣を焼かなければならぬ～林養賢と三島由紀夫～

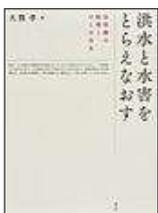
内海 健 著
河出書房新社

今から 70 年前、「美への嫉妬」とつぶやいた青年僧が、金閣に火を放った。彼に何があったのか。三島由紀夫は、期せずして、その真理を作品の中に描き出した…。狂気に秘められた真相を追究・分析するノンフィクション。

./ 223p
978-4-309-25413-5
本体 ¥2,640[税込]



毎日新聞 2020/12/12、朝日新聞 2020/12/26



洪水と水害をとらえなおす～自然観の転換と川との共生～

大熊 孝 著
農文協プロダクション

人は自然と切れて存在することはできない。日本人の伝統的な自然観に迫りつつ、今日頻発する水害の実態と今後の治水のあり方を論じ、ローカルな自然に根ざした自然観の再生と川との共生を展望する。大熊河川工学集大成の書。

./ 281p
978-4-540-20139-4
本体 ¥2,970[税込]



毎日新聞 2020/12/12、朝日新聞 2020/12/26



新型コロナ対応・民間臨時調査会～調査・検証報告書～

一般財団法人アジア・パシフィック・イニシアティブ 著
ディスカヴァー・トゥエンティワン

グローバル・パンデミックに備えるベスト・プラクティスと課題は何か。新型コロナウイルス感染症に対する日本政府の対応と措置を中心に検証。日本の取り組みに特徴的な「日本モデル」にも触れる。

./ 466p
978-4-7993-2680-0
本体 ¥2,750[税込]



毎日新聞 2020/12/12、朝日新聞 2020/12/26



百年と一日

柴崎 友香 著
筑摩書房

地下街にはたいい噴水が数多くあり、その地下の噴水広場は待ち合わせ場所で、何十年前も、数年後も、誰かが誰かを待っていた。人生と時間を描く新感覚物語集。『ちくま』連載に書き下ろしを加え書籍化。

./ 185p
978-4-480-81556-9
本体 ¥1,540〔税込〕



毎日新聞 2020/12/12、朝日新聞 2020/12/26、読売新聞 2020/12/27



ブルシット・ジョブ～クソどうでもいい仕事の理論～

デヴィッド・グレーバー 著
岩波書店

なぜ社会の役に立つ仕事ほど低賃金なのか。私たちの世界をむしばむブルシット・ジョブ(クソどうでもいい仕事)の実態と弊害とメカニズムを、証言・人文知等を駆使しながら解明、理論化。仕事のほんとうの「価値」を再考する。

./ 7p,426p,7p
978-4-00-061413-9
本体 ¥4,070〔税込〕



毎日新聞 2020/12/12、朝日新聞 2020/12/26、日本経済新聞 2020/12/26



人新世の「資本論」(集英社新書 1035)

斎藤 幸平 著
集英社

気候変動、コロナ禍…。人類の経済活動が地球を破壊する「人新世」=環境危機の時代。唯一の解決策は、潤沢な脱成長経済である。晩期マルクスの思想をヒントに、危機の解決策と豊かな未来社会への道筋を具体的に描きだす。

./ 375p
978-4-08-721135-1
本体 ¥1,122〔税込〕



毎日新聞 2020/12/12、読売新聞 2020/12/13



pray human

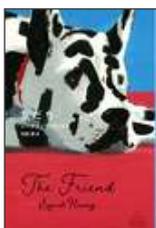
崔 実 著
講談社

デビュー作が芥川賞候補になったわたしは、あることをきっかけに封印した記憶を甦らせていく。精神病棟で出会った仲間たちとの日々、救えなかった親友、そして。魂の再生を描いた物語。『群像』掲載を加筆修正して単行本化。

./ 237p
978-4-06-520205-0
本体 ¥1,650〔税込〕



毎日新聞 2020/12/12、読売新聞 2020/12/20



友だち(CREST BOOKS)

シーグリッド・ヌーネス 著
新潮社

誰よりも心許せる男友だちが命を絶ち、喪失感を抱えた女性作家。そこに男が飼っていた巨大な老犬が転がり込んできた。狭いアパートで寄り添うふたつの孤独は、言葉をかき消さない友情でかたく結ばれてゆき…。

./ 253p
978-4-10-590163-9
本体 ¥2,200〔税込〕



毎日新聞 2020/12/12、読売新聞 2020/12/27



女帝小池百合子

石井 妙子 著
文藝春秋

女性初の都知事であり、女性初の総理候補とされる小池百合子。キャスターから政治の道へ、男性社会にありながら常に「風」を巻き起こし、権力の頂点を目指す彼女の数奇な半生、つきまとう疑惑を、綿密な取材で描き切る。

./ 444p
978-4-16-391230-1
本体 ¥1,650〔税込〕



毎日新聞 2020/12/12、読売新聞 2020/12/27



ベージュ

谷川 俊太郎 著
新潮社

誕生と死。時間。途上の感覚。忘却の快感。声のひびき…。88歳を迎えた詩人・谷川俊太郎が70年に及ぶ詩作から自選し、書き下ろしを加えた31篇を収めた詩集。

毎日新聞 2020/12/12、日本経済新聞 2020/12/26

./ 109p

978-4-10-401807-9

本体 ¥1,650〔税込〕



日本のセーフティーネット格差～労働市場の変容と社会保険～

酒井 正 著
慶應義塾大学出版会

誰が「皆保険」から漏れ落ちているのか。社会保険を中心とするセーフティーネットが直面している課題を、「就業」という切り口から検討。今後の改革のための指針をエビデンスをもとに模索する。

毎日新聞 2020/12/12、日本経済新聞 2020/12/26

./ 18p,331p

978-4-7664-2649-6

本体 ¥2,970〔税込〕



飼いならず～世界を変えた10種の動植物～

アリス・ロバーツ 著
明石書店

ヒトが動植物を手なずけたことで、文明が始まり、歴史が変わった。考古学や最新の遺伝学の知見等も織り交ぜながら、飼いならした自然と、われわれ自身に対する責任を問い、サピエンスの原罪を鮮やかにあぶり出す。

毎日新聞 2020/12/12、毎日新聞 2020/12/12

./ 443p

978-4-7503-5085-1

本体 ¥2,750〔税込〕



日没

桐野 夏生 著
岩波書店

小説家・マツ夢井に政府組織から召喚状が届き、彼女は断崖に建つ海辺の療養所へと収容される。「社会に適応した小説」を書けと命じられるが…。表現の不自由の近未来を描く、警世小説。『文学』『世界』掲載を加筆し書籍化。

毎日新聞 2020/12/12、毎日新聞 2020/12/19

./ 329p

978-4-00-061440-5

本体 ¥1,980〔税込〕



石坂洋次郎の逆襲

三浦 雅士 著
講談社

石坂洋次郎は少しも終わっていない、むしろ今こそ話題にされなければならない。折口信夫、宮本常一、エマニュエル・トッドらが浮かび上がらせる、おもしろくも深い石坂文学の新世界。『東奥日報』連載を加筆し単行本化。

毎日新聞 2020/12/12、毎日新聞 2020/12/19

./ 301p

978-4-06-518601-5

本体 ¥2,970〔税込〕



白い病(岩波文庫 32-774-3)

カレル・チャペック 著
岩波書店

戦争目前の世界で、突如「雪崩のように」流行り始めた未知の疫病。そこへ特効薬を発見したという貧しい町医者が現れるが、施療に際し、彼は一つだけ条件を提示した。1937年刊行の名作 SF 戯曲。

毎日新聞 2020/12/19

./ 189p

978-4-00-327743-0

本体 ¥638〔税込〕





戦国の忍び(角川新書 K-333)

平山 優 著
KADOKAWA

史料に残された忍びにまつわる記述を丹念に読み解くことで見えてきたのは、夜の戦場で活躍する忍びの姿と、昼夜を分かたずに展開される熾烈な攻防戦だった。武田氏、真田氏研究の第一人者が、忍びの驚きの実態を明かす。

毎日新聞 2020/12/19

./ 350p
978-4-04-082359-1
本体 ¥990〔税込〕



進化のからくり～現代のダーウィンたちの物語～(ブルーバックス B-2125)

千葉 聡 著
講談社

「進化のからくり」の解明に魅せられた進化生物学者たちの知的なワンダーランドを、気鋭の進化生物学者が描く。進化をめぐる謎解きのストーリーと人間ドラマを楽しめる一冊。『本』連載を改題、再構成し、加筆・修正。

毎日新聞 2020/12/19

./ 262p
978-4-06-518721-0
本体 ¥1,100〔税込〕



現代民主主義思想と歴史(講談社選書メチエ 740)

権左 武志 著
講談社

なぜ民主主義は繰り返し独裁を生み出してしまうのか。フランス革命から 2 つの大戦、冷戦を経て、自国第一主義が吹き荒れる現在まで、民主主義とその双子ともいふべきナショナリズム 230 年の激動を骨太に描き出す。

毎日新聞 2020/12/19

./ 288p
978-4-06-522044-3
本体 ¥2,035〔税込〕



焼け跡の高校教師(集英社文庫 お 86-1)

大城 立裕 著
集英社

戦後占領下の沖縄。日本の影響を受けないここで、国語ではなく「文学」を教えたいと考えた高校教師は…。物はなくても、開放感に満ち溢れた時代の少年少女と教師を描いた自伝的小説。『web 集英社文庫』掲載を加筆し文庫化。

毎日新聞 2020/12/19

./ 190p
978-4-08-744118-5
本体 ¥550〔税込〕



オレの東大物語～1966-1972～

加藤 典洋 著
集英社

東大はクソだ！ 強靱な思想を展開した不世出の文芸評論家の原点は、東大闘争の中で幾分「地味」な文学部闘争にあった。全く新しい文体で書き遺した唯一無二の青春記。

毎日新聞 2020/12/19

./ 253p
978-4-08-789014-3
本体 ¥1,760〔税込〕



音楽の肖像

谷川 俊太郎 著
小学館

バッハ、モーツァルト、ベートーヴェンから、ストラヴィンスキー、エリック・サティまで。堀内誠一が遺した色彩豊かな 28 人の作曲家の肖像とエッセイに、谷川俊太郎が詩を添えた、宝石のような一冊。

毎日新聞 2020/12/19

./ 157p
978-4-09-388785-4
本体 ¥2,750〔税込〕





邦人奪還～自衛隊特殊部隊が動くとき～

伊藤 祐靖 著
新潮社

騒乱に乘じミサイル発射を企む北の軍部に対し、米国はピンポイント爆撃へと動きだす。だが、その標的近くには、日本拉致被害者が…。政府の動きから作戦行動の詳細までをシミュレーションしたドキュメント・ノベル。

./ 254p
978-4-10-351992-8
本体 ¥1,760〔税込〕



毎日新聞 2020/12/19



談話集 勸三郎の死～劇場群像と舞台回想～

中村 哲郎 著
中央公論新社

何と言っても、いい役者。面白い、楽しい役者。ある時代の、人の世の花だった。躍動する戦後歌舞伎の展開を背に、39年間の交流と葛藤を綴った迫真の名エッセイ集。雑誌、雑誌掲載記事に書き下ろしを加えて書籍化。

./ 404p
978-4-12-005321-4
本体 ¥3,300〔税込〕



毎日新聞 2020/12/19



今も未来も変わらない～婦人公論連載小説～

長嶋 有 著
中央公論新社

星子は40代のシングルマザー。受験を控えた娘を見守り、親友とレジャーを満喫し、年下の男にときめいて…。娯楽も、ラブも、人生も、「大人が楽しむ」物語。『婦人公論』連載を改題、加筆して単行本化。

./ 245p
978-4-12-005335-1
本体 ¥1,650〔税込〕



毎日新聞 2020/12/19



音楽の危機～《第九》が歌えなくなった日～(中公新書 2606)

岡田 暁生 著
中央公論新社

2020年、世界的なコロナ禍でライブやコンサートが次々と中止になった。一方で、ストリーミングや録音メディアが「音楽の不在」を覆い隠した。文化の終焉か、変化の契機か。「集えない世界」における音楽のゆくえを探る。

./ 5p,235p
978-4-12-102606-4
本体 ¥902〔税込〕



毎日新聞 2020/12/19



パチンコ<上>

ミン・ジン・リー 著
文藝春秋

1910年、釜山沖の影島。キム・ソンジャは日本との貿易を生業とするハンスの子供を身ごもる。彼に妻子がいることを知り、苦悩するソンジャに若き牧師イサクが手を差し伸べ、2人は大阪の鶴橋に渡り…。

./ 358p
978-4-16-391225-7
本体 ¥2,640〔税込〕



毎日新聞 2020/12/19



パチンコ<下>

ミン・ジン・リー 著
文藝春秋

戦中の大阪を生き抜き、2人の息子を育てあげたソンジャ。そこへ日本の裏社会で大きな存在感をもつハンスが現れる。長男ノアは自分の実の父親がハンスだと知り…。4世代にわたる在日コリアン一家の苦闘を描く。

./ 366p
978-4-16-391226-4
本体 ¥2,640〔税込〕



毎日新聞 2020/12/19



一人称単数

村上 春樹 著

文藝春秋

世界は流れていく。物語が光景をとどめる。表題作ほか「石のまくらに」「チャーリー・パーカー・プレイズ・ボサノヴァ」など 8 作を収録した短篇小説集。『文學界』掲載に書き下ろしを加え単行本化。

./ 235p

978-4-16-391239-4

本体 ¥1,650〔税込〕



毎日新聞 2020/12/19



武漢日記～封鎖下 60 日の魂の記録～

方方 著

河出書房新社

身近な人が次々と死んでいく悲惨な状況、食料品やマスクの不足、医療現場の疲弊と焦燥…。新型コロナウイルス蔓延による 1100 万都市・武漢の完全封鎖の中で実情を綴った魂の記録。

./ 317p

978-4-309-20800-8

本体 ¥1,760〔税込〕



毎日新聞 2020/12/19



日本はどこで間違えたのか～コロナ禍で噴出した「一極集中」の積弊～ (KAWADE 夢新書)

藤山 浩 著

河出書房新社

日本が「大規模・集中・グローバル路線」に向かい始めた近代以降の歩みを振り返り、1960 年代以降を中心に、年代ごとに日本の重大な間違いを検証。さらに持続可能な未来に向けて「地元から世界を創り直す」戦略も提示する。

./ 222p

978-4-309-50413-1

本体 ¥968〔税込〕



毎日新聞 2020/12/19



完全版ピーナッツ全集<25> スヌーピー1999-2000

チャールズ・M・シュルツ 著

河出書房新社

世界中で愛されるスヌーピーたちが活躍する漫画「ピーナッツ」を初出順に収録した全集。25 は、1999?2000 年発表の平日版 315 作、日曜版 59 作、全 374 作と、前身である 1 コマ漫画「ちびっこたち」全作を収録。

./ 11p,317p

978-4-309-62925-4

本体 ¥3,080〔税込〕



毎日新聞 2020/12/19



ミック・エイヴォリーのアンダーパンツ

乗代雄介 著

国書刊行会

乗代雄介がデビュー前から 15 年以上にわたって書き継いできたブログを著者自選・全面改稿のうえ書籍化。67 編を精選した「創作」、長編エッセイ「ワインディング・ノート」、書き下ろし小説「虫麻呂雑記」を収録。

./ 645p

978-4-336-06588-9

本体 ¥3,630〔税込〕



毎日新聞 2020/12/19



白い土地～ルポ福島「帰還困難区域」とその周辺～

三浦 英之 著

集英社クリエイティブ

遺言を託した福島県浪江町の町長、娘を探す父親…。原発被災地の最前線で生きる福島の人々と、住民が帰れない“白い土地”に通ったルポライターの物語。集英社ウェブ『イミダス』、『朝日新聞』連載を加筆修正して単行本化。

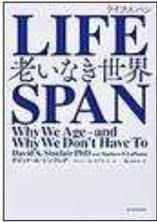
./ 256p

978-4-420-31090-1

本体 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2020/12/19



LIFESPAN~老いなき世界~

デビッド・A・シンクレア／マシュー・D・ラプラント 著
東洋経済新報社

人類の若さを左右する長寿遺伝子とは？ いつまでも若く健康でいるために今すぐできることとは？ 「病なき老い、老いなき世界」における人生戦略とは？ 最先端科学とテクノロジーが老化のメカニズムを解明する。

./ 491p,98p
978-4-492-04674-6
本体 ¥2,640〔税込〕



毎日新聞 2020/12/19



地域公共交通の統合的政策~日欧比較からみえる新時代~

宇都宮 浄人 著
東洋経済新報社

人口減少と高齢化が重くのしかかる今世紀の地域公共交通の在り方とは。公益性とビジネスの狭間にある地域公共交通をどのように位置づけ、活用すればよいのか。交通研究の第一人者が、そのための制度や今後の政策を探る。

./ 11p,299p
978-4-492-21243-1
本体 ¥4,620〔税込〕



毎日新聞 2020/12/19



「その日」の前に

アンドルー・ジョージ、鈴木 晶 著
中央経済社

「人間の価値は、これまでどれだけのものを人に与えたかによって決まる」「生きている間は、人生の価値なんてわからない」...。終末ケアを受ける 20 人の患者の肖像写真と直筆の手紙で綴るラスト・インタビュー。

./ 187p
978-4-502-33431-3
本体 ¥2,420〔税込〕



毎日新聞 2020/12/19



日中関係史~1500年の交流から読むアジアの未来~

エズラ・F・ヴォーゲル 著
日本経済新聞出版社

永遠の隣人、日中の歴史から世界とアジアの未来が見える。日中両国の研究者である著者が、7 世紀の遣隋使以来の 1500 年間におよぶ日中関係を網羅し、第三者の視点から客観的な日中関係史を記述する。

./ 650p
978-4-532-17674-7
本体 ¥3,300〔税込〕



毎日新聞 2020/12/19



日本史からの問い~比較革命史への道~

三谷 博 著
白水社

「三谷史学」の核である、革命を「暴力」から切り離す視角はいかに生み出されてきたのか。1968 年の東大駒場の駒場寮から歴史認識論争を経て、比較革命史へと至る維新史家の遍歴を辿る。

./ 252p
978-4-560-09745-8
本体 ¥2,750〔税込〕



毎日新聞 2020/12/19



アウグストゥス~虚像と実像~(叢書・ユニベルシタス 1120)

バーバラ・レヴィック 著
法政大学出版局

毀誉褒貶の独裁者の真実とは？ ローマ史に燦然と名を残す皇帝アウグストゥス。その政治手法や PR 術に注目しつつ、青年オクタウィアヌスが自らを神話化していった行程を跡づけ、帝政時代の礎がいかに築かれたのかを分析する。

./ 27p,423p,122p
978-4-588-01120-7
本体 ¥6,930〔税込〕



毎日新聞 2020/12/19



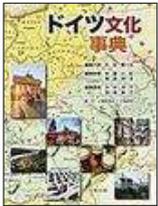
反日韓国という幻想～誤解だらけの日韓関係～

澤田克己 著
毎日新聞出版

文在寅政権は「反日」なのか。日本の気持ちになぜ鈍感なのか。日本国内でも世代によって見ている「韓国」が違うのはなぜか。日韓関係をめぐる「虚構」の正体を、気鋭の専門家が暴く。

./ 221p
978-4-620-32621-4
本体 ¥1,320[税込]

毎日新聞 2020/12/19



ドイツ文化事典

石田 勇治／佐藤 公紀／柳原 伸洋／宮崎 麻子／木村 洋平 編
石田 勇治／佐藤 公紀／柳原 伸洋 著
丸善出版

ドイツ社会の諸相に光を当てる事典。政治、食、科学・学問、文学、絵画・写真・建築、音楽、思想・哲学など、多様な文化の成り立ちを歴史的な観点から詳しく解説する。

./ 23p,708p
978-4-621-30564-5
本体 ¥22,000[税込]

毎日新聞 2020/12/19



アメリカの世紀と日本～黒船から安倍政権まで～

ケネス・B・パイル 著
みすず書房

米国と密接で特異な関係を結んだ敗戦国日本は、無条件降伏政策の呪縛と米国覇権の時代をどう生きたのか。政治、経済、社会、法律、精神という多方位から容赦なく描き出す。米国きっての日本研究者による、痛切な日本現代史。

./ 458p,54p
978-4-622-08936-0
本体 ¥5,280[税込]

毎日新聞 2020/12/19



『紅樓夢』の世界～きめこまやかな人間描写～(京大人文研東方学叢書 10)

井波 陵一 著
臨川書店

中国では誰もが知っている、18世紀口語小説の最高峰「紅樓夢」。「新訳紅樓夢」の訳者である著者が、作中の様々なエピソードを取り上げながら、人間の関係性を根底的に描いた作品の魅力を語りつくす。

./ 253p,3p
978-4-653-04380-5
本体 ¥3,300[税込]

毎日新聞 2020/12/19



北欧の森のようちえん 自然が子どもを育む～デンマーク・シュタイナー幼稚園の実践～

リッケ・ローセングレン 著
イザラ書房

自然は子どもの発達のための健康的で刺激的な学習環境だ！一日を自然の中で過ごし、シュタイナー幼児教育の理念に基づいて保育を行っているデンマークの森のようちえん「こども島ボンサイ」の実践を、写真とともに紹介する。

./ 182p
978-4-7565-0145-5
本体 ¥2,970[税込]

毎日新聞 2020/12/19



コロンブスの図書館

エドワード ウィルソン リー 著
柏書房

1539年、セビーリャ。世界最高の図書館をつくりあげたのはコロンブスの息子だった。ルネサンス、宗教改革、大航海時代の最前線で世界のありとあらゆる情報を目録化しようと試みたエルナンド・コロンの人生を追う。

毎日新聞 2020/12/19

./ 415p
978-4-7601-5090-8
本体 ¥2,970〔税込〕



戦争と歌人たち〜ここにも抵抗があった〜

本阿弥書店

権力への抵抗、苦闘の軌跡を戦時詠から見直す！時流に翻弄されながらも己の矜持を守り詠った20余名の歌人論を中心に、学徒出陣の歌、戦地詠などを採りあげ、昭和10年代の歌壇の実像をも描出する。『歌壇』連載に加筆。

毎日新聞 2020/12/19

..
978-4-7768-1512-9
本体 ¥11,000〔税込〕



「毒虫」詩論序説〜声と声なき声のはざままで〜

河津聖恵 著
ふらんす堂

深遠へと傾斜していく世界、戦争への危機意識の下「一匹の毒虫」となることを決意した詩人・河津聖恵の評論集。「渚に立つ詩人-清田政信小論」をはじめ、2015?2019年に発表した詩論、エッセイ、書評等を収録する。

毎日新聞 2020/12/19

./ 167p
978-4-7814-1282-5
本体 ¥2,530〔税込〕



森?外事典

平川 ?弘 編
新曜社

軍医として最高位まで上りつめた軍人でもあった文豪・森?外。その全貌と魅力を生き生きと伝える事典。338項目を収録。事項、作品・雑誌名、人名の索引付き。

毎日新聞 2020/12/19

./ 15p,744p
978-4-7885-1658-8
本体 ¥13,200〔税込〕



宮沢賢治論

中村 稔 著
青土社

私たちは「雨ニモマケズ」を決定的に誤って読んできたのではないか。宮沢賢治研究の第一人者が、従来の自説を全否定し、「雨ニモマケズ」をはじめ詩・童話などを虚心に精読し、新たな解釈と評価を詳述した画期的な論考。

毎日新聞 2020/12/19

./ 328p
978-4-7917-7269-8
本体 ¥2,420〔税込〕



この世にて

日和 聡子 著
青土社

心と力の限界と領域を痛切に思い知りながら考えてきた、言葉にできないこと、言葉にしないこと、言葉にしていきたいこと。2001年のデビュー以降、18年の間に新聞や雑誌に発表した書評やエッセイを選び編んだ散文集。

毎日新聞 2020/12/19

./ 301p
978-4-7917-7307-7
本体 ¥2,420〔税込〕





何はなくとも三木のり平～父の背中越しに見た戦後東京喜劇～

戸田 学 編
小林 のり一 著
青土社

役者で演出家で、とびっきり上等な喜劇人、三木のり平。日本喜劇人協会設立、明治座公演、中村翫右衛門との共演、「桃屋」CM など、その通史を息子が語る。公演の上演録音が視聴できる QR コード付き。

./ 427p
978-4-7917-7308-4
本体 ¥2,860[税込]

毎日新聞 2020/12/19



三木竹二～兄?外と明治の歌舞伎と～(水声文庫)

木村 妙子 著
水声社

森?外の実弟で、劇評の第一人者として名を馳せた三木竹二。近代からの批判に曝された歌舞伎に深く魅せられ、その衰退を押しとめるべく、歌舞伎劇の型の記録・保存に邁進しながら、若くして逝った彼の生涯と仕事を描き出す。

./ 496p 図版 40p
978-4-8010-0465-8
本体 ¥4,400[税込]

毎日新聞 2020/12/19



イスラーム学

中田 考 著
作品社

イスラームの世界観を背景に激動する国際政治を俯瞰するための基本的視座を提供し、井筒俊彦が切り拓いた東洋哲学としてのイスラーム理解に新たな一歩を進める。

./ 581p
978-4-86182-778-5
本体 ¥5,940[税込]

毎日新聞 2020/12/19



新型コロナ「正しく恐れる」

井上 亮 編
西村 秀一 著

藤原書店

フェイスガード、アルコール消毒、飲食店でのパーティション…。その新型コロナ対策は本当に有効か？ 呼吸器系ウイルス感染症の第一人者が、「恐れ過ぎ」を避けつつ「真のリスク」への正しい対処法を提言する。

./ 215p
978-4-86578-284-4
本体 ¥1,980[税込]

毎日新聞 2020/12/19



植物園の世紀～イギリス帝国の植物政策～

川島昭夫 著
共和国/editorial republica

近代のイギリスと植民地という問題において、植物園はいかに重要な役割をはたしたか。イギリスの植民地戦略を担った研究者やプラント・ハンターたちの姿を通して、現在では憩いの場として利用される植物園の起源を描き出す。

./ 237p
978-4-907986-66-7
本体 ¥3,080[税込]

毎日新聞 2020/12/19



「僕ら」の「女の子写真」からわたしたちのガリーフォトへ

長島 有里枝 著
大福書林

1990年代に若い女性アーティストを中心として生まれた写真の潮流「女の子写真」。木村伊兵衛写真賞受賞作家自らが、社会的構築主義の手法を参照しながらそれがどのような潮流/ムーブメントであったかを再検討する。

./ 19p, 379p, 8p
978-4-908465-11-6
本体 ¥3,630〔税込〕



毎日新聞 2020/12/19



手の倫理(講談社選書メチエ 735)

伊藤 亜紗 著
講談社

人が人の体にさわるときの、そこにはどのような緊張や信頼、あるいは交渉や譲歩が交わされているのか。さまざまな場面における手の働きに注目しながら、そこにある触覚ならではの関わりのかたちを明らかにする。

./ 214p
978-4-06-521353-7
本体 ¥1,760〔税込〕



毎日新聞 2020/12/19、読売新聞 2020/12/27



指差す標識の事例<上>(創元推理文庫 Mへ21-1)

イーアン・ペアーズ/池 央耿/東江 一紀 著
東京創元社

1663年、チャールズ2世の統べるイングランド。オックスフォードで大学教師の毒殺事件が発生した。衝撃的な結末の第1の手記に続き、同じ事件を別の人物が語る第2の手記では、物語は全く異なる様相を呈していき...

./ 590p
978-4-488-26706-3
本体 ¥1,386〔税込〕



毎日新聞 2020/12/19、読売新聞 2020/12/27



指差す標識の事例<下>(創元推理文庫 Mへ21-2)

イーアン・ペアーズ/池 央耿/東江 一紀 著
東京創元社

ヴェネツィア人の医学徒、父の汚名を雪ごうと逸る学生、暗号解読の達人、歴史学者の4人が綴る、1663年のオックスフォード大学で勃発した毒殺事件。4つの手記が織りなす謎の物語は、やがて予想外の結末へ...

./ 506p
978-4-488-26707-0
本体 ¥1,386〔税込〕



毎日新聞 2020/12/19、読売新聞 2020/12/27



三日間の石

杉本 真維子 著
響文社

精霊馬に乗って、この世に帰ってきたのは、私なのではないか。詩人・杉本真維子によるエッセイ集。「三日間の石」「コーラのなかの桜」「どうってことない、という純粹」などを収録。『図書新聞』連載等を書籍化。

./ 133p
978-4-87799-154-8
本体 ¥2,640〔税込〕



毎日新聞 2020/12/19、読売新聞 2020/12/27



沢村忠に真空を飛ばせた男～昭和のプロモーター・野口修評伝～

細田 昌志 著
新潮社

キックボクシングを創設。沢村忠と一大ブームを起こし、五木ひろしを世に送り出した名プロモーター・野口修。彼はどうやって成功を?み、どのタイミングでそれを手放したのか。伝説の男の数奇な人生を昭和裏面史とともに描く。

./ 559p
978-4-10-353671-0
本体 ¥3,190〔税込〕



毎日新聞 2020/12/19、毎日新聞 2020/12/26



須賀敦子の本棚<8> 神を待ちのぞむ

シモーヌ・ヴェイユ 著
河出書房新社

須賀敦子の没後 20 年を記念した海外文学コレクション。8 は、須賀敦子のカトリックの信仰に深く関わる思想家シモーヌ・ヴェイユの主要作品「神を待ちのぞむ」を収録。池澤夏樹のエッセイも掲載。完結巻。

./ 485p,24p
978-4-309-61998-9
本体 ¥3,190〔税込〕



毎日新聞 2020/12/19、毎日新聞 2020/12/26



天地創造デザイン部<1>(モーニング KC)

蛇蔵/鈴木 ツタ/たら子 著
講談社

天界にある動物の「デザイン室」では、神様(クライアント)からのムチャ振りを受けて、日々さまざまな動物がデザインされていた。「ユニコーンってなんで存在しないの?」「美味しい生き物の条件って?」「海で最強の動物は?」「蛇と鳥、どっちが強い?」など、面白くてためになるコメディ満載!! マンガの単行本とは思えない、登場した動物たちの図鑑も収録!! これを読めば、動物園や水族館が100倍楽しくなる!!

./ [143p]
978-4-06-510461-3
本体 ¥715〔税込〕



毎日新聞 2020/12/26



万葉集講義～最古の歌集の素顔～(中公新書 2608)

上野 誠 著
中央公論新社

「万葉集」は、日本的な「国民文学」のイメージで語られるが、それははたして妥当か。古代日本が範を仰いだ中国の詩文の色濃い影響をどう見るべきか。代表的な歌々を紹介・解説しつつ、現存最古の歌集の実像を明らかにする。

./ 8p,243p
978-4-12-102608-8
本体 ¥968〔税込〕



毎日新聞 2020/12/26



夢七日 夜を昼の國

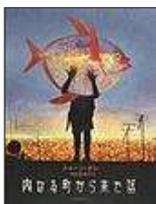
いとう せいこう 著
文藝春秋

交通事故で意識不明となり、長い眠りの中にいる君に、私は日々ささやきかける。君よ、目覚めよ。「夢七日」ほか、浄瑠璃で脚色されたお染がネットの中傷に立ち向かう「夜を昼の國」を収録。『文學界』掲載を書籍化。

./ 229p
978-4-16-391280-6
本体 ¥1,870〔税込〕



毎日新聞 2020/12/26



内なる町から来た話

ショーン・タン 著
河出書房新社

人間を訴えたクマ。カエルを救う秘書。空の魚を釣り上げた兄弟…。都会の中に置かれた動物たちのシュールな光景を描いた、緻密な油絵のタッチのイラストレーションと共に紡ぐ 25 の物語。「遠い町から来た話」の姉妹編。

./ 219p
978-4-309-20803-9
本体 ¥3,190〔税込〕



毎日新聞 2020/12/26



中島敦全集<1>

中島 敦 著
筑摩書房

不思議な光芒を放つ珠玉の名篇を残した中島敦。新発見のエッセイ 2 篇と未翻刻のノート等も新たに収めた、25 年ぶりの新編集決定版全集。第 1 巻には、「山月記」「光と風と夢」「李陵」など、その小説の代表作すべてを収録。

./ 697p
978-4-480-73811-0
本体 ¥9,680〔税込〕

毎日新聞 2020/12/26



アルコールリクス・アノニマスの歴史～酒を手ばなした人びとをむすぶ～

アーネスト・カーツ 著
明石書店

断酒に取り組む自助グループ、アルコールリクス・アノニマス「AA」の、1934 年から 1971 年までの歴史と理念を紹介。その意味と意義を考察する。

./ 608p
978-4-7503-5076-9
本体 ¥3,850〔税込〕

毎日新聞 2020/12/26



韓国文学を旅する 60 章(エリア・スタディーズ 182)

波田野 節子、斎藤 真理子、きむ ふな 著
明石書店

韓国の文学や文化に関心をもつ人に向けた、文学を手掛かりに韓国に旅立つための案内書。49 人の執筆陣が、古典から現代までの作家と作品について「場所」をキーワードに語る。文学周辺の事情の理解を助けるコラムも収録。

./ 376p
978-4-7503-5107-0
本体 ¥2,200〔税込〕

毎日新聞 2020/12/26



昭和まぼろし忘れがたきヤツたち<第 1 集>(McDu COMICS)

つげ 忠男 著
ジーオーティー

毎日新聞 2020/12/26

./ 200p
978-4-8236-0057-9
本体 ¥1,320〔税込〕



追憶の東京～異国の時を旅する～

アンナ・シャーマン 著
早川書房

江戸時代から戦後にかけての東京の歴史をめぐり、作家は東京の各所を訪ね歩く。史跡を訪ね、人物に聞き取りをし、古い文献を紐解き、東京の姿を<再発見>していく。英国在住の作家による都市の記録と記憶をめぐるとエッセイ。

./ 366p
978-4-15-209951-8
本体 ¥2,420〔税込〕

毎日新聞 2020/12/26、毎日新聞 2020/12/26



どんじり医

松永 正訓 著
CCCメディアハウス

神童と言われた兄ではなく、文学少年だったぼくが、なぜか医師を目指す。解剖実習、外科手術、患者の死。つらいこともたくさん、でも医者になってよかった。小児外科医の著者が、自分の若かった頃を振り返る。

./ 198p
978-4-484-20231-0
本体 ¥1,540〔税込〕

毎日新聞 2020/12/26、毎日新聞 2020/12/26



「可能性の文学」への道～織田作之助評論選～

織田作之助 著
本の泉社

1946 年末に発表した評論「可能性の文学」は、作家・織田作之助を代表する、また集大成となる文学論であった。作之助の主張がはっきりとわかる文学論を初発からたどる評論集。「小説の藝」「文学的饒舌」などを収録する。

./ 230p

978-4-7807-1983-3

本体 ¥1,100[税込]



毎日新聞 2020/12/26、毎日新聞 2020/12/26